平成22年 第44回

中学生の 8年だについての1年丈司

作品集 第35集



- 主催:全国納税貯蓄組合連合会、国税庁
- 後援:(財)日本税務協会、(財)大蔵財務協会、日本税理士会連合会

平成 22 年 第 44 回

中学生の『税についての作文』

作品集 第35集

税について私が考えたこと 出村優 佳13	鈴 木 葵 子	黒 澤 純 希12	税金に感謝 日 極 り な12 「おばあちゃんの笑顔を守るもの」	日 極 り な12 一13	····	て 小泉 海10	充実した日々を送るために 山 﨑 聖 子10 感謝の気持ち	知ることから始めよう、暮らしと税金 石 井 萌 加9 暮らしを支える税金	祖母の笑顔から学んだこと 西條裕之9 税金に助けられて	身近な体験から学んだこと 杉 浦 芽萌里8 未来をつなぐ税金	今の私に出来ること 森 下 ほのか8 税に感謝	納税という大切なバトン 松尾 はるな7 和歌山県の税			「アメリカの兄からの手紙」 鈴木陽子6 奈良の森林と文化財	文部科学大臣奨励賞 受賞作文 指定納税ってどう?未来を紡ぐ税	税金を「納める」ために 月島香蓮6 税に感謝	財務大臣賞	- 「税」 「税」		総務大臣賞 受賞作文 まずは知るる	税と「つくる」 宮 﨑 楓5 笑顔の花	内閣総理大臣賞	The image of t	未来への貯金
	1						- 			未来をつなぐ税金~大切な人を守るために~ ヒ	. *						J.	٤	た今		のこと		日の日本	(5) (5) (5) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6	41 4
			木	木 芒	古親	藤	木林	浪	武	寺		勝	中:	逸	荒	東今		本。	た今杉松	公平	のこと	岩	日の日本 足物	(S) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A	
	大城太	城	木	木世界	古親原	藤井	森明		武	•	山内野	勝	中。西	逸	荒木		藤	本方莊:	た今杉松	公平	のこと	岩坪	日の日本	(S)	

『担する税金』	税への意識 前 平 夏 希 税金はお年玉 大 橋 まり子 位 一フロシェクトZ」	ついて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	会のために 加納慎太郎	「身近に見つけた税の使われ方」 田中真衣40 地球税	「税金への感謝の気持ち」 大野 梓3 税は「安心し	「税」について考える 齋藤 舞 3 「税金で社会	税金の有り難さ 清水 みのり3 縁の下の力持	「祖父を助けた税の力」 - 寺 道 宥 太	税とのつながり 杉田 紘子 税金と私の将来	日本を支える税金 石塚暁子 税と並木が生	未来を守るために 香川奈穂36 『ありがとうの!	教科書の裏には 髙 野 麗36 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	今、できることを。 四日市 理 奈35 より	私達に密着している税 河野陽香 私達の生涯を	耐震補強工事が教えてくれた事 宮 﨑 綾 奈3 目に見える科	ひとりはみんなのために 堀 百 花3 国民の社会を	介護保険を利用して 人見啓介3 **支え合い、	「高校生になる前に」 塚田 蓉子32 税について私	税金が作る未来 森 創 来 3 当たり前の大切さ	消費税増税	お年寄りの笑顔から 村上梢恵31 税金とくらし	地域の絆「納税貯蓄組合」 佐藤音澪3 「税金につい	「めぐりめぐって…」 鎌田紗綾3 「身近に感じた税」	全国納税貯蓄組合連合会会長賞・受賞作文・子どもをとりま
	お年玉	「プコジェフトユー私の暮らしの支えである税金	いて		税は「安心した生活を送るための会費」	税金で社会は成り立っている	縁の下の力持ちと共に	税金」	私の将来	税と並木が生んだ町の美しさ	んとうの気持ちを持って』	敗因法人日本秘務協会会長賞		私達の生涯を支える税	目に見える税の姿と見えない姿	国民の社会を支える税金	*支え合い゛の税金	税について私が考えたこと	前の大切さ	いて	くらし	税金について考えた」	に感じた税」	テ護で知った税」をとりまく税金
		п <i>Е</i>	・ 織	森			谷	中	磯	高	伊	長貨	1 to 1	宮			田		廣		梶	加	徳	木 氷
,	外和																						_	
	外和間泉			口	谷	塚	山	村梨	部晴	橋	田菜			里	田	桐賢	島ひ	永弥		見悠	谷	藤	本	下 置

財団法人大蔵財務協会理事長賞

受賞作文

美国法人大震<u>身</u>弱協会理事長 賞	手長	貨		受貨件文
税と向き合う	中	村	茉祐利	利57
[当たり前] と税	柴	田	知	里
共生するための税金	相	馬	春	香······59
消費税の福祉目的税化について	秋	道	涼	香······59
私達の力になっている税金	林		美	冬······60
快適に暮らすために必要な税金	中	Ш	茉	優······60
税	李			传61
幸せのために	末	次	悠	<u>-</u>
私たちの健康と税	中	尾		愛62
今年の夏休み	原		真珠子	字62
『未来を担う者として』	小	濱	源	人····································
税金は「ゆいまーる」	稲	嶺	隆	紘
日本税理士会連合会会長賞	賞			受賞作文
もう嫌だ!税の浪費は	佐々	木		澪·······64
一人がみんなの為に。みんなが一人の為に。	高	野	瑞	穂······65
お年寄りの幸せのために	蓮	田	拓	歩65
税金について	板	山	幸	歩66
税金の大切さ	村	上		舞66
信頼で支え合う社会	岡	本	果	南····································
幸せな生活を	井	Ш		優······67
私たちの税金から	黒	柳	する	みれ68
今、税について思うこと	大	Ш	実	咲······69
未来をつくる税金を	坂	下	由	華 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::
税の大切さ	Щ	П	奈	々 … … 70
島を支える税金	宮	喜	結	丸70

内閣総理大臣賞

税と「つくる」

諌早市立諌早中学校

楓

とって快適であるよう整えられている こから望める道路や海、 と思いあたりました。 全て税金によってつくられているのだ 物に囲まれて日常を暮らしていること せんでしたが、意外な程数多くの公共 た。普段あまり意識したことはありま を告げるチャイムが聞こえてきまし から救急車のサイレンに混じって正午 のがわかります。耳をすますと、遠く どといったもの全てが私達の生活に くその景色を眺め続けていました。そ しい街並が広がっていて、私はしばら 返ってみると、とても青い空の下に美 の中腹にあり、 に気がつきました。そして、それらは お盆におとずれた宮崎家のお墓は山 お参りを済ませ振り 川、森に山な

う一言に帰結できる気がします。 すが、結局その目的は「つくる」とい 税金には、いろんな使い道がありま

を便利なものにしてくれます。 ることなどは「造る」で、私達の生活 て川幅を広げ山の斜面を整備したりす 道路を通して橋を架け、災害に備え

> が安心して暮らしていけるのも法律に に見えるものではありませんが、私達 いるからです。 よって社会が安定した状態に保たれて まかなわれています。制度や法律は目 れ、執行に必要な財源は税金によって らは法律を「作る」ことにより実現さ 全にとって不可欠な社会制度で、これ によって国を守ることなどは私達の安 警察や消防で治安を維持し、自衛隊

度や仕組みを「創る」ことは、何にも に変わっているでしょう。たとえどん いますが、私が大人になる十年後は更 界の様子も大分様がわりしたと聞いて 耳にも届いてくる程、目まぐるしく変 あります。現代世界は、中学生の私の 無かったものを生み出すという意味が 勝る税金の使い道だと思います。 全な社会で安心して暮らして行ける制 な未来が訪れても私達が今のように安 いるようです。十年前と今とでは、世 て歓迎すべきではない事柄も含まれて わって行っています。その中には決し る」です。この「創る」には、今まで そして、もう一つの「つくる」が「創

教えてくれたような気がしました。 眺めた街の風景は、私にそんなことを えられているとも言えます。お墓から 私達の社会は、「つくる」によって支 税金なしには実現できないことです。 れら三つの「つくる」はどれも大切で、 「造る」「作る」、そして「創る」こ

そろそろ帰ろうかと声をかけてきまし 一緒に墓参に来ていた叔父夫婦が

歩前進!税について Ш 越市立初雁中学校

場は暑かったのだ。 いても熱気を帯びた議論がとび交う会 は汗ばんでいた。エアコンが効いては 「みんな真剣だったね。」そう言う私

県で実施、改善、継続という五つの区 となる八事業に対し、廃止、民間化、国 あれば誰が、どのように実施するべき 使って実施する必要があるか、必要が ている事業を根本から見直し、 開事業点検とは、自治体が現在実施し 市版といえる。私が傍聴した日は対象 で話題になった「事業仕分け」の川越 かを議論する場である。テレビ報道等 越市公開事業点検」の傍聴をした。公 私は七月二十四日に実施された「川 、税金を

続のための税金であってほしいと思い 私にとって八人目のいとこがいます。 の中であり続けること。その実現と継 てくるいとこにとっても、より良い世 私にとっても、そしてもうすぐ生まれ た。叔母のお腹には、二人目の子供で

私がなぜ公開事業点検を傍聴したの

分で評価が行われた。

という不安が広がり、当日は母に同 当日を待った。「難しいだろうなぁ。」 も入室できるのだ。ワクワクする心で になった。傍聴は自由!中学生の私で 自宅に届いた市の広報誌に目が釘付け かめるチャンスに出会えたのである。 た。そしてとうとう自分の目で耳で確 様のことが行われていることが分かっ するとかなり以前から地方自治体で同 と思い、インターネットで調べてみた。 の身近な生活の場ではどうだろうか。_ 事業仕分けに興味をもった私は「自分 強くなっていった。まずテレビで観た しでも知りたいという思いが日増しに 役立っているのか…こうしたことを少 て、そのことが人々の生活にきちんと うな目的をもってどれくらい使われ 然だ。その会費、つまり税金がどのよ 有効活用されることが望ましいのは当 し合う貴重な会費が、ベストな状態で た。社会の構成員として一人一人が出 築く「会費」のようなものだと実感し になった私は「税」はよりよい社会を 族との会話から税について考えるよう いた税についての作文の中にある。家 論の場を覗こうとした動機は、昨年書 生の私が行政、財政といった難しい議 か…世の中のことをよく知らない中

る。こうしたコミュニティバスの運行 私が一番興味をもった対象事業であ 「市内循環バス運行経費補助金」…

してもらった。

健

郎

には大きな赤字がついてまわる。川越市も年間一億七千万円超の補助金を支市も年間一億七千万円超の補助金を支施設への交通手段をしての役割の重要施設への交通手段確保という目的や公共地域の交通手段確保という意見が出された。を抑制できるという意見が出された。を抑制できるという意見が出された。を抑制できるという意見が出された。と。こうした質疑応答の後、点検人がと。こうした質疑応答の後、点検人がと。こうした質疑応答の後、点検人がと。こうした質疑応答の後、点検人がなっている。一種は大きな赤字がついてまわる。川越には大きな赤字がついてまわる。川越には大きな赤字がついてまわる。川越には大きな赤字がついてまわる。川越には大きな赤字がついてまわる。川越には大きな赤字がついてまわる。川越には大きな赤字がついてまわる。川越には大きな赤字がついてまわる。川越には大きな赤字がついてまわる。川越には大きな赤字がついてまわる。川越には大きな赤字がついてまわる。川越には大きな赤字がついてまわる。

持って「知ろう」とする行動を心がけ持って「知ろう」とする行動を心がけられた。これからも税のことはもちしたが、来て良かったと思います。」したが、来て良かったと思います。」のたが、来て良かったと思います。」 ロビーでアンケートを書いていた ロビーでアンケートを書いていた

川州 受賞作文 受賞作文

「納める」ために祝金を

三年 **貝島 香**福岡市立友泉中学校

蓮

とうしてなのだろうと不思議に思いま取られるでは、悪い印象を受けます。税金は納めるものと習いました。す。税金は納めるものと習いました。が「税金を取られる。」と言っていまが「税金を取られると、多くの人大人の話を聞いていると、多くの人

税金は、国や地方公共団体が、公共税金は、国民や法人に課した義務です。私に、国民や法人に課した義務です。私に、国民や法人に課した義務です。私に、国民や法人に課した義務です。私に、国民や法人に課した義務です。私に、私達がお互いに支えあって生活する、相互扶助の考えに基づいているとは、私達がお互いに支えあって生活する、相互扶助の考えに基づいているといいます。しかし、取られるという表というでは、私達がお互いに支えあって生活を送る、相互扶助の考えに基づいているという表に、国民や地方公共団体が、公共

していたのだと思います。

た。インカでは、肉体労働を税として税のシステムを利用して人を集めましティは、建設に大勢の人が必要なため、設の番組を見ました。皇帝パチャク設の番組を見ました。

ンカは栄えました。広さは日本の約三 ビスを受け、お互いを支えあって生活 誇りをもって働き、税金を納め、サー が国民に見え、分かりやすかったため、 前のことで、規模も、国の仕組みも違 した。飢えのない社会が完成され、イ 出したりして、人々を飢餓から救いま 与えられたり、不作の年には備蓄を放 さがあるからです。また、税として納 残っているのは、その技術の素晴らし もっていました。今でも立派な遺跡が 優秀で、仕事に積極的な関心と誇りを 集まった人々は奴隷に比べてはるかに まり期待できませんでした。しかし、 応じました。元々は奴隷が建設のため 納めることができ、多くの人が募集に いますが、納税と公共サービスの関係 倍、人口は一千万人です。五百年以上 貯蔵庫に保管され、仕事の報酬として められた農作物などは、コルカという に嫌々働かされていて、仕事振りはあ

> でしょう。 でしょう。 国在の状況を正しく把握し、長期が、現在の状況を正しく把握し、長期が、現在の状況を正しく把握し、長期が、現在の状況を正しく把握し、長期が、現在の状況を正しく把握し、長期が、現在の状況を正しくができる

いながら作っていきたいと思います。税制、社会の仕組みを、一緒に助け合を適切に徴収して使う、時代に合った私達も政治や経済に関心をもち、税金私達が大人になった時、安心して税

文部科学大臣奨励賞

兄からの手紙」「アメリカの

三年 鈴木 陽子

識を持っているので納税意識は高いよめ、大学生も教育は世代間の贈り物という意の子だけです。州立大学においても、の子だけです。州立大学においても、小外から来る生徒は地元住民の三倍以州外から来る生徒は地元住民の三倍以州外がら来る生徒は地元住民の三倍以州外がら来る生徒は地元住民の三倍以州外がら来る生徒は地元住民の三倍以州外がら来る生徒は地元住民の三倍以州外がら来る生徒は地元は大いです。

うです。」

アメリカで学生生活を送る兄から届でよりをもって学んでいくそうだ。いた手紙には「自由の国」の楽天的なかに、アメリカでは教育を含む公共いた。アメリカでは教育を含む公共いた。アメリカでという。そのような環があるのだという。そのような環が要があるのだという。そのような環がでいか、受けるために実費を負担するないか、受けるために実費を負担するないか、受けるために実費を含むないか、受けるために実費を負担するないか、受けるために実費を負担するないか、受けるために実費を含むないた手紙には「自由の国」の楽天的ないた手紙には、「自由の国」の楽天的ないた手紙には、「自由の国」の楽天的ないたりに、「自由の国」の楽天的ないた。

理解しなくとも済んだ。 理解しなくとも済んだ。

> 次世代に大きな「贈り物」を残した 先人も、先代から贈り物を受け取って ないた。例えば近代日本を導いた伊藤博 文は、国費でイギリスに留学している る。私たちの曽祖父母の世代に納税の は、国費でイギリスに留学している と伝えられる。私たちの曽祖父母の世代に納税の は組みが整っていなければ伊藤は留学 いたかもしれない。スポーツ選手や宇宙飛行士など日本を代表する偉人も、 先人が納税を通じて築いた福祉サービスを受け、教育制度を通じて勉強し、 なでして自己研鑽に励む環境があった からこそ能力を開花させることができたのだ。

私は今までその「贈り物」を受け取る立場であったから、納税を実体のあることとしてとらえられなかったのは、次の世代にそれを引き継ぐ責任がば、次の世代にそれを引き継ぐ責任がば、次の世代にそれを引き継ぐ責任がば、次の世代にそれを引き継ぐ責任がは、次の世代にそれを引き継ぐ責任がは、次の世代にるから」など受動的な理もだ「贈り物」を私たちの代で絶やする終えた私は、義務だから」とか「みか終えた私は、義務だから」とか「みか終えた私は、義務だから」とか「み終えた私は、義務だから」とか「みれな納めているから」など受動的な理といる。

国税庁長官賞

札幌市立陵陽中学校

はるな

大切なバトン納税という

貯めておく貯金のようなものだと思 税金について調べる中で、税金が人命 これから修復工事が行われるらしい。 取り除いたりした。崩れた山や道路は が救助にあたり、大きな機械で土砂を 生き埋めになった人もいた。多くの人 山が崩れ大量の土砂が道路を塞いだ。 島、福岡、岐阜などで災害が発生した。 地震や台風による被害を受け、多くの う魔法のようなものという気がする。 うにもならないことでも、できてしま う。一人の力、一人のお金だけではど ことを知った。 人命が奪われてきた。今年7月にも広 救助や災害復興のために役だっている 日本は災害の多い国。昔からずっと 税金はお互いが助けたり助けられた いざというときのためにみんなで

生活できず、不安を抱えているようだ。も枯渇し、今では他国の援助なしにはも思えるが国の経費を賄っていた鉱石ウルという国がある。夢のような国に世界には税金を納めなくても良いナ

また、アフリカにはきれいな水が飲また、アフリカにはきれいな水が飲またくても飲めず、勉強がしたくても失調で立つことも、歩くこともできず、冷たい地面をはうだけの子供もいる。当たり前のように学校で授業を受る。当たり前のように学校で授業を受け、ちょっとお腹が痛いだけでも病院け、ちょっとお腹が痛いだけでも病院されている水が飲また、アフリカにはきれいな水が飲また、アフリカにはきれいな水が飲また。

深く考えるべきだ。それを支えてくれているものは何かをしまう。普段の私たちの安心な生活とていると、それが当たり前だと思ってていると、それが当たり前だと思って

税金は、ただ「税金」とだけいうと無味乾燥な響きにしか聞こえない。し無味乾燥な響きにしか聞こえない。しが、学校の教科書や図書館の本など身むのに姿を変えている。税金は巡りものに姿を変えている。税金は巡りる。この夏、このことにはっきり気づる。この夏、このことにはっきり気づる。

と思う。
と思う。
というイメージもあるが、使われの」というイメージもあるが、使われの」というイメージもあるが、使われの」というでは「無理に納めさせられるも

いだった。好きな街だと思った。 港、そしてこれを囲む緑がとてもきれ 先日家族で測量山に登った。海と室蘭 する制度もある。祖母が住む室蘭市。 する地では「ふるさと納税」といって

しかし、かつて二十万人近くいた人

望するものに役立てられるらしい。 ウォッチングなど自然観察事業など希 観光施設や公園の整備、イルカ・鯨 さと納税で室蘭市を応援すれば市内の 口も今は十万人を下回っている。ふる

とずっと好きな町のままであって欲し 活を送りたい。そして好きな町がずっ 祉、教育などが安心して受けられる生 いと願っている。 私はみんなと災害がなく、医療や福

なバトンを受け継いで、より良い未来 へと爽やかに力強く走り続けていきた このために私は「納税」という大切

今の私に出来ること

中札内村立中札内中学校 下

ほのか

くれたお陰なのではないかと思う。 国民の払った税金によってつくられて りの方々の支えがあったから、そして て私が健康でいられるのは、家族や周 話になってきた。それでも、今こうし や歯科などにも、今までたくさんお世 ニア、さらに外科だけではなく皮フ科 とが多かった。足の捻挫、椎間板ヘル いる医療機関・医療保険などがあって 私の家は母子家庭だ。私のようなひ は幼い頃から、割と怪我をするこ

> いた。この制度について母は、 書を持ち、小さい頃から病院へ通って 私はその制度の証でもある黄色い証明 で負担してくれることになっている。 度により私にかかる医療費は北海道税

らいなら、と病院へ行かずに、やむを の納めた税金がみんなの支えになり、 と、すごく感謝していた。税金の使い うことなく病院へ行くことができた。_ け合っているのだ。 私たちは税金を通して日本中の人と助 大きくサポートしてくれる、こうして みんなが納めた税金が私たちの生活を く誇らしいものに思えてくる。私たち 思うと、自分の納めている税金がすご じように、税金があることで「良かっ んなにも私の家は助かっているのだ。 道の一つであるこの制度によって、こ も、この制度があったお陰で、ためら えず我慢してしまっていたと思う。で いから、子供が怪我をしても、これく た」「助かった」と感じている、そう こうしてまたたくさんの人が私と同 「ひとり親はお金にあまり余裕がな

もいないし、もちろん収入もない。だ 何なのであろう?私はよく考えてみ もある。そんな私たちに今出来る事は るサポートを最も多く受けている者で 合をしめる「教育費」により、税によ たちは、税金の使い道の中でも高い割 税することはできないのだ。しかし私 から今現在、私自身が稼いだお金で納 私は今、中学生。まだ自分で働いて

> 税に感謝しながら納税できる、そんな 学び、これから働くようになった時に、 くる。それを、今私たちはしっかりと も自分の知らない事がたくさん見えて け税に支えられているのだろうか。少 私たちが気が付かないところでどれだ るのだろうか、どんな事をする時に私 らない事が山ほどある。例えば、納め は思う。今の私は、まだ税について知 し気にかけるだけで、身近なところに たちは税金を納めているのだろうか、 た税金でどれだけのものが造られてい いて「よく知り、理解する事」だと私 大人になっていきたいと思う。 「税を納める意味」を理解したうえで、 私に出来る事…それは、まず税につ

身近な体験から

仙台市立加茂中学校 芽萌里

と、母が言った。

じゃない。感謝しようね。」

でも珍しく自転車通学が許可されてい 暑い日は汗だくになる。 校する。坂が多い道なので気が抜けず、 の道のりを、私達は毎日元気よく登下 る。交通量も歩行者も多い四キロほど 私の通っている中学校は、仙台市内

すうっとうしく感じるのが、ぼうぼう がらペダルを踏んでいるときにますま に育ってしまった道端の雑草だ。歩道 勾配や街路樹、歩行者に気を遣いな

給付制度』という制度があり、この制 とり親家庭には『ひとり親家庭等医療

> る区間で、以前「はっ」としたことが の両側からわさわさと雑草が生えてい

になるのだ、と身をもって体験した。 これっぽっちの草のせいでとても危険 た。何でもなさそうないつもの道が、 しで私も路肩に突っ込みそうになっ がら走っていたにも関わらず、もう少 だったこともありブレーキをきかせな まって転倒しそうになった。下り道 安定になったと思ったら、雑草に絡 子でハンドルを取られ、ゆらゆらと不 走っていた。前を行く友人が何かの で、少し距離をおいて友人の後ろを その日私はいつものように自

ね。これで安心して自転車で通れる ている午前中からがんがん暑かった。 た。その日も猛暑の予報で、作業をし 通った際に除草作業の様子が目に入っ 夏休みのある日、母と車で通学路を 「朝早くからほんとうにありがたい

気になって調べてみた。 た。もしかしたらこのような作業にも われているお金があるのだと気付 「税金」が遣われているのだろうか。 そしてふと、私達の安全のために遺

など、作業内容が分かれているそうだ。 扱う街路樹と道路課で扱う斜面の雑草 られていることがわかった。公園課で 作業には道路課や公園課の予算が充て 私の中で税金のイメージはあまりよ 区役所で尋ねてみると、確かに除草

引きのようであるからだ。また、金額 しのように聞こえる。 が大きすぎて、どこか遠くの世界の話 についての議論の光景は、政治の駆け くなかった。ニュースでよく見る税金

で参加しようと思う。 れからも、『クリーン大作戦』に進ん 会を後押しできる大きな力になる。こ さな力も、ボランティアという形で社 のか、興味がわいた。一人ひとりの小 ン大作戦』も、経費削減の一環になる だ。私達が秋に参加している『クリー 業等の経費を抑えることができるそう が作業を肩代わりすることで、除草作 役割も知った。ボランティアの皆さん 域に根ざしたボランティアの皆さんの 今回の除草作業の話しを通じて、地

身がよく考え意見を持たなければなら 税金をどのように遣うべきか、私達自 的について無関心でいてはいけない。 れているのだから、税金の使い途や目 る。私達の生活は税金によって支えら 税金の話題は私達のとても身近にあ

学んだこと祖母の笑顔から

南三陸町立志津川中学校

條

之

頭も洗ってもらって、背中も流しても 「ああ、ディサービスは、いいごだ。

らえんだがら・・・。極楽とは、

八十二才になる祖母は、にこにこしな がらこう話してくれた。 久しぶりに横山に遊びに行くと、

で心が痛む。 とと、「病気」に対する不安と恐怖心 の日赤病院に二ヶ月ほど入院した。そ 父母の姿を見ていると、「老いる」こ を借りることが多くなった。そんな祖 自分の身の回りのことさえも祖父の手 れ以来、体力がみるみる衰え、今では、 祖母は、去年、心臓病を患い、石巻

何と約五万円もかかるそうだ。僕は、 これが後期高齢者医療制度ではなく、 で通院しているが、支払うお金は、薬 らった。祖母は、毎月一回、定期検査 たが、実は、このディサービスの事業 この話を聞いてびっくりした。 全額個人負担になると、一回の通院で 代も含めると約五千円だそうだ。もし、 が使われていることも父から教えても で通院した際に支払う医療費にも税金 から聞いて初めて知った。また、病気 も「税金」で運営されていることを父 する際の消費税ぐらいしか知らなかっ 僕は、「税金」というと、買い物を

うだ。したがって、通院の回数が増え う考えると、不安は、高まる一方であ して手術や入院でもしたら・・・。そ この年金をもとに生活しているのだそ 国から一ヵ月当り、約五万円支給され、 たり、ガンなどの重い病気になったり 祖母は、国民年金を受給している。

僕は、心の中でそう思った。

る。

負担額が多くなったりしないだろう 前のこととして受けている公共サービ か。また、受け取る年金が、減ったり くならないだろうか。医療費は、自己 のだろう。祖母のディサービスは、な 国の借金が増え続けたら一体どうなる ることになるという。もし、このまま と、実に七百十万円もの借金をしてい 止まった。国民一人当たりに換算する という大きな見出しの新聞記事が目に しないだろうか。僕達が、ごく当たり つい最近、「国借金九百兆円突破

使われているかどうか、注意深く見守 負い、自分たちの納めた税金が適正に 顔で安心して生活できる、そんな社会 る必要があると考える。 を強く願いたい。そのためには、国民 る。僕は、国民一人ひとりが老後も笑 き、税金を納めてきた恩恵ともいえ 一人ひとりがしっかりと納税の義務を 祖母の笑顔は、これまで一生懸命働

は一人のために。」 を改めて考えさせられたように思う。 員として、自分は、一体何ができるか 家族、学校、そして、地域・社会の 「一人は、みんなのために。みんな 祖母の笑顔から学んだこと。それは

知ることから始めよう、

茨城県立並木中等教育学校 三年

加

のを感じた。 る日の帰り道、 気なくその公園前を歩いていたが、あ 広々とした公園がある。朝と夕方、何 その途中に桜やつつじの花が美しい 徒歩十分余りの学校までの通学路。 突然視野が開けている

く変わっていた。 していた公園全体が、すっきりと明る 形よく枝が整えられ、少々うっそうと ふと足を止めて横を見ると、つつじも よう、きれいに剪定されていたのだ。 道を歩く人の頭上を妨げることがない 張り出していた桜の木々の枝が、歩

するにちがいない。

スのありがたさを、その時初めて実感

園が、税金によって管理されているこ ことを意識したことがなかったから 身近なところに、税金が使われている とに気づき、私はハッとした。こんな して大切な役割を果たしているこの公 の交流の場として、子どもの遊び場と あ。)と思った。そして、地域の人々 (暑い中の作業は大変だっただろうな

金が使われている場面が多くあるので い「ささいな事」だったかもしれない。 いていたなら別に気にも留めないくら そう思い見過ごしてきた中に、実は税 いつもの見慣れた風景だ。急いで歩

通学路を見直してみた。はないかと思い、私は改めて、自分の

通学路の途中にはゴミ置き場がある。数えてみたらわずか四百メートルる。数えてみたらわずか四百メートルは各家庭から運ばれたゴミが置いてあは各家庭から運ばれたゴミが置いてあいまってゴミが荒らされないよう、まっトや柵が設置されていることにもネットや柵が設置されていることにも、大によってゴミが荒らされないよう、までいるの途中にはゴミ置き場がある。数えてみたらわずか四百メートル

ら助かるわね。」
「祝日でも、生ゴミの収集があるか

れてはならないと思う。衛生的な生活が保たれていることを忘た。充実した税制度の中で、私たちのと話していた母の言葉も思い出され

スタイルの変化に合わせて、税金の使 市民講座の充実など、私たちのライフ 何となく理解していたが、保育事業や 市民の払う税金で賄われていることは があってにぎやかだ。これらの施設が、 の時間を通っても、このエリアは活気 極的に参加しているようだ。毎日、ど 理のサークルなどが開かれ、市民が積 響き渡っている。公民館では、歌や料 ごっこなどを楽しむ小学生の笑い声が 童館の学童保育でドッジボールや鬼 から多くの人が行き交う。夕方は、児 前に保育園に子どもを預ける親で、朝 私の学校近くには、公民館、 市立幼稚園と保育園がある。仕事 時代によって様々に変わってい

ることを感じた。

国へと視野を広げ、納税の大切さを学りよい生活を享受しているかという事りよい生活を享受しているかという事意法に定められた国民の義務の一つに憲法に定められた国民の義務の一つに適学路で気づいた、税金が支えているかとなりまい生活を享受しているかという事のよいであることができる。

送るために充実した日々を

んでいきたい。

宇都宮大学教育学部附属中学校

私は、小学生の頃から図書館を利用 程がのように図書館に足を く、私もいつものように図書館に足を ても涼しく快適に利用することが出来 た。また、本が探しても見つからない 時に職員の方に声をかけると、忙しい のにも関わらず調べて持ってきてくれ た。それに本棚には、本が種類ごとに た。それに本棚には、本が種類ごとに からながら館内を出ようとした時、透 出しながら館内を出ようとした時、透 はページが切られていたり、落書きや ると、何冊か本が入っている。その本 ると、何冊か本が入っている。

現実にはたくさんいるのだ。 ている本まであり、本が泣いているよ でいる本まであり、本が泣いていた。その紙は本を借りる人のために、大切に利用しましょう」と書かれていた。その紙は本を借りると必ず一枚本にはさまっている。その紙に書かれている利用者への思いを受け取らなかった人が用者への思いを受け取らなかった人が用者への思いを受け取らなかった人が

だろうか。心の思いやりで税金の使 美術館や博物館は、手に取ることはな 扱わないことは、税金を大切に使おう などがある。その一つ一つに税金が使 の周りには、図書館や美術館や博物館 その時初めて税金に関心を持った。私 なわれているよ。」と教えてくれた。 費や職員の給料や書籍代も税金でまか ついて学んだそうだ。だから、そんな と言われた。姉は高校の授業で税金に 公共物を大切に扱っているのではない いが、マナーを守り静かに見ることが としていないことにつながる。また、 われているのだ。図書館の本を大切に からその一つであって、建設費や維持 の。つまり、図書館も公共施設である 実施するために国民から徴収するも 金は、国や公共団体が公共サービスを は、税金について教えてくれた。「税 言葉が自然と出たのかもしれない。姉 から、これからも大切に扱うんだよ。_ 書館の運営には、税金が使われている に話してみることにした。すると、「図 私は、図書館でのマナーについて姉

方は変わってくるのである。

取り上げられている。それは私も図書 の義務を負う」と規定している。だか 方を知り大切に使ってほしい。 から一人でも多くの人が税金の使わ 館を通して強く感じることがある。だ た税金の無駄遣いが新聞やニュースで きていることを忘れてはいけない。ま サービスによって人々は支えられて生 が使われている。そして税金による 面では、教育や医療にたくさんの税金 齢者のための支援や援助に、身近な場 はもちろんのこと、障害のある人や高 員にある。それは社会にもある。政治 は、サービスを利用する権利が国民全 は、法律の定めるところにより、 がある。日本国憲法第三十条に「国 私たち国民には、税金を納める義務 納税をする義務があるということ

けないだろう。いながら生きていくことを忘れてはいいながら生きていくことを忘れてはい

意識をもって納税者としての

二年 小 白大泉町立北中学校

海

広域幹線道路)の建設と、国道三五四国道三五四号邑楽大泉バイパス(東毛共事業が二つ行われている。一つは、共事業が二つ行りない。一つは、大きな公

ものである。大橋周辺の工事は、水害防止のための大橋周辺の工事は、水害防止のための泉軍による渋滞の解消のためであり、泉東による渋滞の解消のためであり、泉

これらの工事は、僕たちの税金で進められている。実際に多くの税金を納められている。それは、「僕の納めた一円が、道路や橋になって僕の納めた一円が、道路や橋になって僕の納めた一円が、道路や橋になってくられしい気がある。

税金についてさらに調べてみると、税金についてさらに調べてみると、がいなくなったら、どうなってしまうがいなくなったら、どうなってしまうがいなくなったら、どうなってしまうがいなくなったら、どうなってしまっただな。税金をきちんと納める人いるんだな。税金をきちんと納める人いるんだな。税金をきちんと納める人がなくなったら、どうなってしまうがいなくなったら、どうなってしまうんだろう。」と思えるからである。

でも、自分が苦労して働いて納めたかってくることは間違いないと思う。かってくることは間違いないと思う。かってくることは比較にならないほど金の金額は今とは比較にならないほどを耳にするが、税金が重く僕にのしかを耳にするが、税金が重く関いているのとなるだろう。父や母が時々、「本多くなるだろう。父や母が時々、「本多くなるだろう。父や母が古りいている。

納めていきたいと思う。ことになるのなら、僕は喜んで税金をなったり、困っている人たちを助ける税金によって、少しでも生活が便利に

についての資料をしっかりと見て、自 は我慢できないからである。その意味 いかがチェックされるようになった。 ちんと遣われているか、無駄遣いはな 税金について考えていかなければなら 分なりに見守ることは必要だと思う。 でも、国や県などの税金のつかいみち なったあと、無駄な仕事に回されるの 僕たちが苦労して得たお金が税金と ていく必要があると思う。なぜならば、 議員に任せずに、僕たちも進んで行っ しかし、このことは政府や一部の国会 たに行われたことによって、税金がき いみちをきちんと見守ることである。 ないことがある。それは、税金のつか 「事業仕分け」という政府の仕事が新 同時に、僕たちは全く別な立場で、

「税金を納めることだと思う。「税金を納めることだと思う。はればならないこと、「無駄に税がら、しっかり税金を納める」という気持ちを忘れないこと、「無駄に税だから、しっかり税金を納める」といいが、そして、世の中のためになるのは、人のために「税金を納めることは、人のために

なるために…』 世界一幸せな国と

一年 井 口 美小千谷市立小千谷中学校

瑠

四季折々の貧困率は5.%。高齢者実が存在していたのだ。 と私は信じていた。だが現実を知ればと私は信じていた。だが現実を知ればと私は信じていた。だが現実を知ればと私は信じていたのだ。

日本全体の貧困率は15%。高齢者日本全体の貧困率は15%。高齢者ともなれば50%を越えるのだという。そこで一番身近な、消費ではこない。そこで一番身近な、消費ではこない。そこで一番身近な、消費のではいるかも知れないと思えても、高齢者

一寺、日本は消費税の税率アップの問題で悩んでいる。貧困率が高いというのに税率を上げるなどして大丈夫なののに税率を上げるなどして大丈夫なののに税率を上げるなどして大丈夫なのであろうし、今のままでは、どう考るであろうし、今のままでは、どう考るであろうし、今のままでは、どう考るである。その国が善くなるとは思えなしい情報が舞い込んで来た。なんと世しい情報が舞い込んで来た。なんと世しい情報が舞い込んで来た。なんと世しい情報が舞い込んで来た。なんと世しい情報が舞い込んで来た。なんと世しい情報が舞い込んで来た。なんと世にして約00万円。ここから所得税40%、車間で悩んでいる。

続する。という簡単な事が、なかなか 日本国民は素直に信頼し合い実行し継 持っているのではないだろうか。ただ ちたい等の基本的な精神は人間誰しも 善くしたい。素晴らしい人間関係を保 歴史もあるだろう。でも自分達の国を では数々の葛藤や他国には知り得な 例に挙げた、この国も、これに至るま 解る。もちろん全ての国が違うのだし、 てみても国民性に大きな差が有るのが 90%を超えるらしい。ここだけを取っ りなもので国会議員選挙の投票率は やはり国民の政治に対する関心もかな 指導者との結束関係に。調べてみると、 わした約束をしっかり守り行動に移す 差し出す国民と、その国民との間に交 と言う指導者の言葉を信じて、お金を せば充実した暮らしを保障します。」 り、「あなた達の収入の50%を差し出 ている国があるなんて…驚いた。何よ 諸問題をいとも簡単に実行し、解決し 界第2位の経済大国日本がナシエナイ 国が存在するのか。アメリカに次ぐ世 るというのだ。まさか…本当にそんな 事なく充実した暮らしが保障されてい 保障されており生涯決して誰も飢える 費は原則全額無料。失業者や障害者も は教育費、医療費そして高齢者の介護 が耳を疑う事実であるが、その背景に えた国民が85%を超えるという。誰も ず現在のシステムに満足していると答 て、これだけの高負担であるにも拘ら など)、土地税等を支払うのだ。そし

できないだけなのだ。簡単なようで難

しい事なのかも知れないけれど考えてしい事なのかも知れないけれど考えていまだろうという考え方は捨て自分達のるだろうという考え方は捨て自分達のるだろうという考え方は捨て自分達のという気持ちで積極的に政治に参加しという気持ちで積極的に政治に参加しという気持ちで積極的に政治に参加したなに素晴らしい国になることだろんなに素晴らしい国になることだろ

税金に感謝

長野市立三陽中学校

三年日極りな

聞いてみた。
聞いてみた。
聞いてみた。
せ月の参議院選挙。政治評論家が言
七月の参議院選挙。政治評論家が言

身近な所で簡単な例を挙げると、公身近な所で簡単な例を挙げると、公共の物の維持、修理をするために必要は国民の義務だという。この話を聞いた時、私は理解した気になっていた。だが、このときは本当の意味を理解していなかった。

にぎやかな大通りから横道に入り、しば外はもう真っ暗だったからである。時、私は物凄く不安だった。なぜなら習い事から一人歩いて帰ろうとした習い事から一人歩いて帰ろうとした

思った私は全力で家に向かって走り出 少し迷ったが、もう走るしかないと う横道の一歩手前まで来てしまった。 通りが少なく静かだ。それに、私の大 車も人も多い大通りと違い、横道は人 ばらく行ったところに私の家はある。 方と共に猫に気を遣いながらも歩き出 安も恐怖もなくなった私は、心強い味 を照らしていてくれたのだ。一気に不 は気づかなかった街灯が、私の行く道 ある。普段何気なく通っているときに 私は走るのをやめた。道が明るいので した。だが、それほど走らないうちに、 らも仕方なしに歩いていると、とうと いるのである。不安と恐怖を感じなが の苦手である野良猫が多く住みついて

そんな時、両親の言っていた税金のことを思い出した。この街灯も、そのでと、壊れたときも税金によって修祀金によ、また暗い夜道を照らしてくれるのだと。私は、街灯に感謝をした。るのだと。私は、街灯に感謝をした。るのだと。私は、街灯に感謝をした。るのだと。私は、街灯に感謝をした。として、同時に税金にも感謝をした。といることが分かった。ある未納税者で調べてみると「未納税者」という人では、場所であると「未納税金によって終金のだと。私ないか。」と主張したらしい。

られているはずだ。助けられる生活がされているものに、どこかで必ず助けかし、その人たちも税金によって管理かし、未納税者は一人ではない。し

も少なからずいるだろう。未納税者になどなっていないという人いだけで。そのことに気づいていれば、いだけでがある。

と良い国になることができるだろう。とりよくしてくれるものだと思う。「住よりよくしてくれるものだと思う。「住なるために税金は必要不可欠だ。みになるために税金は必要不可欠だ。みいながもっと税金について理解をすれるながもっと税金について理解をすれるながもっと税金に必要不可欠だ。みは、税金とは私たちの住む国を、私は、税金とは私たちの住む国を、

かったら高額な費用がかかっていたと

感謝

干葉市立磯辺第一中学校

もし、税金がなかったらどうなると思いますか。僕たちは、税金で生活をとれずしまうと、上下水道が整備されず大切しまうと、上下水道が整備されず大切とも整備されなくなったり道路や信号ななが使えなくなったり道路や信号なども整備されなくなってしまいます。税金が使われているのです。税金のだと思いました。

術をうけ、三か月間入院しました。そ不便になりました。その後、大きな手り運動はもちろん、普通に歩くことも僕は、五年前に足の骨の病気がわか

だと思いました。

をすれ とができました。もし、この制度がないう人 した。育成医療とは、身体に障害のあいう人 した。育成医療とは、身体に障害のあいう人 した。育成医療とは、身体に障害のあいる質し国を、 病気がある児童が確実な医療を受けることができまいれば、 医療という制度を受けることができまいれば、 医療という制度を受けることができまいがな の時、国の税金で成り立っている育成でいな の時、国の税金で成り立っている育成

手術が終わってからも、一年以上車手術が終わってからも、一年以上車にもしなかったエレベーター、スローにもしなかったエレベーター、スローにもしなかったエレベーター、スローにもしなかったエレベーター、スローにもしなかったまでは、気がないと、行動する範囲がな施設である事を強く感じました。それらの施設がないと、行動する範囲がながなり、生活が成り立たなくなってといます。もちろんこれも、税金でといます。もちろんこれも、税金ででなく、これからの高齢化社会に向けでなく、これからの高齢化社会に向けでなく、これからの高齢化社会に向けてバリアフリーがあたりまえの社会にあるように整備されていってほしいでなるように整備されていってほしいでなるように整備されていってほしいでなるように整備されていってほしいでなるように整備されていってほしいでなるように整備されていってほしいで

希

を生活を税金が保障してくれているの 術をうけました。こう振り返ってみる ん税金のお世話になっていることに改 めて気付かされます。自分の足で歩い めて気付かされます。自分の足で歩い と、僕は足の病気になってからたくさ と、僕は足の病気になってからたくさ と、僕は足の病気になってからたりさ

なった税金に感謝すると共に、税金に と思いました。医療費などでお世話に 理解するよう努力しなければならない のかを知り、その意義や役割をつねに であるので、どのように使われている でも国民一人一人が納めた貴重な税金 の一つだと思います。 ついてよく知る事が僕にできる恩返し など、僕には決めることができません。 す。どれが必要でどれが必要でないか て国の政治でよく取り上げられていま 税金の使い方、使われ方につい

しい。そのために、税について知り、 たい、支えになりたい。みんなが健康 自分が社会人になった時には誰か助け で安全な生活が送れる社会になってほ 生懸命勉強し、夢の実現に向けて頑 僕が助けられ、支えられたように、

税の意義

学校法人平田学園国府台女子学院中学部 年

れに近い部分も否定できなかった。一 物」とあった。とりたてる、という一 から一定の割合でとりたてるお金や品 領主がその運営のためにそこに住む人 「ある領土を支配している国家や政府、 かに私の税金に対するイメージがそ が強制的で感じが良くない。でも、 税」という言葉を辞書で引くと

> な納税意識を持っていた自分が恥ずか 的にものを考える人のこと。あいまい 志向の強い国民であると言われ、そう どこか矛盾した印象があった。憲法に られると思ったり、税金というものに えられていることは充分に理解でき 当する国なのだろうか。 ゴイストとは思いやりのない自己中心 であるとも評される。」とあった。エ いう国民が多い国は民主主義の後進国 務」について、考えてみようと思った。 ある国民の三大義務の一つ「納税の義 る。私は、ありがたいと思ったり、と がめただけでも、警察・消防、道路 の会費と言われれば、身近な生活をな 方、安全で健康な生活を実現するため しくなった。そして、日本はこれに該 納税意識の低い国民はエゴイスト的 納税に関するある評論を目にした。 医療……。その恩恵に支

イストな国民なんかではないと思っ 結果ではないかと考えると決してエゴ 税金があり、一つ一つが紡がれてきた 思う。その一部に懸命に働いた国民の 将来への希望と勤勉・努力の結晶だと たのは、誇りともいうべき日本国民の を、今日の美しく豊かな国に構築でき 本を思い出した。あのあれ果てた日本 りの塔で見た、人も物も破壊された日 ム、長崎の原爆資料館、沖縄のひめゆ いを再認識した。私は、広島の原爆ドー 霊祭がテレビで放送され、平和への思 この夏も、戦後六十五年目の戦没慰 戦後に比べ、はるかに近代的にな

> と思った。 り、便利になったが、時代の流れによっ 福祉、教育など様変わりし、また歳 て国の抱える問題も少子高齢化、介護、 本が再び奮起しなければならない時だ 山積みであることを改めて知った。日 入、歳出の経済グラフを見て、問題が

それこそが個人の幸福にもつながり、 考えた。 にできることを誠実に実行すること、 しかし、一人一人が国の豊かさ、ある をそがれてしまうこともあるだろう。 部の残念な税の使われ方に納税の意欲 日本が真の豊かさを獲得できるのだと いは人々の幸福とは何かを考え、自分 確かに脱税の報道は絶えないし、一

と思った。 真の豊かさと心の美しさを持つ国であ るというプライドから、支払うものだ も義務からでもなく、私の住む日本が、 私にとって、納税はとられるもので

私が考えたこと税について

江 川区立西葛西中学校

村

佳

て病院へ行っても、治療費や薬は無料 だろう。」歯医者の帰り道にふと思っ ども達は受診料を払わなくてもいいの た。今までケガをしたり、風邪をひい 「そういえば、どうして病院で、子

> だ。先日も、子宮頸ガンの予防接種 つもれば山となる」ならぬ「税もつも 分集まれば五億円にもなる。「ちりも ば五円。その五円が日本の人口一億人 わずかなものだが、百円のものを買え 消費税。中学生の私が支払う額なんて、 大人も子どもも誰もが負担する五%の うかんでくる。物やサービスを買えば 身近な税金といえば、やはり消費税が どたくさんの種類があるが、私に一番 た税金によって支えられているのだ。 施設や公共サービスは一人一人が納め など、安全で快適な生活のための公共 め、警察や消防、道路整備やゴミ回収 医療面だけではなく私達の学校をはじ りがたいことだと思う。考えてみると、 補助してくれるというのは、とてもあ む街が自分の健康維持のためにお金を 料で受けられるのだそうだ。自分の住 回接種で五万円もかかる予防接種が無 子に全額補助してくれるため、本来三 案内が届いたが、これも区が中学生女 の、子ども医療費助成、のおかげなの だった。それは、私達の住む江戸 税金には法人税や所得税、住民税な

大な力を産み出すのだ。 れば大金となる」といったところか、 小さなことかもしれないが集まれば偉

タビューの主婦達も「家計に響くわ 思っていると、テレビに映る街頭イン わきあがった。「それは嫌だなぁ。」と ことを検討する」という話題で論議が 挙で、「消費税率を十%に引き上げる 消費税といえば、今年七月の参院

二十五%と知り驚いた。けれども、社 えてきたような気がする。 あるが、日本社会の足りないものが見 ているという。歴史や文化のちがいも と、積極的に社会参加して義務を果た 心〟を買うのだ。スウェーデンの国民 えると同時に、社会に支えてもらう安 まり、高い税金を払うことで社会を支 もらえるという信頼があるらしい。つ 会保障が手厚く、確実に将来を支えて 北欧スウェーデンの消費税はなんと は広い。そんな日本よりも、 ねぇ。」と困った顔をしていた。世界 しながら権利を主張する意識が根づい い消費税率の国がたくさんあるのだ。 社会の一員であるという自覚のも ・もっと高

日本の消費税率引き上げ論の裏側には、少子高齢化や景気の低迷で税収がは、少子高齢化や景気の低迷で税収が減っていること、税の悪用やムダ使いなどさまざまな税の問題をかかえて日本の財政が赤字状態であるという背景本の財政が赤字状態であるという背景本の財政が赤字状態であるという背景本の財政が赤字状態であるというとうにとって私達は税に支えられているという感謝の気持ちと共に社会を支える自覚と責任感を持ち続けていなかなくてはならない。日本の明るい未来のためはならない。日本の明るい未来のためは、少子高齢化や景気の低迷で税収がは、少子高齢化や景気の低迷で税収がは、少子高齢化や景気の低迷で税の悪用やムダ便いであるというではならない。これが表表の思いというによりである。

支えている税金祖母の命を

三年 小池 翔日野市立三沢中学校

子

去年の夏、群馬に住んでいる母方のか。入院は何ヶ月にも及んだ。
ま年の夏、群馬に住んでいる特祖母が入院した。国が指定している特祖母が入院した。祖母の友人達も協力してくれた。私も見舞いに行ったりしてくれた。私も見舞いに行ったりしてくれた。私も見舞いに行ったりしてくれた。私も見舞いに行ったりしてくれた。私も見舞いに行ったりしてくれた。私も見舞いに行ったりしてくれた。私も見舞いに行ったりしてくれた。私も見舞いに行ったりしてくれた。私も見舞いに行ったりしてくれた。私も見舞いに行ったりも不安は尽きない。祖母が治るのか、も不安は尽きない。祖母が治るのか、それでもる限りの協力をした。それでもみや母は大丈夫か、子供が心配するようなことではないがお金は大丈夫ならない。

かったかもしれない。そして、人が生かったかもしれない。そもそも、この制度を療費が支払えないため治療を断念したかもしれない。そこで、公費負担なしでは原因究明や治療法の開発に困難をきたすおそ明や治療法の開発に困難をきたすおそれのある疾病には医療費の自己負担の軽減などの対策をしてくれているというのだ。「もしこの制度がなかったら治療法の関係をしているというのだ。「もしたが重く、患者数も少ない。そこで、公費負担なしているといるというのだ。「もしたが重く、患者数も少ない。そして、人が生かったかもしれない。そして、人が生かったかもしれない。そして、人が生かったかもしれない。そして、人が生かったかもしれない。そして、人が生かったかもしれない。そして、人が生かったかもしれない。そして、人が生かったかもしれない。そして、人が生かったかもしれない。そして、人が生かったかもしれない。

大事なこと。治療法があるということ大事なこと。治療法があるということ大事なこと。治療法があるということないほど心の支えとなっているか、患者や看病している人間にとっても母は言った。治療を断念、治療法がないということは、祖母の病気では、ないということは、祖母の病気では、ないということは、祖母の病気では、ないということは、祖母とは面識のないを療関係者といった直接接している人を産だけではなく、祖母とは面識のないるのだ。本当にありがたいことだといるのだ。本当にありがたいことだといるのだ。本当にありがたいことだといるのだ。本当にありがたいことだと

その後、治療が功を奏して、祖母のその後、治療が功を奏して、祖母のは、週に二回介護へルパーにきてもらいっている。「みんなからいただいたらっている。「みんなからいただいたらっている。「みんなからいただいたらっている。「みんなからいただいたらっている。「みんなからいただいたらっている。「みんなからいただいたらっている。「みんなからいただいたらっと「ありがとう」が祖母の口癖だ。た日、祖母の誕生日に電話をして、おめでとうと祝った。今年この日を迎おめでとうと祝った。今年この日を迎おめでとうと祝った。今年この日を迎まめでとうと祝った。今年この日を迎まめでとうと祝った。

も税金によって支え守られているのだ切さを学んだ。そして、私たちの生活私は祖母の病気を通して、税金の大

に生きていきたい。
助け合いの心と感謝の気持ちを忘れず社会を作り守っていきたい。そして、社会を作り守っていきたい。そして、と気が付いた。私も大人になったら、

未来への貯金

三年 **兆 谷 春 季**東京都立武蔵高等学校附属中学校

私は毎年夏休みに青森の祖父母の家私は毎年夏休みに青森の祖父母の家まれる時は青森の保育園に通い、帰ると祖父とかまくらを作ったりした事をと祖父とかまくらを作ったりした事をと祖父とかまくらを作ったりした事をと祖父とかまくらを作ったりした事をとが良くないようで、最近は要介護認子が良くないようで、最近は要介護認子が良くないようで、最近は少し前に病気になり鼻に酸素の通る管をつけながらこを受け度々デイサービスに通っている。元々はとても広い家に住んでいたる。元々はとても広い家に住んでいたる。元々はとても広い家に住んでいたる。元々はとても広い家に住んでいたが、三年程前に二人で住むのには広すが、三年程前に二人で住むのには広ずるという理由で狭く、隣に息子大婦にある。

今年も祖父母に会うのを楽しみに日めたれていてやっと家に着いた時のことである。雪国ならではの玄関の短い階段にあいたのだ。祖父は山小屋を作ったことがあるため祖父自身でつけたものだとがあるため祖父自身でつけたしとであるない。祖父は山小屋を作ったことがあるため祖父母に会うのを楽しみにし今年も祖父母に会うのを楽しみにし

直接祝えない代わりに一万円札を一枚 ら、と言って私にお年玉やお誕生日を ずに充実した二週間を送った。東京 祖父は来年まで会えないか

「ありがとう。」

と祖父に言いながらそれを受けとり、 無事に東京へと帰ってきた。 「じじ、家に手すり付けたんだね。」 帰宅して私が母に、

金で取り付けてもらったんだよ。」 と話したところ、母からは予想もして いない一言が帰ってきたのだ。 ⁻あれ、じじが付けたんじゃなくて税

効いたそうだ。 をする際にも税金から成る医療控除が で運営しているし、祖父が入院、治療 ると、祖母の通うデイサービスも税金 とは思っていなかったのだ。聞いてみ に私達が払った税金が活かされている かなく、まさかあれほど身近なところ といったような本当に初歩的な知識し 認識しかなかった。働けるうちに働い も払わなければいけないもの、という どのテレビで流れたりするものでしか 近にある消費税や、法人税、所得税な いの先生にも言われたものだが、年金 て、将来に備えるものなのだと知り合 私が税金と聞いて思い浮かぶのは身

る道路、色々なことを学ぶために今 の人や私達も同じで、いつも歩いてい ることがわかる。支えている若い世代 こう考えてみると私の大切な祖父 祖母も、沢山の人に支えられてい

> 知った。 通っている中学校、私の住んでいるマ ンションも市民税が使われたことを

直接伝えることは出来ないが、この に使うと同時に、その一部を未来へ貯 一万円はよく考えて私の役に立つよう くれたものであったのだ。この感謝は 人々が後の世代へ繋がるように与えて 一部であり、日本に住んでいる沢山の 金は祖父が昔に貯めた未来への貯金の とう」と祖父に言った。しかしそのお 私は一万円をもらった時に「ありが

税と福祉の関係

横浜市立日吉台中学校 菜

生

また、長引く不況で、失業者や就職で けが回る」とか「財源の確保が困難 政策に思えても、「子どもの将来に付 接恩恵を受ける私たちには一見、良い 業料の無償化と子ども手当の支給。直 消費税を五%から十%にという案も出 いと感じる人が多い。財源確保の為に きない若者も増え、生活が苦しい厳し と、社会では大きな論争を呼んでいる。 大きな社会変革があった。公立高校授 今年、中学生の私たちにも直結した

プで日本と対戦したデンマークの国 そんな時、サッカーのワールドカッ

社会に波紋が広がった。

事に目が止まった。学費が無料、病気 紹介を家族で見ながら、福祉と税金の 本との考え方や意識の違いに改めて驚 問いかけに「税金は高いが、子育てか 本に比べかなり高いことに驚いた。更 国家だとも言っていた。所得税が収入 民一人当たりの税負担がかなり大きい 会の恩恵を享受できる福祉国家らし 手当など社会保障制度が行き届いた の治療も無料で出産や入院の費用もか 保障や税負担など社会生活に対する日 人々が答えていたのが印象的だ。社会 ら老後まで安心して生活できるシステ に、「高い税金をどう思うか」という の約半分を占め、消費税も二五%と日 い。そしてその高福祉を支える為の国 からない。失業手当や所得者への住宅 ムが整っているので不安も小さい」と デンマークは国民一人ひとりが社

収が減ってしまう。不況続きの中で、 化が進めば、将来的に働き手となる若 財源が必要となってくる。しかし少子 は増大する。そして福祉の為の大きな めて福祉や介護サービスを必要とする びて高齢化が進めば、老後の安定を求 と先進国の中でも低い。平均寿命が延 い。その一方で平均出生率は一・三七 命が延び続け長寿国と言われて久し 会問題となっている、男女共に平均寿 口が減ると所得税も減少して、国の税 い世代人口が減少してしまう。労働人 人が増えるから、医療費や年金の費用 今の日本では少子高齢化が大きな社

> 接影響しそうで簡単には決められ 消費税の大幅アップは、 消費生活に直

が崩壊してしまう。 に支え合わなければ社会のしくみ全体 も切り捨てられない。バランスよく共 代とやがて直面する高齢者。どの世代 担う子どもと今、社会を支える働く世 てはならないと改めて思った。将来を な大切な財源だからこそ、無駄に使っ い関係にあることを再確認した。そん 祉の恩恵と税金の高負担は切り離せな ど、そこには大きな財源が必要だ。福 を願い、社会保障の充実を訴えるけ てしやすい環境を望み、安定した老後 少子高齢化社会の中で、 誰もが子育

て暮らせる明るい社会の実現の為にこ なおとなになってはいけない。安心し らない。現実を知らないままに無責任 実をしっかり把握し勉強しなければな こと、福祉のこと等に関心を持ち、 私たちはもっと社会のしくみ、税 大切な税金が使われてほしい。 現

Dream's Japan!

横浜市立市場中学校

三年 加

しますか? ることができるならば、 もしもあなたが、税の仕組みを変え あなたはどう

この作文には私が考えた未来の日

まず、払が一番こしていことは、国何か一つでも気づいて欲しいです。が描かれています。この作文を読んで

民全員で税について学ぶのです。 等全ての情報機関に短時間を使って国 国放送します。ネット、ラジオ、新聞 全チャンネルで税についての番組を全 少しでも興味を持ってもらいたいので きているかなどを分かりやすく明確に 税金の使い道や今どのような問題が起 を取り入れます。この授業では私達の は全国の中学校で税について学ぶ制度 れだけでは足りないのです。だから私 れることもありますが、私が思うにそ 少ないからです。社会科等の授業で触 す。でもそれは当たり前のことなので 感じている生徒は少数だと思われま 代の日本の中学生は少なくともこれを て関心を持っているのでしょうか。現 るのでしょうか。また私達は税につい です。私達中学生を対象とした場合、 民全員に税について知ってもらうこと 員に知ってもらうことなので、同日時 す。また私が目指しているのは国民全 した物を学ばせます。そこで生徒達に 体何人の生徒が税について説明でき まず、私が一番にしたいことは、 なぜならば税について知る機会が

まった物が多いのです。しかし、現在のですが、現状では無駄になってしつも頻繁に使われているのならばいいオブジェ、橋や道路など。これらがい数あります。例えば、公民館や巨大な数あります。何とは不要となった公共物が多

ではそれを仕分けして撤廃や売却してなりすが、ただ壊したり売ったりするいる事業団もいます。それはいい事ながけではだめなのです。なぜ不要とさだけではだめなのです。なぜ不要とさだけではだめなのです。なぜ不要とさだけではだめなのです。をせんのでは、質問です。それはいい事なのですが、ただ壊したり売ったりまる。

私はまず税金を無駄にしてしまったいのでしょうか。

に小さな反省が大事なのです。より良い日本を作りあげるためには常ことが繰り返されてしまうだけです。ことが繰り返されてしまうだけです。もし、何も反省もせず、処分していもし、何も反省もせず、処分してい

明日の日本税がささえる

一年 **足 立 奈 央** 山梨大学教育人間科学部附属中学校

され、ゴミは一週間に二回は収集して 次のようなことが書かれています。「こ ます。このような安心した暮らしがで くれて、水道の水だって安心して飲め なんだろうと思います。道路はほそう 国だということではありませんが、そ ところには、ゴミが捨てられていまし 勉学にはげみたいと思います。 る大人に感謝しようと思います。そし して一生懸命働いて税金を納めてくれ て無償で支給されています。大切に使 んへの期待をこめ、国民の税金によっ の教科書はこれからの日本を担う皆さ て支給されています。教科書の最後に たちが使っている教科書も税金によっ きるのも、税金のおかげなのです。私 れに比べると日本はなんて恵まれた国 せんでした。決してカメルーンが悪い た。水道の水は飲めるものではありま れているところは少なく、道のいたる て期待を裏切らないようにしっかりと いましょう。」だから私は、汗水たら で暮らしていました。道路がほそうさ 私は七年前、アフリカのカメルーン

ます。この前テレビで、自動車税を滞人もいるという話も聞いたことがありしかし、その一方で税金を納めない

金」だと私は思います。 納している家に役所の人が出向き、納 が映っていました。その人は、払う ろが映っていました。その人は、払う お金がないと言っていましたが、乗っ でいる車は高級車で本当はお金がある のに納めないみたいです。私はそれを 見て、少し悲しくなりました。苦しい 見て、少し悲しくなりました。 を はる。不公平です。税金は日本をより はみやすい国にするためにみんなが納 がる。不公平です。で会は日本をより はみやすい国にするためにみんなが納 かるものです。「自分だけだからいい かるものです。「自分だけだからいい なるものです。「自分だけだからいい なるものです。「自分だけだからい。 なるものです。「自分だけだからい。 なるものです。「自分だけだからい。 なるものです。「自分だけだからい。 なるものです。「自分だけだからい。 なるものです。「自分だけだからい。 なるものです。「自分だけだからい。 なるものです。「自分だけだからい。 なるものです。「自分によるに なるものです。「自分によるに なるものです。「自分によるに なるした。 なるした。 なると、 なると、 なんなが平等に対めてこそ「税

また、今消費税を上げる、上げないが話題になっています。私には消費税が出題になっています。私には消費税が出題になっています。消費税が上がれば、私たちの負担す。消費税が上がれば、私たちの負担す。消費税が上がれば、私たちの負担は大きくなります。大変です。このまは大きくなります。大変です。このまは大きくなります。大変です。このまは大きくなります。大変です。このまは大きくなります。大変です。このまは大きくなります。大変です。このまは大きくなります。大変です。このままの方がいいかもしれません。それぞれの良さ悪いところをきちんと話し合って、私たちが納得をきちんと話し合って、私たちが納得をきちんと話し合って、私たちが納得るような理由で結論を出してもらえればと思います。

めに、より良い暮らしをするために。納められています。日本を良くするた時代、いやもっと前の時代から税金は私のおじいちゃん、おばあちゃんの

になりたいと思います。たら、きちんと税金を納められる大人私もその思いを引き継いで大人になっ

笑顔の花

三年岩 坪夏 穂射水市立新湊南部中学校

昨年、私の学校は新校舎となった。昨年、私の学校は新校舎となった。出校舎が取壊された時は、さみしくも思ったが、新しくきれいで使い心地の思ったが、新しくきれいで使い心地の思ったが、新しくきれいで使い心地のまい新校舎での生活は自然と笑顔になができたりと、以前にはできなかったができたりと、以前にはできなかった。正女できるようになり、本当に私達は幸せだと思う。

くなる。

くなる。

をして、そんな自慢の校舎が建築される時に使われたのが「税金」である。

れる時に使われたのが「税金」である。

いうちにたくさんの税金が使われていいうちにたくさんの税金が使われている事が分の他にも至る所で使われている事が分の他にも至る所で使われている事が分かった。国民が安心して生活するためかった。国民が安心して生活するためかった。国民が安心して生活すると、それのもにも至る所で使われている事が分の他にも至る所で使われている事が分の地にも至ると、行い方にたくさんの税金が使われていると、それがあると、行い方にない。

こうして考えてみると、私達の生活は、税によって支えられ、なくてはならない大切な存在となっている。しからない大切な存在となっている。しからない大切な存在となっている。しかの裏には毎日汗水流して一生懸命働の裏には毎日汗水流して一生懸命働いているたくさんの人がいる事を忘れてはならないと思う。

咲かすための種のようなものだと思 る。結局は自分にはね返ってくるのだ。 税=悪いものではなく、税=あたたか 状だ。だから、私はもっと多くの人に、 いない人がいる、税金をいらないとこ う。国民一人一人が税という小さな種 い。ごみは回収されず、治安も悪くな し、老後の生活もどうなるか分からな 有料化になり莫大な医療費がかかる と、もしも税がなかったら、救急車も 人も多いだろう。しかし、よく考える だから、税金を納めることをためらう ほしいと思う。自分で稼いだお金なの いものと思ってもらえる社会になって よくないものだと思ってしまうのが現 て人を笑顔にするものなのに、あまり ため、税は、本当はすごくあたたかく ビや新聞などで報道されている。その ろに使っている、などという事がテレ けれども、一方では、税金を納めて 私は、税というのは「笑顔の花」を

> だ。 あかしに大きな笑顔の花を咲かせるの

ら願う。
なるだろう。その時は、今、私達のことを支えて下さっている方々に感謝かりと納税していきたいと思う。そしかりと納税していきたいと思う。そしとを支えて下さっている方々に感謝なるだろう。その時は、今、私達のこなるだろう。その時は、今、私達のに私も将来、働いて税を納める立場に

税金のことまずは知ろう

福井市足羽中学校

麻

子

表紙にはこう書かれていました。その裏を紙にはこう書かれていました。その裏をがありませんでした。しかし、そんともありませんでした。しかし、そんともありませんでした。しかし、そんともありませんでした。しかし、そんともありませんでした。しかし、そんともありませんでした。しかし、そんたしが毎日、普段当たり前のように役立っている教科書からでした。

ちが良いです。

待が詰まっているのだと感じました。 は、たくさんの人のわたしたちへの期 わたしはそれを見て、この教科書に で支給されています。」 「この教科書は、これからの日本を

そして成長し、最後に皆の役に立ったをまき、その上に思いやりの水をまき、

思いました。とても大切でずっしり重い教科書だと

思います。それに、自分が払った税が 社会で役に立っていると考えると気持 生活の中で受けることが出来るのだと わたしは、個人が払う額以上の利益を、 できるのは税金のおかげです。だから る、という話を聞きます。でも、わた 理由を見つけたような気がします。 きました。日本が豊かな国と呼ばれる なかった税金の使い道を発見でき、驚 ました。知っているようで今まで知ら でもが税金で賄われていることを知り せてもらっている道路・公園・信号ま なりました。例えば、私たちが利用さ ち、生活の中に使われている税金一つ たり、いろいろなサービスを受けたり し達個人では買えないものを利用でき 一つに目を向けることができるように よく、税金を嫌々払っている人がい それからわたしは税金に興味を

例えば、友達と公園で遊ぶ、困った人切だと思います。自分達が払った税にはまず税金がどのように使われていいると思います。しかし、この感じていると思います。しかし、このができるのは、税金のおかげだということを忘れてはいけません。そのためにはまず税金がどのように使われているか、どのようにわたし達の生活に役るか、どのようにわたし達の生活に役るか、どのようにわたし達の生活に役るか、どのようにわたし達の生活に税金が、困ったしずであるが、知ろうとするが、困った

いと思います。ななのですから、その使い道に関心を金なのですから、その使い道に関心をはないでしょうか。喜んで社会のためはないでしょうか。喜んで社会のためはないでしょうか。喜んで社会のために税金を払うことができれば素晴らした。

います。
います。
に変わっていってほしいと思う税金」に変わっていってほしいと思います。将来、「義務だから払う税金」思います。将来、「義務だから払う税金」お互いを支え合う素晴らしい制度だとお互いを支え合う素晴らしい制度だと

未来に繋がる「税」

聖マリア女学院中学校

三年平野 裕

た。

成。私は生まれてから約十四年間、税。私は生まれてから約十四年間、がその使い道や役割を考えた事はなかった。消費税くらいは知っていたが、かった。消費税くらいは知っていたが、かった。消費税くらいは知っていたが、がその使い道や役割を考えた事はながる思いはあまりよいものではなかった。

沢山あった。いて調べてみたら、知らなかった事がいて調べてみたら、知らなかった現が

の暮らしを安心で快適なものにしてく国の重要な収入源だ。そのお金で私達風の重要な収入源だ。そのお金で私達

教育費などさまざまだ。れている。その使われ方は、医療費、

もしこの税金がなくなったらどうなるのだろう。まず、病院に行けなくなるのだろう。まず、病院に行けなくなる。現在国が負担してくれている7割らだ。図書館や美術館などの公共施設らだ。図書館や美術館などの公共施設らだ。図書館や美術館などの公共施設らだ。図書館の場が減り、未来の発展を担て、教育の場が減り、未来の発展を担て、教育の場が減り、未来の発展を担て、教育の場が減り、未来の発展を担めで溢れ返り、不衛生な環境と化す。

返り、それに感謝して自分と税金との 何よりも今の当たり前の暮らしを振り 理に努めたり…。やれる事は沢山ある。 距離を縮めるのがこの社会に貢献する たり、病院に行かずに済むよう健康管 ミをなるべく出さないように気を付け いだ。公共の物を大切に扱ったり、ゴ 自分には無関係だと考えるのは大間違 う。まだ中学生なのだから税金なんて 守られ、この当たり前のような、しか 先程のような世の中にならないように のが税金なのだ。私達は税金によって るからであり、その社会を支えている 時からこの素晴らしい社会に生きてい ない。しかし、それは私達が生まれた し貴重な日常を与えられているのだ。 そんなのは大袈裟だと思うかもしれ では、今私にできる事は何なのだろ

最近少子高齢化も大きな問題になっ

はうまくゆかなくなる。を抱えているのに、これでは絶対福祉を抱えているのに、これでは絶対福祉そうだ。ただでさえ、国は莫大な借金一人の高齢者を二人で支える事になるている。十五年後にはこのままいけば

しかし、今からでもできる事はある。しかし、今からでもできる事はある。とだ。もっと現在の税の使われ方ることだ。もっと現在の税の使われ方を見直し、国民の声を聞いて社会に反を見直し、国民の声を聞いて社会に反きれた最適な使い道を世の中に広め、「これなら税金を払っても構いない」と思えるように、税へのイメーわない」と思えるように、税へのイメーわない」と思えるのだ。

社会を考え、国がそれに応えるという 連携をとれば、未来を発展させ、可能 連携をとれば、未来を発展させ、可能 性を広げる事ができる。税金はその鍵 だ。私は安心して暮らせる、笑顔溢れ だ。私は安心して暮らせる、笑顔溢れ を正い。その為にも私も税金の重要性 きたい。その為にも私も税金の重要性 を理解し、将来はきちんと納税する一 社会人になりたい。

暮らしを支える税

二年松 裏千

穂

をとられる」と感じている人もいるのメージばかり浮かんできます。「お金税金と言うと、どうしても悪いイ

私たち国民から集められた税金は、学校の先生や社会の安全のために働く警察官、病院で働く医師たち、その他の公務員、つまり日々私たちのために働いてくださっている方々の給料として使われています。また、きれいとして使われています。また、きれいとして使われています。また、きれいとで整備された道路や、設備の整っている学校、病院、社会の衛生のために必る学校、病院、社会の衛生のために必る学校、病院、社会の衛生のために必るでは、私たちの生活を支えのように税金は、私たちの生活を支えてくれているのです。

害が起こったときすぐに対応できたの 事もすべて税金で行われています。災 ようになりました。この道路や橋の工 橋ができ、以前のように登下校できる で行けるようになりました。今は仮の 成したので、少し遠回りですが十五分 かって不便な状態が続きました。しか 校へ行くことになり、倍の二十分もか 橋が崩落してからは、遠回りをして学 から十分程度で学校に到着しますが、 ので、とても困りました。普段なら家 この東橋を渡って学校に登下校をする 線にかかる東橋が崩落しました。私は 風十号による影響で、国道百五十五号 し、五日後には東橋東側に迂回路が完 また、二〇〇九年十月八日には、台

弘はまだ中学主なので、兇金といって税金の大切さを実感しました。があったからだと思います。私は改めが、国民一人ひとりが納めている税金は、国民一人ひとりが納めている税金

とが本当に大切だと思います。 が税に関心を持ち、正しく理解するこ けません。そのために、私たちみんな そのものだという事実を、忘れてはい ていたことも、本当は税金があってこ きる。私たちが普段当たり前だと思っ 楽しく学校へ通い、勉強することがで が出て、家の前には道路がある。毎日 るのです。蛇口をひねればきれいな水 ちを変えて、私たちへと返ってきてい 払った税金は、気付かないうちにかた ることもあります。しかし、そうして とになるので、少し損をした気分にな りません。何か物を買うとき、必ずつ ても消費税くらいしか払ったことがあ いてくる消費税。余分にお金を払うこ 私はまだ中学生なので、税金といっ

貢献できるようにしたいです。 で支えているのは税金を納め、社会に は不可欠なものだと思います。私が社 は不可欠なものだと思います。私が社 ないして暮らせる社会にとって、税金 ながして暮らせる社会にとって、税金 ながして暮らせる社会にとって、税金

員になりたいです。私はこの国を、街を、国民を支える一近い将来、納税者の立場になった時、貢献できるようにしたいです。

知った今「税」の役割を

二年,泛山、古里富士市立吉原東中学校

変え、私達を支えてくれていました。 年間におよそ九十四万円も使われてい りました。学校の備品をはじめ、教科 の税金の恩恵を受けていることがわか なかったことも聞きました。とても有 思い、市役所に問い合わせてみた結 助成制度の改正により、対象が中学三 ればいけないと思いました。学校以外 生活を送ることで感謝の意を示さなけ 私達は、一生懸命学び、有意義な学校 たのです。税は教育費という形に姿を 書等、公立の小中学生の場合、一人一 た。すると驚いたことに、私はかなり 国税庁のホームページで調べてみまし が活用されているのか知りたくなり、 難いと思いました。他にどんな事に税 度に高額な医療費を払わなければなら から聞きました。助成がなければ、一 度により助成していただいたことを母 三回入院した際、乳幼児医療費助成制 た。母に話すと、私が小学校入学前に 果、地方税が使われることを知りまし の医療費が出されるのだろうか疑問に た。それを見た私は、どこからその分 年生までに拡大されるという内容でし 市子育て支援課からで、子ども医療費 家に一通の封書が届きました。富士

全な生活を送ることができていたのでません。税のお蔭で、私達は豊かで安料になり、自分で負担しなければなり料になり、自分で負担しなければなり料になり、自分で負担しなければなりがのお蔭で、私達は豊かで安担にも、図書館、公園、まちづくりセンにも、図書館、公園、まちづくりセンにも、図書館、公園、まちづくりセン

ます。国民の義務を果たさず脱税して 学生の従弟にも教えてあげたくなりま 税の仕組み等を知る機会があったなら 知ることができましたが、小さい頃に す。また、今回私は税について詳しく 持よく納税されるようになると思いま 組みを理解していないのではないで 国に守られるという税の素晴らしい仕 員である一人一人が国を支え、そして 会費とも言うべきものです。社会の一 がいるということです。税金は社会の 勿体無いとか面倒だと思っている大人 脱税という言葉を耳にしたことがあり 倒だ)と思っていました。しかし、そ 物も買えるし、一円単位で払うのは面 費税がなければ同じ金額でもっと他の ば、もっとよかったと思いました。小 浸透すれば、国民の理解を得られ、気 還元されることが、もっと国民に広く しょうか。税が姿を変え、巡り巡って いる人がいます。以前の私のように、 なりました。そう言えば、ニュースで のように思っていた私は、恥ずかしく です。その消費税を払うのでさえ、(消 今、唯一私が払っているのは消費税

た。

大人になったら私も沢山の税金を払うことになると思いますが、税の役割のことに留まらず、人々に平等且つ有効にとに留まらず、人々に平等日つ有効にとに留まらず、人々に平等日の付割るが、税の役割が、税の役割が、

責任を持つこと「血税」に

三年 本 荘 悠 滋賀大学教育学部附属中学校

亜

昨年の教室でのひとこま。私は休憩時間中に教室後ろの黒板に落書きをしけながら書いていたのだが、そこへ次の授業のために教室へ入ってこられた社会の先生が割り込み、こうおった社会の先生が割り込み、こうおった社会の先生が割り込み、こうおった社会の先生が割り込み、こうおった。

-。| 「国民の血税を無駄にしおって—

とくらいは当たり前のように知っていとくらいは当たり前のように知っているこをであったチョークを取り落書きをしいてあったチョークを取り落書きをしいまでのことだが、そのチョークさえたまでのことだが、そのチョークさえたまでの血税」なのである。もちろん、学校の備品やさらにはこの中学校の教学がの構品やさらにはこの中学校の教学がの場合であったのだといいは当たり前のように知っていることによりであったのだいであったのは当たりの言葉であったのだといいは当たりの言葉であったのだといいは当たりの言葉であったのだといいは当たりが、

た。しかしそのことを当たり前だと思うあまり、普段の生活上で意識することはほとんどなかったように思う。それだけに、先生が一本の小さなチョークを「血税」と表現されたことに、不クを「血税」と表現されたことに、不った。これは、私たちの納める税とその使われ方があまりも身近なために起こりうる、税に対する意識の薄れの起こりうる、税に対する意識の薄れの力であると思う。

の良し悪しを決めるのだ。 であると言えるだろう。端的にいえば を配分をすることこそが政治の生命線 政策を実行していく、そのためのお金 なければ始まらない。そして、様々な ものの、元手となる税金を含む歳入が を託すということだ。政治とは言った 議員に私たちの「血税」の用途の決定 もある。が、さらに根本的には、その ことは、議員を投票で選出することで 参加する(それが大前提だが)という 政治にかかわっているからである。成 れば、それは問題であろう。なぜなら、 が成人したときに関心のないままであ 必然なのかもしれない。しかし私たち の関心が少ないのも仕方ないしむしろ 見るということも不可能なため、税へ た、そのゆくえを自らの目で総括して しかないのが実際のところである。ま 税に関わることは消費税の支払い程度 人すれば選挙権が与えられる。選挙に 私たち、特に中学生にとっては直接 いみちのやりくりの良し悪しが政治

私たちが社会人になり、職を持ち、

税」というそのところだ。いた給料そのものであり、まさに「血くなる。特に所得税は汗水たらして働家を持つようになれば納める税金も多

任を持ったことになると思う。任を持ったことになると思う。それでは国の政治に文句は言えないのではないだろ政治に文句は言えないのではないだろ政治に文句は言えないのではないだろ政治に文句は言えないのではないだろないことと同じになる。それでは国のないことになると思う。

い。

林たちの税金を政治に直結する「血私たちの税金を政治に直結する「血をなるまでに、税にら私が社会の一員となるまでに、税には生まれてくるものだと思う。これか税」だととらえたとき、税金への意識税」だととらえたとき、税金への意識

税に感謝

三年 加 藤 あかり 京都教育大学附属桃山中学校

けるんよ。」
に、介護へルパーさんに出会いました。で、介護ヘルパーさんに出会いました。で、介護ヘルパーさんに出会いました。で、介護へルパーさんに出会いました。

た。 と、ひいおばあちゃんは私に言いまし

阪で一人暮らしをしています。ひいお私のひいおばあちゃんは、92歳。大

悪くなり、今は杖をついての生活です。悪くなり、今は杖をついての生活です。私には簡単なことが、ひいおばあちゃんにはできなかったり、めちゃくちゃれにはできなかったりします。私は、こん時間がかかったりします。私は、こん時間がかかったりします。私は、こん時間がかかったりします。私は、この日初めて、ヘルパーさんが私たち家族親戚の代わりをして、ひいおばあちゃんの家事や生活して、ひいおばあちゃんの家事や生活して、ひいおばあちゃんの家事や生活して、ひいおばあちゃんの家事や生活して、ひいおばあちゃんの家事や生活して、ひいおばあちゃんの多様でした。

それまで私は、介護やヘルパーさんをれまで私は、税金が自分にとって直接恩的でいることを担だとれていることを知ったとき、なんだから、私は、税金が自分にとって直接恩力が損をしていました。私は、税金が自分にとき、なんだから、以た。私は、税金が自分にとっていることを知ったとき、なんだから、以のです。

金に支えられていたのです。が、私が損をしていると思っていた税が、私が損をしていることを知りまの生活が成り立っていることを知りまの生活が成り立っていることを知りまのを活が成り立っていることを知りまでも今回、私は、介護制度やヘルでも今回、私は、介護制度やヘル

化問題を解決し出生率を上げる必要もう。税金を払う人を増やすには、少子う。税金を払う人を増やすには、少子財源確保はますます難しくなるでしょ接的にこの制度を利用する人も増え、接的にこの制度を利用する人も増え、

東京では、子どもを産み育てる環境をより たまさ、多くの税金を投入する必要があ ります。しかし、ここで税金が使われ ります。しかし、ここで税金が使われ ります。しかし、ここで税金が使われ ることも、今の私は損だとは思いませ ん。この税金もまわりまわって、自分 にも恩恵があるのだと思えます。子ど にも恩恵があるのだと思えます。子ど もが増えたら、将来一人当たりの税金 にも恩恵があるのだと思えます。かませ にも思恵があるのだと思えます。と にも思恵があるのだと思えます。と にも思恵があるのだと思えます。 の税金 にも思恵があるのだと思えます。 の税金 にも思恵があるのだと思えます。 といるでしょう。 ないるでしょう。

目先の個々の利害だけに着目して、目先の個々の利害だけに着目して、自分の子どもだけを育て、自分の両親だけを支えるのではなく「日本のみんなけを支えるのではなく「日本のみんなけを支えるのではなく「日本のみんなけを支えるのではなく「日本のみんなで子どもを育て、日本のみんなで高齢で子どもを育て、日本のみんなで子どもを育て、日本のみんなで子どもを育て、日本のみんなで子どもを育て、日本のみんなで子どもを育て、日本のみんなで高齢で子どもを育て、日本のみんなで高齢で子どもを育て、日本のみんなで高齢で子どもを育て、日本の人ないと思います。

未来を紡ぐ税

茨木市立北中学校

三年今村正吾

れていたんだと、いつもの街がとても るとこんなに身近な所にも税金が使わ ら歩きつつアンテナを張り巡らせてい 携わっている人々もそうだ。考えなが うだし、消防や役所の公的サービスに を探索し始めた。一番身近な先生もそ ているものがきっと沢山あるに違いな の欲しい物も沢山買ってくれていた。 料で家族を養い幼い母を育ててくれて 金で賄われていたのでした。毎月の給 的職業に携わっていたので、すべて税 た。そうです。祖父は警察官と言う公 やっと呪文が解けたような気がして て勉強したり教えて貰ったりして、今 かった。でも中学生になって税につい 言っている母の姿を見るにつけ『ふー ているのか、呪文のようにブツブツ んやで』と言っていた事を何気に今思 税金で食べさせて貰って大きくなった がいつも口癖のように『警官の子は皆 警察官でした。僕がまだ小さい頃、 いたのだ。定年退職後も年金を頂き僕 ん』って曖昧な返事しか僕には出来な い出している。その当時何の事を言っ い、と僕は思わず家を飛び出し街の中 『そうやったんや』と僕は嬉しくなっ こう考えると他にも税金から賄われ 五年前に他界した僕の祖父はずっと

まってふと辺りを見渡せばもう夕暮れ 続いて行く素晴らしい仕組なのです。 はまるで未来を紡ぐ糸のようにずっと んな大人達に言ってやりたい。そう 勉強をして下さいと、声を大にしてそ 解せず『税金なんかなんで払わなあか と、僕達の代表の人々が日々努力をし サービスの車にも、手厚く予算が組ま 舗道もみんなそうなんです。この角を ぞ!僕の街』と叫んでしまった。あの になろうと心に固くそう誓いました。 強をして僕自身が未来を紡ぐ一本の糸 大人になった時、税金を納めもっと勉 ます。でもそうならない様に将来僕が てしまうと思うと背筋が凍る思いがし 化、公園は草だらけで街の中は荒廃し い。防犯パトロールも一回づつの有料 になっても有料でしか消してくれな もし税金がなければどうだろう。火事 次世代の子供がまた支えて行く。税と 支えて貰える。そしてその子供が支え、 人は一人の為。今支えとなれば今度は じゃないんです。一人は万人の為、万 と言うこの現実なのです。もっと税の んねん』と言っている大人が沢山いる、 があったのです。それは税の仕組も理 た。でも僕にはただ一つだけ不安材料 て下さった結果なんだと嬉しくなっ れ、多方面に税金を還元出来るように 曲がった所に停まっている福祉デイ しっかり踏みしめて今歩いているこの 信号も陸橋も、この図書館もそして 新鮮で新しい発見にただ僕は『すごい 気がつけばこんなに遠くまで来てし

迫る街の中。僕はお腹の虫が『グーッ』追る街の中。僕はお腹の虫が『グーッ』 いんやね』

指定納税ってどう?

三年 東 詩

乃

税金の遣い道はきっと国会が決めて料から引いている所得税、住民税、預料から引いている所得税、住民税、領料から引いている所得税、住民税、領料から引いているのだろう。父が働いて稼いだお給料で買い物する母から出ているに遣われているのだろう。こんなように遣われているのだろう。こんなは半端でない。その税金はどこでどのは半端でない。その税金はどこでどのは半端でない。その税金はどこでどのは半端でない。その税金はどこでどのは半端でない。その税金はどこでどのは半端でない。その税金はどこでどのがないた方に遣われてみ私は、初めてボランは、中三の夏休み私は、初めてボランは、対しているの光によっと国会が決めておいるの光によりにはいるのだろう。父が働いてないとないがある。こんないるのだろう。父が働いておいるのだろう。父が働いておいているのだろう。

どの子もお尻がまっ赤にただれていいるおむつをおろした時唖然とした。人の子供にあわせてではない。はいておむつを一斉に取り替える。一人一

るオムツの枚数を増やすことはできな 分がいました。このまま目を閉じよう を覗いてみている傍観者でしかない自 うに生まれ育ったふるさとに遣っても きないものなのか。父が働いている大 いか。やはり中学生の私には、何もで なかった。閉じれなかった。与えられ たお尻を見てしまった今日、目は閉じ か、しかし子供たちのまっ赤にただれ だろう。今日参加したのに外から部 に行く訓練を15人にするのは至難の技 目を離すすきがない。その中でトイレ た。一クラス15人の2才児に職員2人 終わりました。その夜一人で考えまし 使う子の数を減らす。ってことで話は 参加しておむつが早くとれてオムツを きることを知りました。思いつくのは ではなく、自分の出身地などに納税で というものがあって住んでいる所だけ の人と考えた。今は、ふるさと納税、 ムツを豊富に配ることができないか家 い。満足にとはいえないがもう少しオ て平気なのだろうか。そんなはずな うが小さな子のお尻がこんなにただれ 替えていたが、私はショックだった。 た。職員の方々は何もなかったように 人達が納めた税金、ふるさと納税のよ 人でも一回でも多くボランティアに おむつ一枚無駄にはできないのだろ

以外の支出になる。私の税金を福祉に納めたいとなると〝寄付〞になり税金―指定…、指定、私の税金をこちらに

指定できる制度。

らおうという仕組みの中の市町村まで

思いつきかもしれないけど、もう少し なるために父にはもう少しがんばって 必要なものであれば、みんなが豊かに れるだけではない、つかい道が明確で きる事を願うしかない。税金とはとら 達にきちんと税金を納めてもらい、い らうことしかできないけど、父や大人 もて余している友達に関心をもっても はボランティアの数を増やし、時間を 施設の子ども達が豊かになるには、私 たいことがあるかもしれない。単純な 接している職員の人は先にやってやり オムツにこだわったが毎日子ども達と システムができたらどうだろう。私は 達で決めてもらう、指定納税、という ミルクでも子供達の下着でも職員さん 納めて下さい。遣いみちはオムツでも、 *指定納税、というシステムがで

奈良の森林と文化財

広陵町立真美ヶ丘中学校

三年 荒 木

瞳

した。電車が奈良県にさしかかったの た景色が、急に、パッと緑に色づきま く眺めていると、いつまでも同じだっ び、空気がよどんでいました。しばら ました。ビルやマンションが立ち並 窓ごしに外の景色をボヤーと眺めてい 大阪から帰ってくる電車の中、私は 私の目の前に広がった緑の森林

> ろう。」もとは大阪にも緑が多くあっ いました。「この豊かな緑や、透き通っ 気。それは、大阪で吸った空気とは違 駅に着き、電車を降りた時に吸った空 たはずです。 た空気はどうやって保たれているのだ るそんな空気でした。その時、私は思 いました。自然と心を落ち着けてくれ してくれ、なんだかホッとしました。 は、よどんでいた空気を一瞬でかき消

に広がる「葛城の道」という遊歩道が ことで、奈良県独自のものだそうです。 様々な取り組みにあてられている税の 源とし、将来に向けて引き継ぐための 豊かな森林を貴重な県民全体の環境資 資料によると、森林環境税というのは、 林環境税」というのが目に入りました。 ことです。ある資料を見ていた時、「森 私の住んでいる家の近くには、南北 その答えを知ったのは、つい最近の

和で、幸せに見えます。これはみんな、 私は、この道を走ることが毎日の日課 には、木々の間から月光が輝きます。 は、しげった葉が日光を遮る傘となり、 き乱れ、道は桃色に染まります。夏に 緑が守られているからだと思います。 葛城の道がきちんと整備され、豊かな がしいです。行き交う人々がみんな平 えるこの道を走るのは、本当にすがす になっています。季節によって姿を変 秋には落ち葉が降り積もり、そして冬 わりまで続いています。春には桜が咲 しげった桜の木が何本も立ち、道の終 あります。その道の両脇には、大きく

> 生活ができるということが、よく分か 豊かな自然があるからこそ、豊かな

この森林環境税によって守られている のだと思います。 私たちの町の公園や道路の木々も、

護整備への気運が高まり、今日に至っ その後、貴重な遺跡を守る重要さ、保 ていることが分かりました。そして、 それが今になり、大量の遺構が埋もれ 跡は長い間土に埋もれたままでした。 くさんの人が訪れ、にぎわいを増して 年祭」が行われています。全国からた ているそうです。 います。しかし、もともとこの平城宮 今、奈良県では「平城遷都一三〇〇

います。 県の税金は多く使われているのだと思 このような貴重な文化財にも、奈良

継いでいきたいと思います。 を、きちんと納め、次の世代へと受け 林や、多くの文化財を守っている税金 者として、私はこの奈良県の豊かな森 これから、税金を納める立場に立つ

今私たちにできること

安堵町立安堵中学校 﨑

百

香

ります。学校も水道も道路も、 がお金を払うの。」と聞いたことがあ 私は幼い頃、 「道路を作る時は、 、誰がど 誰

> めている税金によって、日本という国 た。その時に家族は、「みんなが一生 が健康でこの地球に存在しているので 全ての人が責任を持って、毎年毎月納 かなわれているということです。働く る一人ひとりが負担している税金でま 算になるためのお金は、国に住んでい 金がかかっている。大事なことは、予 町村が成り立つためには、ばく大なお います。私達の住んでいる県や国や市 だよ。」と教えてくれたことを覚えて 懸命働いて、お金を払い合っているん のように運営しているのか不思議でし

保っているのです。つまり、税金が日 す。私たちは今、 年寄りを重荷に思ってはいけないので からといって、このことを嘆いたりお 割合が大きくなるということです。だ かいごの人件費や食費、医療費などの 高齢化するということは、お年寄りの うことは、将来はたらく若者が減り、 かかえています。子どもが少ないとい 日本は少子高齢化という大きな問題を てしまうのは明白です。しかし、今の 秩序が失われ、国全体が急激に衰退し うことです。税金が不足したら社会の 国民の生活が生き生きと保たれるとい 本という体全体に行きわたってこそ、 も休むことなく流れて私たちの体を る。酸素や栄養をはこぶ血は、夜も昼 すみずみまで網目のように広がって であると思います。血管は私達の体 国全体を人の体とすると、税金は 中学生です。 生きる

ます。 ということの大切さ、命の重さについます。 ということが重要なのでしっかり納助け合うことが重要なのでしっかり納たちが今できることを考えれば、しったちが今できることを考えれば、しったちが今できることを考えれば、しったちが今できることを考えれば、しったちが今できることを考えれば、しったちが今できることを考えれば、しったちが今できることを考えれば、しっなり勉強する、運動をしっかりと認識して社会人になって、自分の責任を果たすべきだと思います。

確かに、税金を納めることには大きな努力が必要であり、予算として使うな努力が必要であり、予算として使うな努力が必要であり、予算として使うな努力が必要であり、予算として使うな努力が必要であり、予算として使うな努力が必要であり、予算として使うな努力が必要であり、予算として使うなが。日本がいつまでも元気で、明るい社会を保つことができるように、まず社会を保つことができるように、まず社会を保つことができるように、まずれたち一人ひとりが将来の夢に向かって精一杯走り続けることが大切だと思います。税金は、緑の下で力を発揮し、は人を助け、社会は国を支え、国のにも対して、特一杯生きていきたいと思れば、最大のでは、税金を納めることには大きないと思います。

「紀の国森づくり税

三年 十二 15 智辯学園和歌山中学校

対する関心が深まっています。 産に登録され、ますます森林の保全に「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺係がありました。又、平成十六年には係がありました。又、平成十六年には保がありました。又、平成十六年には

私は今回、和歌山県独自の税である、私は今回、和歌山県独自の税である、私は今回、和歌山県独自の税である、私は今回、和歌山県独自の税である、私は今回、和歌山県独自の税である、いる税金です。

うです。
私が森林について関心を持つように
私が森林について関心を持つように
私が森林について関心を持つように
私が森林について関心を持つように

もよく入って助かっている事など、治装されて車の乗り入れが楽になり、陽ついて水やりが楽になった事、道が舗楽しそうにしています。最近、水道がが山仕事であったからと、草刈りや消が山仕事であったからと、草刈りや消

を使ってよ。」というのが口癖です。なった事を話してくれました。山の空気は澄んでいて、気持ちが良くすっき気は澄んでいて、気持ちが良くすっき気は澄んでいて、気持ちが良くすっきっまる。 祖父の手作りの小屋で、山りします。祖父の手作りの小屋で、山りします。 祖父の手作りの小屋で、山ります。 いつか私や姉が大きくなって、 私も山に行くのを楽しみにして、 はった。山の空を使ってよ。」というのが口癖です。

ただ、近所の山の中には、手入れ不とで荒れていたり、土砂崩れで山肌があらわになっている所もあり、良い状あらわになっている所もあり、良い状あらわになっている所もあり、良い状あと感じました。森林の乱開発や林業態で維持するというのは大変なんだなの経営不振、後継者不足などにより、

にからこそ、紀の国森づくり税や治 地災害防止や環境保全など、様々な働 地災害防止や環境保全など、様々な働 地災害防止や環境保全など、様々な働 地災害防止や環境保全など、様々な働 地災害防止や環境保全など、様々な働 地にてくれています。そして、これ さをしてくれています。そして、これ は県民全体が共有する貴重な財産だと は県民全体が共有する貴重な財産がと は県民全体が共有する貴重な財産がと は県民全体が共有する貴重な財産がと は県民全体が共有する貴重な財産がと がらです。又、世界遺産である高 思うからです。又、世界遺産である高 と見います。

めて学びました。
に保全、維持していく事の大切さを改える森林を、私達の大切な税金によった、その財産ともいる和歌山県にとって、その財産ともいるが、

いました。
い風景を残す助けをしていきたいと思い風景を残す助けをしていきたいと思納税の義務を果たし、ふるさとの美ししていける様、将来私も社会人としてしていける様、将来私も社会人として

和歌山県の税

三年 **勝本** 東和歌山県立向陽中学校

海

り税一です。は、和歌山県独自の税「紀の国森づくは、和歌山県独自の税「紀の国森づくいく税が和歌山県にはあります。それいく税が和歌山県にはあります。それ

に入ってからで、私は消費税とか身近に入ってからで、私は消費税とか身近に入ってからで、私は消費税とか身近を守ろうという和歌山独自の税のことを守ろうという和歌山県民共通の財産と山県の森林を和歌山県民共通の財産として守り続けるためにそして次の世代に引き継いでいき大切にしていこうという願いから生まれた税だそうです。私がそれを知った時、和歌山にこんな私がそれを知った時、和歌山にこんな税があるのだと感心しました。

いくと私達の生活にも大きな影響が出森林が増えていくのです。そうなってあるそうです。そうして荒廃したがもあるそうです。そうして荒廃したがら林業を取り巻く状況が厳しくなどから林業を取り巻く状況が厳しく

るからです。
なは私達を支えてくれてい

り地中に張らなくなり洪水や土砂災害 ていくためにも森は大切なものだと思 来の生活や他の動物たちの生活を守っ しているからだと思います。私達の未 が上がっている原因の一つが森が荒廃 し怖く感じます。それほどまでに気温 体温より気温の方が高いというのは少 られるようになってきました。自分の あたり前でその暑さがすごく肌で感じ を普通に超え、四十度近くになるのが り上げられている地球温暖化に進んで 少なくなり今環境問題として大きく取 が起こってしまいます。そして酸素が してはどうなるでしょう。根がしっか れると思います。でもそんな森が荒廃 そして時には私達に安らぎも与えてく 川に流され、きれいな木もできます。 の雨水は地中に浸透されゆっくりと河 つくってくれるのです。雨が降り、そ を取り入れ、私達に最も必要な酸素を り根を張り生きています。二酸化炭素 いくでしょう。最近では気温が三十度 本来なら森の樹木一本一本はしっか

い森になっていくはずです。も意義のある税ではないでしょうか。とさんの人の願いのこもったあったかくさんの人の願いのこもったあったから「紀の国森づくり税」はとてだから「紀の国森づくり税」はとて

してそれと同時に「紀の国森づくり和歌山県にとって森は財産です。そ

時、 、森が私達を支えてくれているのだから、私達も森をみんなで支えなけれから、私達も森をみんなで支えなけれた。 でいく一人一人の心に守ろうという意 でいく一人一人の心に守ろうという意 がなくてはなりません。そういう引き継ぎ守っていく私達子どもがあるかき継ぎ守っていく私達子どもがあるから未来があるのだと信じています。

いました。 伝えて自分達の県を守っていこうと思 国森づくり税」を通じて森の大切さを 大きすぎるから、私は和歌山の「紀の 地球の未来を背おうのは私には少し

税に感謝

山口市立潟上中学校

愛

た。私は小さい時から母子家庭で育ちま

ました。
生活を支えてもらっている事を教わりだ時に、初めて母に、国からの援助でだ時に、初めて母に、国からの援助で

私たちが、生活は苦しくても安心し私たちが、生活は苦しくても安心し

私には、福祉に使われている税金で、とても嬉しかった体験があります。それは、小学一年生の冬、川崎病を下がらず、免疫力が低下し、かなり危下がらず、免疫力が低下し、かなり危を投与してもらったお陰で、慢性化すを投与してもらったお陰で、慢性化する事なく、今、元気に学校生活を送っています。運動部に所属し、目いっぱい汗をかいて、楽しく頑張っています。

にたい。 うか、命さえどうなっていたかわかり もしかすると、普通の生活を送るどこ てもらえる薬ではありませんでした。 対象になっている難病の一つです。

母は、この時ほど福祉の有り難さを感じた事はないし国に感謝した日はないと、今も言います。そして、私がダラけていると、とても厳しく注意をしって、大人になったら沢山社会に奉仕して、大人になったら沢山社会に奉仕して、国にご恩返しをしないとなったら沢山社会に奉仕して、国にご恩返しをしないとないとないとの時の感謝を忘れていない、母の口めの時の感謝を忘れていない、母の口がびせです。

ちの幸福を守る為の、支え支えられてが来るかわかりません。税金は、私たです。そして、まだ体験のない、平穏います。その事を、まず知ってほしいいます。その事を、まず知ってほしい私のように、国からの援助のお陰で

の財源だと私は思います。

ると聞いています。で、国の財源がとても厳しくなっていで、国の財源がとても厳しくなってい

国民の税負担について、色々議論さ 国民の税負担について、色々議論さ といますが、私たちの暮らしには、れていますが、私たちの暮らしには、 との際に迅速に救助活動をしてくれる 自衛隊や消防、警察。市町村のごみ処理費用、住宅や道路の整備、公園など、 当たり前のように平穏に生活している中に沢山活かされています。直接的な中に沢山活かされています。直接的な中に沢山活かされています。直接的など、

「人が納税の義務を果たす事で国の安定は保たれているのだと思います。

ます。 会に貢献できる大人になりたいと思い 使い道をしっかり学び、理解して、社 らっています。税金のしくみや正しい 私たちは、この国に守られ育てても

~大切な人を守るために~未来をつなぐ税金

二年 寺 井 広島市立城山北中学校

遥

祖父は病室でしみじみとそう言っんな時その大切さがようわかるのう。」と思いながら税金を払ってきたが、こくのよいながら税金を払ってきたが、こ

を収穫しようとして脚立から転落し肋を収穫しようとして脚立から転落し肋を収穫しようとして脚立から転落し肋を収穫しようとして脚立から転落し肋を収穫しようとして脚立から転落し肋を収穫しようとして脚立から転落し肋を収穫しようとして脚立から転落し肋を収穫しようとして脚立から転落し肋を収穫しようとして脚立から転落した

祖父は高齢者でもあるが、被爆者でもある。「こうして困ったときに税金の心配なしに安心して療養できるよ。の心配なしに安心して療養できるよ。

ある。 を重ねた大きな手には説得力が 労してまじめに働き税金を納めてき 祖父は今年八十歳になる。長い間苦

たであろう。 も全て実費だったら大変な負担になっ 医療費には税金が使われている。もし の事故に関わる救急車の出動や

館にも税金が使われている。図書館に出掛けている。新しい本を借図書館に出掛けている。新しい本を借図書館に出掛けている。新しい本を借図書館に出掛けている。新しい本を借図書館に出掛けている。

ていた。家に遊びに行くとおばあさんた着物姿の写真はとても生き生きとしにしている。そこでは自慢の日本舞踊を披露する機会もあり、見せてもらっを披露する機会もあり、見せても楽しみをがいる。そこでは自慢の日本舞踊を披露する機会もあり、見せても楽しみまた、祖母の友人で一人暮らしをしまた、祖母の友人で一人暮らしをし

貸し出しなんよ。」子や地デジのチューナー等も市からのなってくれる。この電動で上下する椅んよ。何でも話を聞いてくれて力には、「何かあったら市役所に相談する

る。お年寄りの支援にも税金は役立っていお年寄りの支援にも税金は役立っていたを教えてくれた。趣味や生きがい、

給が受けられるそうだ。理して環境対応車を購入すると補助支録から十三年以上経過した車を廃車処買換えようかと相談していた。初期登買換えようかと相談していた。初期登

「物を大事に長く使っていたら良い「物を大事に長く使っていたら良い

る。 は等も私たちの未来を応援してくれ 通学している。子供手当てや高校無料 にも様々な行事に参加し、毎日楽しく ので学校に通っている。授業の他 ので学校に通っている。授業の他

に表来の納税者として社会に貢献できてくれる。私は感謝の気持ちを忘れずてくれる。私は感謝の気持ちを忘れずる大人になりたいと思っている。 のために。そして、大切な人を守るたのために。そして、 のように税金の制度は子供からお

税金に助けられて

三年 武 田 芽松山市立雄新中学校

ネットで調べてみました。たしているのでしょうか。インターところで使われ、どのような役割を果私たちが納める税金は、どのような

私に一番身近なものは、教育に使われる税金です。中学生の私自身には年神書、学校の設備にも税金が使われているそうです。当たり前のように使っているそうです。当たり前のように使っているそうです。当たり、耐震工事にも無理があるので、建て直されることになると先ろので、建て直されることになると先ろので、建て直されることになると先ろので、建て直されることになると先ろので、建て直されることになると先ろので、建て直されることになると先ろので、建て直されることになるとがり、をが使われるのです。私たちが快適な環境のもとで学校生活が送れるのな環境のもとで学校生活が送れるのり、感謝の気持ちを忘れてはいけないと思いました。

していました。腰の装具やリハビリない。高額な治療費がいりましたが、この助成制度に助けていただき、だんだんと良くなることができ、今夏には沖んと良くなることができ、今夏には沖んと良くなることができ、今夏には沖んと良くなることができ、今夏には沖んと良くなることができ、今夏には沖んと良くなることができ、水のお金で負担してくれていることがわかり、感謝の気持ちでいるがおいて支援してくれているのは国であり、そして税金でした。納税者の人に感謝の気持ちを忘れないで暮らして行感謝の気持ちを忘れないで暮らして行います。

将来、世界の国々の貧困を無くしたいと夢を持つ大学生の兄がよく言います。「世界にはまだまだ生活に苦しんでいる人がいる。常に命の危機にさらでれている人がいる。常に命の危機にさらでれている人がいる。常に命の危機にさらず。「世界にはまだまだ生活に苦しんがが発展途上国の支援に使われていたら嬉しい」と、国の教育や医療の質がら嬉しい」と、国の教育や医療の質がら嬉しい」と、国の教育や医療の質がら嬉しい」と、国の教育や医療の質がの上することで無意味な争いが減れば向上することで無意味な争いが減れば向上することで無意味な争いが減ればいことだと、思います。豊かな国といます。

ています。安全で快適な暮らしが続くことを願っち全で快適な暮らしが続くことを願っしてお互いに助け合い、協力しあって、

は、税金が使われているものを大切に中学生の私がいまできること。それ

持ちよく納税できるようなきがしま 税者の立場になったときも、きっと気 そうすれば、私が将来大人になり、納 ちを忘れずにいることだと思います。 する。納税者の方たちへの感謝の気持

暮らしを支える税金

三年 浪 越

純

方へ向かって行き、幸いにも病気は完 その後、医師の懸命な治療により、快 月の間に、二回も大手術を受けました。 の、小児専門の病院に搬送され、三ヶ は二十四時間入院受け入れ体制万全 つながっていなかったのです。翌日に 食道閉鎖症。生まれつき食道と胃が、 みんなからの税金のおかげだよ。」 て、この世に生を受けました。病名は いました。ぼくは先天性の病気を持っ ある年のぼくの誕生日、母がそう言 あなたが今、元気で過ごせるのは、

納めている税金を、ぼくという一人の うれしく思いました。国民の皆さんが ました。ぼくは何だか心が温かくなり、 が活用されていたことを、教えてくれ 術をはじめ、治療にはたくさんの税金 に聞いてみました。すると、二回の手 しょうか。ぼくは不思議に思って、母 しかし、なぜ税金のおかげなので

> 界に存在するのです。 もらえたからこそ、今ぼくは、この世 したいです。十分な医療を受けさせて うことが。だからぼくは、税金に感謝 人間の命のために、使ってくれたとい

界を見渡すと、食料も十分でない貧し ことを、忘れてはなりません。 援も、ぼく達の税金が活用されている い国もあります。このような国への支 たり前に思ってしまいます。しかし世 れた環境にあり、つい今の現状を、当 はないでしょうか。現代の日本は恵ま ることを、もっと強く意識するべきで より良く安全にするために使われてい そしてこれらは全て、ぼく達の生活を、 もなくてはならないものばかりです。 補助金等、数え切れない程です。どれ 収するサービス、農家に対しての農業 す。道路や橋などの公共物、ゴミを回 教科書教材にも税金は使われていま そのものはもちろんのこと、椅子や机、 に使われています。ぼく達が通う学校 く、ぼく達の生活の中で、様々な用途 国民が納めた税金は、医療だけでな

ことは、すなわち、周りの人々を幸福 の当たり前の生活が保障されているこ 方の中には税金を納めることに生きが にしていることだと思います。高齢の にする、ひいては将来の自分をも幸福 とを知りました。税金を納めるという ぼくの命が救われたことや、今の自分 を感じている人もいます。 母の話をきっかけに、税金によって

「私はまだ周りの人のお役に立って

献していきたいです。 影で支えるのです。さらに有効な活用 ぼくの番です。将来ぼくも納税者の一 めに役立ててもらえるように、 法を考え、たくさんの人々の笑顔のた 人となります。日本の人々の暮らしを いる。」と思うのだそうです。今度は 社会貢

感謝の気持ち

新上五島町立若松中学校

を流して一緒に喜んでくれていまし に応援に来てくれていた先輩たちも涙 が飛び上がって喜びました。喜んだの 立若松中学校」と言われた瞬間、全員 賞の発表となりました。「新上五島町 ました。「金賞」をとって九州大会に 県大会の審査結果の発表が始まりまし て九州大会に向けて今よりもさらにが た。それを見ながら、長崎県代表とし は私だけではありませんでした。会場 になっていくようでした。そして、金 行けますように。みんなの心がひとつ ころから誰とはなしに手をつなぎ始め んばっていこう。という気持ちになり た。まずは、銅賞そして銀賞。銀賞の NHK全国学校音楽コンクール長崎

個人負担でしたが、九州大会は、新上 開催されます。長崎県大会の旅費は、 九州大会は、八月三十一日、 福岡で

> と思います。金額にして、百万円以 います。 の予算、教育費から出されていると思 はないかと思います。そのお金は、町 のお金を出してくれることになるので 新上五島町も応援してくれているのだ ました。長崎県の代表になったことで、 なっていることを後日、先生から聞き 五島町が全額負担をしてくれることに

復してきているそうです。 されました。今では、以前に比べて回 いったことを役場で働く叔父から聞か 夕張にならないよう予算を切りつめて 併当時は、多くの借金があり、第二の つの町が合併して誕生した町です。合 新上五島町は、平成十六年八月、 Ŧī.

付しています。 す。地方交付金や国庫支出金は、国民 ど国や県に頼っている状況だそうで ないので、地方交付金や国庫支出金な なっています。町税ではまかないきれ より、はるかに使われる金額が多く る町税は約十万五千円。負担する町税 は、約七十二万円。町民一人が負担 換算すると、町民一人に使われる金 た。一般会計予算を町民一人あたりに ともあり予算面の話もしてくれまし 人一人が国へ納めた税金を地方へ交 私が、町の予算で九州大会に行くこ

とさらに、新上五島町は地方交付税な 減少していくことでしょう。そうなる に減少しています。これからも人口は 口は、八月現在、二万三千百六十七人 合併時、約二万七千人ちかくいた人

ました。
ていくことができることが今回わかりかげで島に住んでいても快適に生活しかげで島に住んでいても快適に生活しが民一人一人が納めている税金のおどにたよらなくてはなりません。

大会へ臨みたいと思います。 上五島町にも感謝の気持ちを持って、 大切な予算を出して応援してくれた新 学してくれた先生はもちろんですが、 連して、土曜、日曜日の休みもなく指 たって、土曜、日曜日の休みもなく指

います。
一人として支える立場になりたいと思一人として支える立場になりたいと思納めていませんが、将来働くように納めていませんが、将来働くように

学ぶものスウェーデンから

三年 藤井 咲衣

り日本人の私からして見ると、とても品25%と安いものから高いものまであの税率が様々です。電気6%、生活用の税率が様々です。電気6%、生活用

で必要な物や給食費は税金でまかなわ 学まで無料ということです。高い税金 ンタビューし、税について聞いてみる のでしょうか。どうしてこんなに税が 果たしてそれに満足して暮らしている からず、みんな平等に教育を受けるこ れています。だから、家計に負担がか を払っているということもあり、学校 理由を次のように説明していました。 しているのでしょうか。番組ではその な答えに驚きました。なぜ国民は満足 していると答えていました。私は意外 と、不満はあまりなく今の生活に満足 ありました。しかし住んでいる人にイ 高いのかと疑問に思うことがたくさん びっくりするような値段もあります。 一つ目は子どもにかかる教育費が大

ができます。 子育てが大変でも仕事に専念することらえ、協力して家事や育児に取り組むらえ、協力して家事や育児に取り組む とができるということです。

ているのです。

三つ目はもし病気になり失業してしまっ。このようにとてもサポートしてくれた期間毎月支給してくれます。さられた期間毎月支給してくれます。さらの活動を積極的にサポートしてくれます。このようにとてもサポートが充めの活動を積極的にサポートしていれた料の半にスウェーデンの企業は、再就職のたいるのです。

しているのでしょう。それは男性も女では、なぜこんなにサポートが充実

性も働き、国をどんどん発展させていこうという国の考えがあるからです。こうという国の政策を知り納得しまして。税金は高くても国のサポートがとた。税金は高くても国のサポートがとた。税金は高くても国のサポートがと

そうすれば政府への信頼も高まると思 から学ぶ最も大切なことだと私は思い 就職率が上がるような社会づくりをす ウェーデンのように教育費を軽くし、 す。もし、税を上げるとしても、ス ると収入の少ない人に不利だと思いま 全雇用対策を併せて提供すべきです。 政府による安心、安全のサービス、完 のではなく、少しずつ上げ、その都度、 要だと思います。また、一気にあげる る等、人々が納得するような政策が必 することが難しい状況の中税金を上げ 税収が減ってきているからです。就職 考えがあります。その理由は不景気で います。これらのことがスウェーデン 今、日本では税金を上げようという

社会に優しい税

一年 古閑原 あずさ 水町立三加和中学校

和

けん!。」近くに住んでいる祖母は、「今日は、デイサービスに行かなん

話を楽しそうに話してくれるのを聞くたりと、デイサービスをとても楽しみたりと、デイサービスをとても楽しみにたりと、デイサービスをとても楽しみにたりと、デイサービスをとても楽しみにたりと、デイサービスをとても楽しみにたりと、デイサービスを表してはのにしています。祖母がデイサービスを利用してにしています。祖母がデイサービスを利用して

と私もうれしくなります。

独居老人の孤独死の報道を見たりして 祖父が亡くなり祖母は一人暮らしにな で色々なサービスを受けています。 るということ、祖母はとても安い金額 るそうですが、税金でまかなわれてい す。利用者の負担金が必要なものもあ 置の設置サービスなどもされていま ス、安否確認、急病の時の緊急通報装 ス以外にも町では食事の配食サービ 教えて下さったそうです。デイサービ 寄りのためのサービスについて色々と 祖母の家を訪問し、一人暮らしのお年 た。そんな時、町の健康福祉課の人が いたので、大丈夫かなと思っていまし るものの、高齢でもあり、テレビでも りました。車で二、三分の距離ではあ なったのは、今年からです。昨年十月 祖母が、デイサービスに通うように

人や、障害のある人たちが、安心して人や、障害のある人たちが、安心して神にイヤだなと思っていました。しかう時に支払う金額が多くなるから、単消費税が上がるという事を聞いて、買消費税が上がるという事を聞いて、買

進み、税収が少なくなる事もよく聞き 要な事だと思いました。少子高齢化が のならば、とても大切なことだし、必 幸せに暮らせるために税金が使われる

み、健康に生活できるようになってい おかげで、しっかりと勉強にうちこ りません。このように私達は、税金の も、中学生までなら診察費・薬代もい 和水町は、病気になって病院に行って らは子ども手当ても始まりました。又、 高校まで授業料はいりません。四月か ので、教科書は無償だし、公立ならば 受けています。中学までは義務教育な 祖母だけでなく私達も税金の恩恵を

に暮らせるためでもあるのだから。 結局、自分の家族がそして自分が幸せ せで安心して暮らせるために。それは はいけないと思います。全ての人が幸 に、今私達は、一生懸命勉強しなくて しっかりと納税できる人になるため けではいけないと思います。将来、大 だ、あたりまえの事として受けとるだ 人になって納税する立場になった時、 私達は、このような色々な恩恵をた

笑顔を守るもの」 おばあちゃんの

鹿児島市立鹿児島玉龍中学校 二年木田夕 菜

急士の方に抱えられた担架が車の後ろ をはさんで向かい側の家の前に救急車 りながら窓の下をのぞき込んだ。道路 明々と照らされていた。私は目をこす 目を覚ました。窓は赤色灯の点滅で に滑り込むように運び込まれた。 が止まっている。家のドアが開き、救 けたたましいサイレンが響き、私は

照らされたその顔はいつもの優しい顔 ではなく苦痛で歪んでいた。 るあのおばあちゃんだった。赤色灯に 掃除をしながらいつも声をかけてくれ それは、私が学校に行く時、家の前の 「向かいのおばあちゃんだ。」

る。その時のことを思い出し、こう言っ だけ夜中に救急車で運ばれたことがあ 子を見ていた父が言った。父も昔一度 いつの間にか私の後ろに立ち、その様 **゙たいしたことなければいいけどな。」**

のは本当に安心できるもんだ。この国 救急士の方が駆けつけてくれるという は幸せだよ。」 ⁻あんな時にいつでもすぐに救急車や

夜間診療を利用したりする人が多いこ

とを指摘したものだった。これらの医

見せてくれた。 うな顔をする私に父はある日の新聞を 父の言葉の意味を図りかねてけげんそ

> それを改善する為の法律が成立したの そうだ。その為、国民全員が一様に同 が加入する医療保険に委ねられている のような制度がなく医療費はそれぞれ た。米国ではこれまで日本の健康保険 そこには大きな見出しが付けられてい じ医療サービスを受けるのは難しく、 米国で医療保険改革法案が通過

だ。 「外国では救急車はあまり呼べない

と書かれたその記事は、緊急を要した 車のタクシー化、コンビニ診療に苦慮 最近気になる記事を目にした。「救急 のだ。だからこそ私たちは毎日を安心 地方自治体が税で保障してくれている 悪くなった時、誰しもが最善の手当を 経費はすべて税によってまかなわれて が何時でも無料で利用することができ なくない。それに対して日本では誰も のをためらって処置が遅れることも少 ならないのだ。その為に救急車を呼ぶ 料で、高額の使用料を支払わなくては 父の話によると、外国では救急車は有 い場合でも平気で救急車を呼んだり、 して暮らすことができるのだ。しかし、 してあげたいと思う。その思いを国や る。それは救急車搬送に関わる様々な いるからだ。家族や大切な人が具合が

とも考えられる。

がけなければならないのだ。 ればならない。そして適切な行動を心 働きを知り、どうすべきかを考えなけ 誰もがこの制度を維持するために税の 安心は決して無料ではない。だから

こにはいつものおばあちゃんの笑顔が という聞き慣れた声に振り向いた。そ 「おはよう。今日も暑くなりそうだね。」 数日後の朝、家を出た私は、

税金と祖父の言葉

北谷町立桑江中学校

三年 Щ 城 慶志郎

きているんだよ。」 世の中は、お互いに助け合って生

幼い頃から、この言葉を耳にして育ち 父の願いです。 の心を持った、思いやりのある優しい ルと言いますが、つまり、ユイマール です。沖縄の言葉で、それはユイマー て、助け合いの大切さを強調したもの 越えてきた話をしてあとは、 の人から助けられたらしくそれを乗り た幼い時も、そして仕事の上でも周り ました。祖父は戦争の時も、貧しかっ 人になってもらいたい、というのが祖 この言葉は、祖父の口癖です。僕 決まっ

いう病気で倒れ、 その祖父が先日、 大きな手術をしまし 解離性大動脈瘤と

うな安心な制度が維持されなくなるこ の状況が続くようならば今後、今のよ 療活動にも税が使われている。もしこ

たが、それがきっかけで、僕は初めて 後何度か手術をしてICUからHCU 後何度か手術をしてICUからHCU の病室に移り、リハビリ病院に転院す ることになりました。3ヶ月間の入院 費用と手術費用を含めて二十万円程度 かかったそうですが、本当の費用は 五九〇万円だそうです。僕は、あまり の額の大きさに驚きましたが、なぜ、 そういうことになるのか両親に聞きま そういうことになるのか両親に聞きま

税金で賄われるからだよ。」用になっていて後の代金については、ぎているのと、動脈瘤の手術が保険適ぎているのと、すいちゃんが75歳を過

時、のことだということでした。僕はそのの代金が保険適用になったのは、最近の活では、その動脈瘤の手術費用や薬の話では、その動脈瘤の手術費用や薬

きているんだよ。」
「世の中は、お互いに助け合って生

と思います。祖父は長い間、郵便局長を務めてきて、祖父は長い間、郵便局長を務めてきて、っという祖父の言葉を思い出しました。

して、税金の仕組みや役割を調べてみンで国税庁のホームページにアクセスと、祖母もしみじみ感謝しています。と、祖母もしみじみ感謝しています。と、祖母もしみじみ感謝しています。」

ていることを知りました。 ていることを知りました。その結果、税金には、所得税を法人税、消費税や酒税など、50種類の税金があってそれが、国民医療保険の税金があってそれが、国民医療保険の税金があってそれが、国民医療保険の税金があってそれが、国民医療保険の税金がある。

学んでいきたいと思います。 学んでいきたいと思います。 学んでいきたいと思います。 が、これからも税金の役割や仕組みをにすれば多くの人々が奏くの人にお世話になった分、今度は僕が社会人となった。 になった分、今度は僕が社会人となったから、祖父が多くの人にお世話になった分、今度は僕が社会人となったがます。 そして、祖父の口癖だったユロッます。 そして、祖父の口癖だったユロッます。 そして、祖父の口癖だったユロッます。 そして、祖父の口癖だったユロッます。 そして、祖父の口癖だったユロッます。 そして、祖父の口癖だったユロッます。 そして、祖父の口癖だったユロッます。 そして、祖父の口癖だったユロッます。 そして、祖父の口癖だったユロッます。 そして、祖父のと思います。

税は平等

那覇市立小禄中学校

三年大城太亮

僕は小さい頃、父の給料について会 学は幼かったので、税というものがわ 引かれた、ということでした。当時、 尋ねたところ、色々な税によって差し な。」と笑っていました。その理由を な。」と笑っていました。その理由を な。」と笑っていました。ので、 がれた、ということでした。 当時、

そこで僕は、祖父に尋ねてみました。

知った僕には、やはり両親と同様、悪 悪いものなのかわかりませんでした。 軽くあしらわれました。なぜこんなに じいちゃんは年金とかもらってるか た。そのことを母に説明すると、「お の反応の違いに、僕は疑問を抱きまし まだ戦時中だったらしく、その頃は水 とてもありがたいものだ。」と言って 税について聞かれた祖父は、「税金は いイメージになっていたと思います。 しかし、大きくなるにつれて消費税を 税に対するイメージが良いものなのか 便だったのでしょうか。小さい僕には も、意見がわかれたのでしょうか。税 ら、税金が好きなんでしょうね。」と ているのでした。しかし、祖父と父と てくれた税金に「ありがたみ」を感じ 水できる水道に感謝し、それをつくっ たそうです。そんな過酷な思いをした 作業で、給水がままならない状況だっ を汲んでくることすら命がけの大変な いました。祖父が幼少時代には沖縄は 金とは、祖父には便利で、両親には不 からこそ蛇口をひねるだけで簡単に給

最近、父は長年患っていた痔が悪化 したため、手術しました。その時の手 使われていました。この時僕は、祖父 が言っていた「税金はありがたいもの」 という言葉を思い出しました。 その時の手

教科書の裏に「この教科書は、国民のはないか考えました。すると、一冊の身近に感じる税金が使われているもの身近に感じる税金が使われているもの

税金によって無償で支給されています」という文章が表記されているのが利書販売で購入する分と合わせる費は約四千五百円でした。これを更に教科書販売で購入する分と合わせる教科書販売で購入する分と合わせるなるのです。

僕達は普段の生活の中で、税に対すと思います。
とことで税金は生きるのだと思います。
にありがたみ」を忘れがちだったのなが、みんなが平等に便利だと思えるなく、みんなが平等に便利だと思えるなく、みんなが平等に便利だと思えるなり、誰しもが、平等、にありがたみなり、誰しもが、平等、にありがためなり、誰しもが、平等、にありがためなり、誰しもが、平等、にありがためなり、誰しもが、平等、にありがためは、みに対す

う、僕の中での税金に対するイメー

会長賞 受賞作文 全国納税貯蓄組合連合会

めぐりめぐって…」

三年 鎌田 田村幌市立月寒中学校

紗

綾

した。 「手術以外に治る見込みはありませい。」医師からそう告げられ、号泣しん。」医師からそう告げられ、号泣し

断をうけました。 大病院を紹介されそこでもまた同じ診一万人に一人だという。そして、他のがる病気でした。要手術となるのは、がる病気でした。要手術となるのは、

その頃の私は、のん気なもので、税 については全くの無知。知っているの きに税金がかかるのだろうか。」と思っ さに税金がかかるのだろうか。」と思っ きに税金がかかるのだろうか。」と思っ の手術費用がまかなわれていたなんて の手術費用がまかなわれていたなんで の手術費用がまかなわれていたなんで の手術費用がまかなわれていたなんで の手術費用がまかなわれていたなんで と思っ した。

に障害があり、手術により治療効果がした。育成医療とは十八歳未満の身体け、母が書類を揃え、申請してくれま療)の助成がうけられますと説明を受療)の助成がうけられますと説明を受病院から、自立支援医療(育成医

期待できる場合に限り医療費の負担を 助成する制度で、二○○七年七月から への税源が移譲されたようです。財源 への税源が移譲されたようです。財源 については考えたこともありませんで については考えたこともありませんで については考えたこともありませんで については考えたこともありませんで れません。担当の先生から手術後に、 加ません。担当の先生から手術後に、 「四百万円以上かかる手術だったんだ よ。」と教えてもらいました。おそらく、 その大部分が育成医療でまかなわれて その大部分が育成医療でまかなわれて その大部分が育成医療でまかなわれて

税金は、私達のくらしを支える大切ががなのです。

日本は、少子高齢化社会が急激に進れています。年金をはじめとする安定的な社会保障制度、そして、安心して的な社会保障制度、そして、安心していていかなければなりません。また最近、テレビで事業仕分けという言葉をよく耳にします。税の使われ方を見直す、そして、ムダをはぶくいい機会だと思います。

ます。 ろに正しく使われる社会に…そう願い 大切な税金だからこそ、必要なとこ

「納税貯蓄組合」地域の絆

三年 佐藤 音相馬市立中村第一中学校

澪

納税貯蓄組合。初めて耳にする言葉で、全く意味が分かりません。農業協で、全く意味が分かりません。農業協で、全く意味が分かりません。農業協で、全く意味が分かりません。農業協です。組合を辞書でひくと、共通の利です。組合を辞書でひくと、共通の利です。組合を辞書でひくと、共通の利です。組合を辞書でいくと、共通の利です。組合を辞書でいくと、共通の利です。組合を辞書でいたありました。ですから、納税貯蓄組という同じ目的をもった者同士が集という同じ目的をもった者同士が集という同じ目的をもった者同士が集まって、きちんと税金を納めようとする組織ということになります。

私の祖父は、約四十年近く、自分が私の祖父は、約四十年近く、自分が私の祖父は、約四十年近点では、夜や休日以中。けれども、最近では、夜や休日以を集めることが容易にできたそうでを集めることが容易にできたそうでを無めることがおりいと言って、税金書では留守な場合が多く、訪問する時間外は留守な場合が多く、訪問する時間を調整することがむずかしいと言っていました。

を覚えました。最近では、銀行の口座を納め続けなければならないのか疑問うしてそこまでして組合を通して税金私は、そんな祖父の話を聞いて、ど

いました。

「確かに税金を一件ずつ集めて、期 に い。でも便利さや、効率化、あるいは は見えないけどもっと大切なものを組 は見えないけどもっと大切なものを組 は見えないけどもっと大切なものを組 は見えないけどもっと大切なものを組 は見えないけどもっと大切なものを組 は見えないけどもっと大切なものを組 は見えないけどもっと大切なものを組 は見えないけどもっと大切なものを組 は見えないけどもっと大切なものを組 と。」と祖父は言っていました。「それは、 よ。」と祖父は言っていました。「それは、 りし照れながら、けれども誇らしげに 少し照れながら、けれども誇らしげに がしてくれました。

「地域コミュニティ。」最近、何かにつけマスコミなどで、地域の人々同士のけマスコミなどで、地域の人々同士のと言われています。納税貯蓄組合。を言われています。納税貯蓄組合をだらけであります。でも、祖父の言葉にあるように、現代の私たちは、便利さと豊かさを求めるあまり、何かし間にとって、もっと大切なものを失いつつあるように思います。

納税貯蓄組合は、もしかすると、失

せん。す、きっかけの一つになるかもしれまわれつつある地域の絆を再び結びなお

お年寄りの笑顔から

二年村十上村。 惠湯沢市立稲川中学校

私は夏休み中の今日も、自転車を走私は夏休み中の今日も、自転車を走りが変を目にする。私がの姿を目にする。私がのでいるお年寄りのでを目にする。私が

りが、私は大好きだ。いさつを返してくれる。そんなお年寄とあいさつすると、何倍もの笑顔であ

私が毎日楽しく、元気に暮らせているとく、元気に暮らせているが、有効に使われているのだから。あいたが間接的に納めた税金が無駄になたちが間接的に納めた税金が無駄になたちが間接的に納めた税金が無駄になたちが間接的に納めた税金が無駄になたちが間接的に納めた税金が無駄になたちが間接的に納めた税金が無駄になたちが間接的に納めた税金が無駄にならず、有効に使われているのだから。よく「高齢化社会」と言われるが、本が毎日楽しく、元気に暮らせているとを知った。いつのまにか私の胸は熱くなっていた。ほんの少しだけれど、私なっていた。ほんの少しだけれど、私なっていた。ほんの少しだけれど、私なっていた。ほんの少しだけれど、私が毎日楽しく、元気に暮らせているとは何だる。

在に感謝したい気持ちだ。返しがしたかった。今は、福祉税の存な小さなものだけれど、お年寄りに恩げでもあると思う。だからこそ、小さのは、お年寄りからもらう笑顔のおか

私の母はある老人介護施設で、介護私の母はある老人介護施設で、介護の仕事をしている。お年寄りはよくという。そのことを聞き、私は総合的な学習の時間に、施設訪問をすることにした。建物の中はとても広々としとにした。建物の中はとても広々としとにした。建物の中はとても広々とした。かが皆笑顔だった。百一歳になるおでいる。お年答りが皆笑顔だった。若管をいる。お年寄りはよく笑の仕事をしている。お年寄りはよくという。その仕事をしている。お年寄りはよく笑の仕事をしている。

多い地域では、必要不可欠なのだ。や共働きで家を留守にするような家がむ地域のように、お年寄りの多い場所ちが使うわけではない。しかし私の住ちがある。

国 私たち人間が生活していく中で、道 私たち人間が生活していく中で、道 さいえるかもしれない。税金がある う考えると、税金によって支えられているのき、税金によって支えられているの き、税金によって支えられているの き、税金によって支えられている。 そも、税金によって支えられている。 そも、税金によって支えられている。 そも、税金によって支えられているの おっこそ、安心して生活していく中で、道

を学んでいるのだろうか。道路がなもし学校がなかったら、今の私は何

かったら、どこを歩けばよいというのかったら、どこを歩けばよいというのにはない。皆が暮らす世の中を支える誰かが損をし、誰かだけが得をするの誰かが損をし、誰かだけが得をするのではない。皆が暮らす世の中を支えるではない。皆が暮らす世の中を支えるではない。とがあるのだ。今、自分がことができる、どこを表して、

消費税増税

水戸市立内原中学校

史

先日大きな注目をあびた参院選がありました。その中でも話題になった民 主党の掲げた消費税10%の増税と法人 を和ほど気にも留めなかったし関心も をれほど気にも留めなかったし関心も ありませんでした。しかし、新聞で、 の人家族の場合、年間で16万円の負担 四人家族の場合、年間で16万円の負担 でみると1000円の10%が100円、1000円の でみるとの方から年間では結 精な負担になると思いました。

配慮している国が多くあります。それにより消費税が減免され、低所得者にいうものがあります。欧米では、品目して「生活必需品への課税軽減案」として「生活必需品への課税軽減案」と消費税増税に対し、一つの軽減案と

の負担は軽くなります。だけでも、いろいろな税を納める国

がかかるのではないでしょうか。とに分けるための議論。「あれは軽減とに分けるための議論。「あれは軽減とに分けるための議論。「あれは軽減とに分けるない難点があります。品目ごとに分けなは軽減する業界からの反発もあるでしょければなりません。軽減しない。目にはなりますが、それまでには多少時間はなりますが、それには解決しなけいかかるのではないでしょうか。

また、法人税の引き下げは「強い経済」の目玉とされていますが、消費税済」の目玉とされていますが、消費税が10%になっても法人税の引き下げがも仕方のないことでしょう。実際、大も仕方のないことでしょう。実際、大を業には様々な優遇税制があるそうでな。そのうえ、ある新聞記事によるとす。そのうえ、ある新聞記事によるとす。そのうえ、ある新聞記事によるとす。そのうえ、ある新聞記事によるとす。そのうえ、ある新聞記事によるとす。そのうえ、ある新聞記事によるとされているので商品の売れ行きが落ち込み小売店などはないでしょうか。

日本で消費税率が高くなったら社会保障制度などは充実するのでしょうなった。との歳出総額の約30%を占める社会保障関係費27兆86億円。正直ぴんときいる。とのようを表育費も軽減され充実しています。しかし、日本ではどうでしょうか。という、日本で消費税率が高くなったら社会保障関係費27兆86億円。正直ぴんときない。

いでしょうか。 いでしょうか。 いでしょう。それで、法人税を引き下げたしょう。それで、法人税を引き下げたしょう。それで、法人税を引き下げたしないのではないではないが必要になるのは確実です。増税

もちろん法人税引き下げはマイナスもちろん法人税引き下げはマイナスは慎重に考えるべきではないでしょうか。とだけではないでしょう。しかし、担がかかります。少子高齢社会に進む担がかかります。少子高齢社会に進む担がかかります。少子高齢社会に進むは、まないます。社会保障制度を充実するためにも消費税の増税と法人税の引き下げはマイナスもちろん法人税引き下げはマイナスもちろん法人税引き下げはマイナス

る日が来ることを願いたいです。われ、国民が一人でも多く笑顔になれ私たち国民の納める税金が有効に使

税金が作る未来

那須塩原市立三島中学校

一年**森 創**

来

です。新校舎には、今までの校舎にはたられ、新しい体育館で入学式が行われました。中に入ると新しい建物のにおいがし、身が引き締まりました。体おいがし、身が引き締まりました。体おいがし、身が引き締まりました。体おいがし、身が引き締まりました。体に、中に入ると新しい建物のにれました。中に入ると新しい建物のにれました。中に入ると新しい建物のにれました。中に入ると新しいを書います。

ない、新しい設備もできると聞いてい 行うには、とても大きな費用がかかり ます。僕のうちでさえ、20年以上のロー とらいかかるのだろうと、先生に聞い くらいかかるのだろうと、先生に聞い くらいかかるのだろうと、先生に聞い くらいかかるのだろうと、先生に聞い くらいかかるのだろうと、先生に聞い でみました。すると、体育館でおよそ でみました。すると、体育館でおよそ でみました。すると、体育館でおよる 世に、校舎はおよそ七億円の費用が が金から出されていることがわかりま した。ほかにも、図書館や博物館など も近くにあり、僕たちが勉強しやすい も近くにあり、僕たちが勉強しやすい をがよく分かりました。

を払っていることになります。その多 た。そうすると、大人はいくつも税金 た5%でそんなに多くのお金が集まる 知っている税金は「消費税」です。たっ ばならないと思いました。 と国民のためになるように使わなけれ ないと思いました。また、税金はもっ 舎や体育館を大切に使わなければいけ 額のお金を使って建てていただいた校 団体が成り立っているのだと思いまし 種類の税が集められて、国や地方公共 た。所得税、住民税、たばこ税や酒税 ているんだよ。」とおしえてくれまし がほかにもたくさんの種類の税を払っ のだろうか…。すると、父が、「国民 ろう、と不思議に思いました。僕が などもあると聞きました。その多くの ところで、税金はどこから来るのだ

ニュースでよく聞きました。税金をど今年は、事業仕分けという言葉を

の中で、僕が一番気になった。 です。その中で、僕が一番気になったり、どんな構造になっているのか考 たり、どんな構造になっているのか考 たり、どんな構造になっているのか考 に聞い の春に地球に戻ってきた「はやぶさ」 の春に地球に戻ってきた「はやぶさ」 の春に地球に戻ってきた「はやぶさ」 にした。廃止予定のJAXAの展示場かりま るものが出てしまい、がっかりしていいましたが、日 ですいました。廃止予定のJAXAの展示場かりま るものが出てしまい、がっかりしていいましたが、日 ですい にも連れて行ってもらいましたが、日 ですい にも連れて行ってもらいましたが、日 ですい にも連れて行ってもらいましたが、日 ですい にも連れて行ってもらいましたが、日 ですい にも連れて行ってもらいましたが、日

に思いました。僕が 最先端の技術開発に税金を使う事業をはどこから来るのだ すると、父が、「国民 できない技術を開発するための研究に多くのお金が集まる 一番になるためではなく、日本にしかされて、国や地方公共 は「消費税」です。 できない技術を開発するための研究にあいました。その多くの に、僕たちの未来のために使われていまされて、国や地方公共 ます。税金は人の生活を豊かにするため に、僕たちの未来のために使われていまさ。その多くの に、僕たちの未来のために使われています。とおしえてくれまし す。 はど大切なものです。僕も大人になったいるのだと思いまし はど大切なものです。僕も大人になったがした。その多 たいと思います。とになります。その多 たいと思います。

「高校生になる前に」

三年 塚田 蓉子群馬大学教育学部附属中学校

政権交代のあった昨年。私にも分かるような目に見える変化がいくつかるような目に見える変化がいくつかあった。高校の授業料無償化が、そのこまでしてもらわなくても……。」とこまでしてもらわなくても……。」とこまでしてもらわなくてもがかった。今の日言うのが、我家の意見だった。今の日言うのが、我家の意見だった。今の日言うのが、我家の意見だった。今の日言うのが、我家の意見だった。

私が通学途中に見る高校生は、皆おしゃれで自由で楽しそうだ。最新の携帯電話、カラフルなバッグ、短いスカート、長い髪……。ヘルメットに長いスカート、長い髪……。ヘルメットに長いスカート、校則の厳しい中学生から見たら、別世界の人みたいだ。それでも中等生は義務教育で、税金のお蔭で教育学生は義務教育で、税金のお蔭で教育を受けさせてもらっているのだから、と皆我慢してきた。そのかわり、全員が毎日安心して、学校で授業を受けるが毎日安心して、学校で授業を受けるためできるし、心配事や悩みがあれば、生が知りないできるし、心配事や悩みがあれば、た生が親身に聞いて下さる。スクールカウンセラーの先生もいらっしゃっカウンセラーの先生もいらっしゃって、本当に恵まれた環境だ。

高校生に、授業料が税金でまかなわれ、しかし、今まで自由を満喫して来た

されないだろう。しても、その有難みは、おそらく理解しても、その有難みは、おそらく理解しっかり勉強するようにと言われたとるのだから、今日から規則を守って、

終戦の時、六年生だった祖母は、行きたくても上の学校へ行けない子供きたくても上の学校へ行けない子供てくれた。父親が戦死して、幼い弟やてくれた。父親が戦死して、幼い弟やならなかった人もいたそうだ。今の私ならなか。まだ戦後六五年しか過っていないのに、日本は大きく変化した。祖母の世代の人々が、自分の子供や孫のために、精一杯働いて下さったお蔭である。でも、私達は、そのことをつい忘る。でも、私達は、そのことをつい忘る。でも、私達は、そのことをつい忘

なと思うところもいくつかあった。 現れ、税金の無駄使いを見つけて、バ 現れ、税金の無駄使いを見つけて、バ 場も繰り広げられていた。世界一の口 ることに反論する人も現れ、激しい口 ることに反論する人を現れ、激しい口 ることに反論する人を現れ、激しい口 を開発している事業や、地道な がットを開発している事業や、地道な がットを開発している事業や、地道な がった。中には削られ

こんな風にして、しぼり出した財源こんな風にして、しぼり出した財源に違いない。でも大半の高校生は、今思って、今まで以上に、努力している思って、今まで以上に、努力している思って、今まで以上に、努力している。

来年、高校生になる私。「皆が行く

ようにしようと思っている。 は、でなく、将来に役立てるため がら。」でなく、将来に役立てるため がら。」でなく、将来に役立てるため がら。」でなく、将来に役立てるため がら。」でなく、将来に役立てるため

介護保険を利用して

三年 人 見 啓 介志木市立志木中学校

「税金?何だかピンとこないなぁ。」「税金?何だかピンとこないなぁ。」と母金、にずい分助けられたのよ。」と母の具合が悪くなってからは、その、税の具合が悪くなってからは、その、税に言われ、僕は始めて、税金?何だかピンとこないなぁ。」

体の管理を一番の目的と考え、介護保体の管理を一番の目的と考え、介護保いってくれた曾祖母は、目・耳・足腰がってくれた曾祖母は、目・耳・足腰がってくれた曾祖母は、目・耳・足腰がってくれた曾祖母は、目・耳・足腰がってくれた曾祖母は、目・耳・足腰がってくれた曾祖母は、目・耳・足腰がってくれた曾祖母のでいた祖母のは弱っていた。一段自己を決めた。かりつけの先生の往診で、要介護2歳たった。上側のの管理を一番の目的と考え、介護保体の管理を一番の目的と考え、介護保体の管理を一番の目的と考え、介護保体の管理を一番の目的と考え、介護保体の管理を一番の目的と考え、介護保

必要な時、迷わず申し込めるのだ。 用の一割負担で済むからこそ、本当に 用することは出来なかったと思う。費 テーションがあったとしても、多分利 なに素晴らしいサービス内容の介護ス 負担しなければならなかったら…どん で介護を手伝っていた祖母や母、夜も の状態となった。、要介護5、と認定 の容態は少しずつ悪くなり、寝たきり や車椅子を利用した。しかし、曾祖母 護用品のリースサービスでは、ベッド 問看護士の派遣を依頼した。また、介 険を利用して、介護ステーションへ訪 護保険に税金が使われず、家族が全額 熟睡出来ずに、曾祖母の様子をみてい んに加えて、介護ヘルパーさんも依頼 し直されると、週二日の訪問看護士さ 存在になった。もしも、このような介 た祖母の姉にとっては、本当に心強い 分補給などを世話して下さった。順番 し、曾祖母のおむつ交替や体拭き、水

考えば、 ・消費税の税率が上がるかもしれない。 とニュースで流れ、街の人に消費税UP賛成か、反対か?とインタ 費税UP賛成か、反対か?とインタ ない方がいいに決まっている!と単純 ない方がいいに決まっている!と単純 に考えたが、インタビューでは「税金 の社会に十分生かせるの中で生きるこ ます進み、僕たちもその中で生きるこ とになる。、今さえ良ければ、という とになる。、今さえ良ければ、という

じた。

では、理解しなければならないと感け止め、理解しなければならないとして受けんが真剣に自分のこととして受い。として、税の仕組みやあり方を、

昨年の正月、曾祖母は眠るように亡なり、お通夜にはお世話になった介くなり、お通夜にはお世話になった介んがみえた。家族を心身共に支えて頂んがみえた。家族を心身共に支えて頂き、自宅で悔いなく介護することが出き、自宅で悔いなく介護することが出き、自宅で悔いなく介護することが出き、自宅で悔いなく介護することが出たところ、ケアマネージャーさんは「おたところ、ケアマネージャーさんは「おたところ、ケアマネージャーさんは「おたところ、ケアマネージャーさんは「おたところ、ケアマネージャーとなる状とでする。

みんなのためにひとりは

二二年 堀 百 花学校法人ノートルダム新潟清心学園新潟清心女子中学校

めた時、クラス三十人の力でも、百人めた時、クラス三十人の力でも、百人のために、よんなは、この言葉を思い浮かべています。一人一人が、自分の力を精一杯出しきり、クラスやグの力を精一杯出しきり、クラスやがループ、友人のことを一生懸命考え始ループ、友人のことを一生懸命考え始れなのために、みんなは一人のために、」

とが困難になります。とが困難になります。

たらどうなるでしょう。レベルで同じような現象ばかりになっ日本という国や、私達が暮らす県、市ようなことが起こるのですから、もしようなことが起こるのですから、もし学校のような小さな集団でも、この

時々、テレビのニュースや新聞で、社会的に大きな力を持ち、とても良いれています。用紙を自分に利益があるれています。用紙を自分に利益があるように書いて所得税などをごまかしている人も少なくないことを知りました。また、税金を少しでも少なく納め、た。また、税金を少しでも少なく納め、た。また、税金を少しでも少なく納め、た。また、税金を少しでも少なく納め、おっています。「節税」という言葉は、利益のです。

はできません。でも、私は毎日、税金はできません。でも、私は毎日、税金のは、一体、どういうことなのでしょのは、一体、どういうことなのでしょのは、一体、どういうことなのでしょりましたが、義務を節約するという知りましたが、義務を節約するという知りましたが、義務を節約するという知りましたが、憲法について学んだ時に、小学校で、憲法について学んだ時に、

れた学校に通っています。学をしています。妹も、税金で建てらで整備されている道を通りながら、通

と思います。 り続けることはできないと思います。 を作り、二十四時間、国民の安全を守 道路を作り、橋をかけ、学校や病院 れらは、みな税金のおかげなのです。 体の不自由な方も、安心して暮らせる 下さっています。また、お年寄りや身 の街や市、国を良いものにしていける 重ねていけば、その力で私達が住むこ ですが、一人一人ができることを積み たった一人で街を作ることはできない よう、たくさんの施設があります。こ や、消防士の方が、がんばって働いて 康なものであるように、警察官の方 いくら裕福でも、たった一人の力で、 街に出れば、私達の生活が安全・健

のだと考えます。とが、今、私達日本人に必要なことな一人のために。」と考え、行動するこ「一人はみんなのために、みんなは「一人はみんなのために、みんなは

のだと思います。となり、私達の輝く共有の財産となるまった時、大きな橋となり、美しい道まった時、大きな橋となり、美しい道

教えてくれた事耐震補強工事が

一年 宮 崎 綾野沢温泉村立野沢温泉中学校

奈

こ。 り取るような爆音が聞こえてきましり取るような爆音がら、コンクリートを削きわたる校舎から、コンクリートを削がががいだができれるのができます。

を受けて、工事を発注している事も分を受けて、工事を発注している事も分を受けて、工事を発注している事も分を受けて、工事を発注している中学。私には、この大きなコンクリートでした。そこで、耐震性について調べでした。そこで、耐震性について調べてみると、私の住んでいる野沢温泉村でみると、私の住んでいる野沢温泉村でみると、私の住んでいる野沢温泉村であると、私の住んでいる野沢温泉村でした。そこで、耐震性について調べてみると、私の住んでいる野沢温泉村でした。そこで、耐震性について調べている中には、国からの多額の補助金を受けて、工事を発注している事も分を受けて、工事を発注している事も分を受けて、工事を発注している事も分を受けて、工事を発注している事も分を受けて、工事を発注している事も分を受けて、工事を発注している事も分を受けて、工事を発注している事も分を受けて、工事を発注している事も分を受けて、工事を発注している事も分を受けて、工事を発注している事も分を受けて、工事を発注している事も分をでは、対している事を分をでは、国が、対している事を分をでは、このでは、対している事を分をでは、といい、対している事を分をでは、対しないといいる事を分をでは、対している事を分がある。

少に伴い、税収が落ち込んで財政事情野沢温泉村も来村されるお客様の減が数多くあることも分かりました。

され、補強工事を先送りにした自治体中学校への耐震化の予算は大幅に削減

てみると、新政権になってから国の小す。さらに補助金について詳しく調べから納められた大切な税金だったのでかりました。補助金は、全国の皆さん

でなく、村民の皆さんにとっても有益でなく、村民の皆さんにとっても有益でなく、村民の皆さんの避難場所にして学校生活を送ることができるだけして学校生活を送ることができるだけいなく、村民の皆さんにとっても有益でなく、村民の皆さんにとっても有益であると思いました。

まく考えてみると、毎日何気に手に よく考えてみると、毎日何気に手に よく考えてみると、毎日何気に手に なのだと、気付かされます。そのほか なのだと、気付かされます。そのほか にも税金は、公共の施設やサービス、 にも税金は、公共の施設やサービス、 にも税金は、公共の施設やサービス、 にも税金は、公共の施設やサービス、 を送れることができるのだと思いま を送れることができるのだと思いま なのだと、気付かされます。 そのほか はいる教科書や学校の備品類も全 と、気付かされます。 を送れることができるのだと思いま

会国の皆さんの声だったのかもしれ が税金をこんな小さな村の、わずか百 な税金をこんな小さな村の、わずか百 ことを感謝しなければいけないと思い ことを感謝しなければいけないと思い をした。あの大きな工事の音は全国の はたした。

ます。そして、社会に貢献したいです。を勉強して考えていきたいと思っていす。おさめた税金の使われ方やあり方社会を支える役割を担うことになりま者の一員となります。同時に、日本のんとお母さんですが、私も将来は納税んとお母さんですが、私も将来は納税

私達に密着している税

君津市立小櫃中学校

三年河野陽香

というのは、ありがたいと思います。 くれた税金のおかげなんだよ。」と言っ 当に良かった。これもみんなが納めて ら、手遅れになっていたかもしれませ あの時、健康診断を受けていなかった る健康診断で、病気を早期発見できる たそうです。たった五百円で受けられ 病名を伝えられた時、信じられなかっ 状もなく、いたって健康だったので、 診断のおかげなのでした。母は自覚症 その病気が発見できたのは、市の健康 たという思いが残っています。しかし、 かった私には母がいなくて、寂しかっ 弟の面倒を見てくれていましたが、幼 ことがあります。その間、祖母が私や ん。今でも母は「健康診断を受けて本 の母は、 九年前、病気で入院した

他にも、国民の健康に配慮された制他にも、国民の健康に配慮された制度は色々あります。例えば、赤ちゃん度は色々あります。六十五歳以上のお年寄種は無料です。六十五歳以上のお年寄種は、優遇され千円のみの自己負担でした。このように税金は、私達の健康した。このように税金は、私達の健康に配慮された制感謝の気持ちでいっぱいになりました。

号、道路などにも使われています。通っている学校、教科書、図書館、信そんな素晴らしい税金は、私達の

しいと思います。 て納めた税金がこのように良い形に なかったよ。本当にありがたいよ。」 ライン」を通る高速バスを使うと、二 かってしまいます。しかし、木更津と なって自分達に返ってくるのは素晴ら コにもつながります。大変な思いをし ることによる排気ガスの減少など、エ ることで、東京の渋滞の緩和、車が減 と言います。また、アクアラインを通 から、一人で単身赴任しなければなら がなかったら、毎日東京には通えない 縮となるのです。父は「アクアライン 時間弱で通えます。約一時間の時間短 川崎をつなぐ一本の橋「東京湾アクア 大変です。電車で通うと三時間弱か 交通の便が悪いので、東京に通うのは 私の父は、東京に通勤しています。

ても良い機会になりました。について学んだり、考えたりする、とた。「書く」ということを通じて、「税」「税についての作文」に取り組みまし、私は、中学三年間連続で、夏休みに

もっと住みよく快適な町になるのであす。確かに自分のお財布は困りますが、であまり良い印象は受けないと思いまには、ただ「上がる」という印象だけ密着しているのか考えたことがない人思、税金がどのように自分達の生活にニュースが話題になっています。一二五を住みよく快適な町になるのであ

は、私は惜しいとは思いません。 私達の健康を守り、住みよい環境を な税金が、私達の生活にいつも密着 していることを、もっとたくさんの人 していることを、もっとたくさんの人 は、私は惜しいとは思いません。

今、できることを。

三年 四日市 理銚子市立第三中学校

で安全な生活を送れないからです。なぜなら、税金なしでは私達は、健康なくてはならないものだと思います。葉を耳にします。けれど、私は税金は葉を耳にします。けれど、私は税金は

て安全な生活を送れないからてするなりになったそうです。
税金で一番多く使われているもの社会保障というのは国民医療費などの、現在お年寄りが増えてきているという理由から、一番多く税金が使われているものが、

なった時も、税金の一部が使われていなった時も、税金の一部は税金で賄われているものだと、中学に入り税の社会ているものだと、中学に入り税の社会で防された。また、祖母が介護サービスが必要にまた、祖母が介護サービスが必要にある。また、祖母が介護サービスが必要にある。また、母や祖母へ通院していました。また、母や祖母へ通院していました。また、母や祖母へ通院していました。また、母や祖母へ通院といる。

のかと不満を持つ人も実在すると思い と思います。そして、その他人のため るはずです。 すれば、税金を払うにしても快く払え みることが大切なことなのです。そう も他人と見るのではなく、仲間として に住んでいる人は、関わりのない人で なのではないかと私は思います。日本 のはすべて自分自身の心の汚れが原因 ます。こういった不満が生まれて来る われる税になぜ回されないといけない に公共物などは兎も角、病院などで使 ない人達を他人としてみているからだ 自分や家族や知人以外の全く関わりの るのではないかと思います。それは、 損をしているという考えを持つ人もい 気に罹ったことのない人からすると、 と心底感じているのです。しかし、病 族は税金が人々にとって必要なものだ あったからという理由も含み、私達家 たことも知りました。そんな出来事

私はまだ中学生なので、税金といっても消費税位しか、払っていません。ても消費税位しか、払っていません。はればいけないできます。学校の机や椅子などの公共物をすべて大切に使っていなどの公共物をすべて大切に使っていなどの公共物をすべて大切に使っていなどの公共物をすべて大切に使っているとが私達中学生が行っていかなければいけないことだと思います。決して、税金を払うことだけが私達にできることだとは思わないで下さい。税金を入っとだとは思わないで下さい。税金といっろに今どんな税金の使い道の節約ができます。

解消することに少しは繋がるのではな で、現在問題になっている増税問題も いでしょうか。

当然なことではないかと思います。な とができるようになってほしいと思い らば、この税金に対して日本に住んで ずいないと思います。それはある意味、 めに払う税金を素直な気持ちで払うこ いる人々は、自分や身内や日本人のた 税金を払って嬉しいという人は、ま

くという極当り前のことが日本の未来 に大きく関係することなのです。 してその税金の使い道の節約をしてい 税金を人々がきちんと払うこと、そ

教科書の裏には

二年 高 野

麗

り、あるいは教科書を無くしてしまっ でみたり、教科書に落書きをしてみた しょうか。教科書を丸めたりして遊ん こんな経験を、したことはないで

だけで、その行動を行なってしまった ただ面白いからという無邪気な子供心 て遊んでしまった記憶があります。幼 い私は、悪意などこれっぽっちも無く、 私は小学生の頃、よく教科書を丸め

ところで、私達中学生や小学生が学

んどの教科書の裏には、ある文章が書校へ通う日には必ず使っている、ほと

金によって無償で支給されています。 担う皆さんへの期待をこめ、国民の税 大切に使いましょう。」 「この教科書は、これからの日本を

り、今は大事に使っています。 書を大切にしようという意識も高ま りました。文章を読んでからは、教科 教科書が税金で賄われていたことを知 校の高学年頃だと思います。その時に、 私がこの文章を見つけたのは、小学

でしょうか。 は、私達に何を伝えようとしているの さて、教科書の裏に印刷された文章

達へのメッセージ、そして、夢を託し ているのではないかと、私は考えまし が教科書という形で私達の手元に届い う夢や希望が税金の一部になり、それ の日本を立派な国にしてほしい、とい 上げていかなければいけません。未来 は、私達は社会人として、日本を造り たのではないでしょうか。約十年後に あの文章は、未来へ向かっている私

注いでもらっているのです。 のために七千六百四十九億円の税金を 三百九十五億円を、東京都では教育費 体では、教科書の無償配付のために は多くの税金が使われています。国全 教科書以外にも、日本の教育関係に

たテレビ番組を見ました。その時、あ 前に、発展途上国での生活を撮影し

> きないそうです。 家庭ではないと、学校に通うことがで た。その女の子の国では、お金がある ら、学校に行きたいけど、仕事をしな る女の子が、「私の家はお金が無いか ければならないの。」と言っていまし

とても素晴らしいことなのです。 等に教育を受けられるということは、 いかもしれません。でも、みんなが平 の皆さんに、本当に感謝しています。 達の教育費を納めて下さっている日本 とができました。一生懸命働いて、私 のは幸せなことだということを知るこ らい恵まれているのかがわかりまし た。そして、学校に通うことができる その番組を見たとき、日本がどのく 勉強は、努力しても好きにはなれな

ければならないと思います。 れない子供達の分も勉強して、より良 い社会を目指して、造り上げていかな 教科書の裏に印刷された文章が、 私達は、発展途上国で教育が受けら 教

未来を守るために

えてくれました。

板橋区立桜川中学校 香 ЛI 奈

穂

となります。 切かかりません。すべて板橋区の負担 「広島までの交通費や宿泊費は、一

私は、 昨夏「板橋区中学生広島平和

見学したり、被爆者の体験を聞いたり 区内の各中学校から二年生一名が広島 に参列する。また、平和記念資料館を に派遣され、八月六日の平和記念式典 の旅」に参加した。板橋区では毎年、 して学んだことを、学校の仲間や地

の方々に伝えるという役割も担う。

きちんと果たそうと思った。 ればならない。税金を使う分の責任を りの人達の分もしっかり学んでこなけ のだから、自分のためだけでなく、周 円。そんな高額な費用をかけてもらう べたら、私達の派遣費は約二百六十万 なってしまう。区のホームページで調 持ちで行ったのでは、税金が無駄に 行できてラッキー!」という安易な気 われるということだった。「タダで旅 つまり板橋区民が納めた税金でまかな 加する私達の旅費などが、区の負 最初に説明会に出て驚いたのは、参

間いっぱいまで館内を見て回った。 ての資料を見なければと思い直し、時 も伝えられない。目をそむけずにすべ れ以上見たくないという気持ちになっ その悲惨さに心が痛み、途中でもうこ た。でも、ここでやめたら、友達に何 実際広島の資料館に入ってみると、

きしたことや感じたことのすべては言 報告した。短い発表時間の中で、見聞 千五百人の区民に広島で学んだことを 緒に発表資料を作り、会場に集まった 橋区平和のつどい」では、他校生と一 知ったことや体験を発表した。また「板 秋には、校内発表会で原爆について

さが伝わるように考えた。発表文は何度も書き直し、平和の大切えたかった思いは原稿に詰め込んだ。てほしかった写真は紹介できたし、伝い尽くせなかった。でも、絶対に知っ

今回税の作文を書くために、改めて今回税の作文を書くために、改めてまれた。現金の使い道が、中学校校舎の耐た。税金の使い道が、中学校校舎の耐た。税金の使い道が、中学校校舎の耐た。税金の使い道が、中学校校舎の耐た。税金の使い道が、中学校校舎の耐た。税金ので、納税者に還元されたことがわかりやすい。けれど、「平和ことがわかりやすい。けれど、「平和」

校内発表のあと、部活の後輩が「来に私が広島に行きます」と言ってくれた。きっと他の人達も、発表の内容は忘れてしまっても、「友達が広島の発表をしていたな。やっぱり戦争はい発表をしていたな。やっぱり戦争はいたな」という気持ちは、心のどこかに残ったのではないかと思う。そんなに残ったのではないかと思う。そんなに残ったのではないかと思う。そんなの神が大きないが、

を守るためにも使われているのだと思しに役立っているだけではない。未来しに役立っているだけではない。未来重みを感じる体験だった。その重み分重のな感じる体験だった。その重み分重のでは立っているだけ、私なりに頑張ってお返しをしただけ、私なりに頑張ってお返しない。

日本を支える税金

三年 石塚 暁墨田区立両国中学校

子

る子供達や、裸足で物を売りに来る同いた私は、通学途中、物ごいをしていくさんいました。日本人学校に通って育を受けることができない子供達がたがあります。フィリピンでは、まだ教があります。フィリピンに滞在していたこと

覚えています。かうのはとても辛かったことを今でもを振り切るように車に乗り、学校に向世代の子供達がいました。その子供達

日本は、いかに恵まれた環境であっ日本は、いかに恵まれた環境であった。そういう意味でと改めて感じました。そういう意味でと改めて感じました。そういう意味でと改めて感じました。そういう意味でといることを絶対に忘れてはいけない

生懸命にしようと感じました。
と懸命にしようと感じました。
と懸命にしようと感じました。
と懸命にしようと感じました。
といる大人の方々がいることを忘れずでいる大人の方々がいることを忘れずでがながなが、教育を受けられないとが、教育を受けられないとが、教育を受けられないとり、といる大人の方々がいることを忘れずでいます。学には、学校へ行かず、遊んでいたり、

次に興味を持ったことは、政治家で次に興味を持ったことは、政治家です。税金の無駄遣いをしている政治家付って研修目的と嘘をついて海外旅行使って研修目的と嘘をついて海外旅行をの話を聞くたびにショックを受けまやお金を賭けて遊んでいたりします。そのような政治家が日本を動かしていることに不満を抱きます。自分のす。そのような政治家が日本を動かしていることに不満を抱きます。

が大人になったとき、もっと税金の重要さがわかってきました。そして私達ましたが、実際調べてみて、税金の重

す。 さがわかるようになるだろうと思いま

になっていると思いました。とき、日本はきっと、もっと良い社会と、もの人が「税」の大切さを感じた

税とのつながり

三年 杉田 紘川崎市立有馬中学校

子

てみました。 思った私は、早速「税」について調 何のためにあるのだろうか。疑問に きがあるのだろう。そもそも、税とは うになりました。なぜ、そのような動 きく報じられ、世間の注目を集めるよ という話題がニュースや新聞各紙で大 を意識したことはありませんでした。 私も、これといって「税とのつながり」 る人は少ないように思います。以前の 関してそのようなイメージをもってい という意味なのです。しかし、税金に もたらす恩恵を享受するよろこびー 実りのよろこび――長い月日の勤勉が しているといわれています。つまり、 のつくりと作物を表すのぎへんに由来 すか。一説では、よろこびを表す「悦 しかし最近、「消費税率引き上げ」 「税」という漢字の語源をご存

の支払い能力や生活パターンに応じて……約五十種類にものぼる税が、個人所得税、法人税、酒税、固定資産税

育」を受けています。 自身、税により九年間無償の「義務教 生きていたのです。そして今現在も私 た時から、税との強いつながりの中に 方々。一刻を争う事態に、すぐに駆け に出てみれば平然と続く舗装された道 スに姿をかえているそうです。一歩外 課税され、それらは様々な公共サービ つけてくれる救急車。私たちは生まれ 地域の安全を守る警察・消防の

でいっぱいになりました。 さっている大人たちに、感謝の気持ち に、そして、日本のために働いて下 とともに、当たり前に過ぎていく毎日 のなのか……。税の大切さを実感する です。今の生活がどんなに恵まれたも の労苦により築き上げられたものなの 私たちの両親、日本の大人たちの長年 す。そして、その社会は紛れもなく、 社会の基盤の上に保障されているので して暮らすことのできない毎日。想像 る医療・福祉費や治安の悪化で、安心 の権利があっても、増える失業者。生 も、学校に行けない子どもたち。勤労 でしょう。教育を受ける権利があって 撤廃され、貧富の差が広まってしまう しただけでもぞっとします。私たちの 存権があっても、個人に重くのしかか ……、それまでの公共サービスは全て 人権は、税で成り立つ「支え合い」の もし、税がなくなってしまったら

「おじいちゃん

が認知症になっ

合い」が重要になります。「税につい われている日本では、より一層「支え 将来はさらに少子高齢化が進むとい

> たちに求められるものではないので ての正しい知識」これが未来を担う私 しょうか。

税者」として、両親や大人たち、そし 築くために、胸を張って税金を納めて び」を感じ、安心して暮らせる社会を です。そして、その時には一人前の「納 いきたいと思っています。 て、未来の子どもたちが「税のよろこ 私も、もう六年後には社会人の一員

祖父を助けた税の力」

横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉中学校 宥 太

れきった声で僕の家に電話をしてき 島根県に住んでいる祖母が疲

には徐々にストレスが溜まっていって ばらなため世話をするのが困難。祖母 と会話するにも難しく祖父の記憶もま なってきてしまっている。祖母は祖父 み、自宅の位置や家族まで分からなく これなくなってしまった。認知症が進 ちゃったのよ…… 祖父は買い物に行ったきり、帰って

を預かり認知症治療まで行うサービ 介護事業者が朝から晩まで認知症の人 ビス」の案内を受けた。これは民間の そんな時、病院から「介護デイサー

> お互いにとっても良いことだと思った ス。僕もこのサービスは祖父、祖母、 が、祖母は少しためらっていた。 「やっぱりお金がかかるのかしら

:

ている。 明された。適用されれば被保険者の支 だが医師から要介護認定と介護保険が 保険(税金)の力を借りながら生活し 町村が負担することになる。祖父は要 払いは一割で済み、残りの九割は各市 民間サービスにも適用されることを説 れないかもしれないことに気づいた。 介護認定され、今は祖父祖母ともに、 ら医療のように、診察料などが割引さ 確かに民間業者が行うサービスだか

とが分かった。 響でノイローゼになってしまう恐れが 祖母も長期の介護によるストレスの影 り、場合によってはこのサービスを受 のデイサービスによる負担が大きくな る。もしこの制度が崩れたら、祖父側 本はこの社会保障制度が崩れつつあ づいた。だが、高齢化が進んでいる日 関係のない人たちの税金(助け)によっ 護料金の九割もの額を僕たちとは全く る税金は大きな役割を果たしているこ 出てくる。少しおおげさな話しだった 性がある。すると祖父の病状は悪化し、 けることができなくなってしまう可能 て支えられ祖父が生きていることに気 かもしれないが、社会保障制度を支え よく考えてみると、祖父にかかる介

今年七月に行われた参議院選挙の争

るが、子供から老人まで共に助け合う 10%に引き上げるなど、一見僕たちの えることになると思う。 かり確立し、僕たちの生活に安心を与 し、上がった分、社会保障制度がしっ ば、税引き上げは止むを得ないことだ 社会を優先していきたいとするなら 生活に大きな負担がかかるように見え 点に消費税が大きく取り上げられた。

と思った。 ができる社会作りに参加していきたい いて議論し、僕も安心して生きること きた。国も国民も今まで以上に税につ らどうなるかについても知ることがで 考えることができたが、税が無かった 自分の家族がきっかけで税につい

税金の有り難さ

大月市立大月東中学校

二年 みの

らよく図書館を利用しています。今 いていました。 のではないか。」などという疑問を抱 いくら利用者が増えても利益は出ない ろう。」「無料で本を貸し出していたら 書館の本は誰のお金で買っているのだ 本は無料で借りられるのだろう。」「図 が、小学生の頃は、「なんで図書館の 立っている」ということがわかります でこそ、「税金によって図書館が成り 私は読書が好きなので、小さい頃

テスト勉強でよく利用します。 ペースもあって、私も定期テスト前の ます。調べものや勉強などに使えるス きたり、ビデオなどが視聴できたりし 法の他にも、インターネットが利用で 的に行なわれるなど、イベントも充実 は、絵本の読み聞かせや朗読会が定期 しています。本を借りるという利用方 私が住んでいる地域にある図書館で

全て、税金あってのことなのです。 が、成されていると思います。これも つ快適に利用できるような環境づくり 温度調整など、市民の誰もが気軽に且 本の管理、本棚の整理整頓、館内の

す。つまり、今の生活は失われるので でもが成り立たなくなってしまいま く当たり前のように通っている学校ま せん。警察署や消防署、私達が毎日ご なくなります。図書館だけではありま まうのでしょうか。もちろん図書館は で決まったとしたら一体どうなってし 義務はない。」などということが国会 さて、例えばもし「国民に納税する

たらしっかり納税して、国民の義務を ました。だからこそ私は、大人になっ ていくものなのだな。」と改めて感じ 世代へと、次の世代へと、受け継がれ 私はこれを見て「納税する義務は次の 給されています。」と書いてあります。 をこめ、国民の税金によって無償で支 これからの日本を担う皆さんへの期待 と、どの教科書にも「この教科書は、 学校で使っている教科書の裏を見る

> ンタッチをしたいです。 なるのは六年後。そして年金を支給さ るときにはちゃんと次の世代へとバト るか不安ですが、納税する義務を終え 老後に安定した生活を送ることができ 日本は少子・高齢化が進んでいるので、 れるようになるのは五十一年後。今の 果たしたいです。私が納税するように

集めるということは、とてもいいこと だと思います。 らこそ、税金という形で公平にお金を お金はとても大切なものです。だか

いきたいと思います。 も、税金についてもっともっと知って ることを祈りたいです。そして私自身 将来、日本が今以上に豊かな国にな

税」について考える

坂井市立三国中学校

年 藤

組合だよ。」 金を納めてもらうために、組織された 祖父は、「納税組合はね、積極的に税 長年、納税組合長を務めていた私の 「おじいちゃん、納税組合ってなに。」

ような仕組みが成り立つのは、地域の と、報償金がもらえたそうです。この ていました。百パーセント納税できる の税金に関する書類の配布をしたりし 金を集めて役場に納めたり、役場から 納税組合長の仕事は、各家庭から税

> 域のつながりの希薄化が税の完納が不 ます。しかし、最近では日本全体で、 ではないでしょうか。 可能になってきた現代を表しているの りする機会が増えてきました。この地 をニュースや新聞などで見たり聞いた 地域のつながりが希薄化していること 人々とのつながりがあるからだと思い

をしっかり果たし納税したいと思いま きには、税金未納をしないように職務 ができず、税の公平性にも欠けてしま いうことは、国民の義務を果たすこと 払わないことです。税金を未納すると います。だから、私が大人になったと 税金未納とは、期日までに税金を支

これまでの「ふるさと納税」の使い道 納税するということでふるさとを思い れている人もいるので、この制度は、 ました。色々な事情で、ふるさとを離 応援したい自治体にも寄付できます。 方々が、ふるさとの県や市町村にお金 税」があります。「ふるさと納税」と 起こすことができる良い制度だと思 の教育や環境整備のために使われてき ど、主にこれからの福井県を担う私達 験、自然観察、花づくり運動の援助な ふるさとの自治体だけでなく、自分の る制度です。福井県が提案しました。 を寄付すると、住民税などが軽減され は、ふるさとを離れて生活している した納税の仕組みとして「ふるさと納 さて、地域での心のつながりを生か 子育て、部活動、農業・漁業体

> のつながりを持つことはいいことだと ます。納税を通して、ふるさととの

われています。 ミ収集など、生活に不可欠なものに使 療や福祉、警察、救急車・消防車、 「ふるさと納税」以外の税金は、 ゴ医

めていかなければならないと強く感じ います。国民一人ひとりが頑張って納 り、税金の未納はしてはいけないと思 まいます。やむを得ない理由でない限 社会サービスの質や機会が低下してし その自治体はほかの自治体と比べて、 そんな中、税金未納の人がいては、

います。 知って、しっかり納めていきたいと思 なものだということが分かりました。 生活に必要なものに使われている大切 こともあるけれど、ほとんどが私達の 税というものがあるのだろうと思った めにも使われている税金。どうして、 そしてこれからの未来を担う私達のた 私達国民一人一人が税の大切さを 身近なところに使われている税金。

感謝の気持ち」 税金への

宮市立中部中学校 二年

梓

「オギャー、

オギャー」

十四年前の八月、予定日より一ケ月中四年前の八月、予定日より一ケ月に上きようとしている私を見た父と母に生きようとしている私を見た父と母に生きようとしている私を見た父と母に生きようとしている私を見た。体重が以上も早く私は生まれました。体重が以上も早く私は生まれました。体重が以上も早く私は生まれました。体重が以上も早く私は生まれました。体重が以上も早く私は生まれました。体重が以上も早く私は重視が大きない。

そして、医師や看護師の懸命な治療のおかげで、順調に成長した私は、無事に退院し、今、こうして元気に中学事に退院し、今、こうして元気に中学事に退院し、今、こうして元気に中学事に退院し、今、こうして元気に中学事に退院し、今、こうして元気に中学事に退院し、今、こうして元気に中学事に退院し、今、こうして元気に中学事に退院し、今、こうして元気に中学事に退院し、今、こうして元気に対した。

感謝したいです。
私は税金のおかげで命を救われたのなかったかもしれない生命も税金のおかげで、安心して治療、医療が受けらかがで、安心して治療、医療が受けらかがで、安心しれない生命も税金のおかがでのからしれない

が納めてくれた税金を私は無駄にしてめている人もいます。そのような人々る人や、日々の生活に苦しみながら納病気やけがなどで闘いながら納めてい税金を納めている人は、必ずしも裕

けとなり、もっと税金について関心を 事でした。今まで当たり前のように使 はならないと思います。そのことに気 持たなければと思いました。 税金の使われ方を少しでも知るきっか し、今回の「事業仕分け」によって、 し、知ろうともしませんでした。しか われているのかあまり興味もなかった した。私は今まで税金がどのように使 私でも理解できる事がたくさんありま 仕分けていくのです。内容は中学生の すく、必要か必要でないかという事を われていた税金を国民の前で分かりや と、「税金の無駄を見つける」という で放送されている内容を聞いている ました。しかし毎日のようにテレビ 業仕分けって一体何だろう?」と思い た、「事業仕分け」です。私は最初「事 づかせてくれたのが、今年話題となっ

ず、社会に貢献できる人間になりたい す。税金は私達の暮らしを支えまた、 覚し、社会に育てられている事に感謝 税金には深に係わりがあります。私達 通い、学び、友達と笑いあえます。病 外へ出れば、整備された道路を歩く事 となった時、 国を支えます。近い将来、私が納税者 の心を持って生きるべきだと思いま は恵まれた環境に生まれ育った事を自 療が受けられます。これら全ての事と 気になれば、病院に行き、安心して治 ができます。当たり前のように学校へ くてはならないものです。家から一歩 税金は私達が生活していく上で、な 今の感謝の気持ちを忘れ

と思います。

税の使われ方」「身近に見つけた

三年 田中 真衣

私が目にしている一枚の写真。写っ私が目にしている一大の写真は白黒だし、があります。そもそも写真は白黒だし、があります。そもそも写真は白黒だし、があります。そもそも写真は白黒だし、があります。そもそも写真な

を業アルバムの一ページなのです。 の私が通っている中学を卒業した父の の私が通っている中学を卒業した父の

聞く事となりました。
一学をなりました。
一学をたくさんた。その時に学校の施設や設備の変化た。その時に学校の施設や設備の変化なって初めて父が学校にやって来ましなって初めて父が学校にやって来ました。

今、私たちの体育館は二階建てで、今、私たちの体育館は二階建てで、方がれています。まだ完成してから数をはらしい施設です。それに比べて父年しか経っておらず、どこもかしこもの時代の体育館はとても古く、目一杯の時代の体育館はとても古く、目一杯の時代の体育館はとても古く、目一杯の時代の体育館はとても古く、目一杯の時代の体育館は二階建てで、

かしい事をしていたそうです。行くという、今では考えられない恥ず肩にかけ水着のままで町なかを走ってする学校で水着に着替え、タオルをする学校で水着に着替え、タオルを好業は少し離れた市営プールまで出か

私たちは今、とても素晴らしく改修された学校のさまざまな施設や設備された学校のさまざまな施設や設備された学校のさまざまな施設や設備された学校のさまざまな施設や設備された学校のさまざまな施設や設備がかかり、誰が負担したのかりである。

せないと考えます。
せないと考えます。
せないと考えます。
は、税金での負担が欠かるのにするには、税金での負担が定しいできません。公共性の高い施設を良い人々だけの負担では、到底良い施設はいって、学校やその施設に関連するいって、学校に設置する施設や設備だからと

れてしまったのだと思います。は自分が学生であった頃の事を少し忘見を聞いたことがありますが、その人のためだけに使いたい。」と、いう意のはのだけに使いたい。」と、いう意のためだけに使いたい。」と、いう意

「個人的なものや特定のグループや何間が必要だと思うものは発で負担すなが必要だと考えるものは税で負担する。」と、いった基本的な区分を認識る。」と、いった基本的な区分を認識る。」と、いった基本的な区分を認識

られるもの」から「税は納めるもの」へ、使われ方を見つける事が、「税は集めまた身近なところで活きている税の

になると思いました。 と税に対する考え方を変えるきっかけ

だけのことを私に考えさせてくれまし たくさんのことを教わりながら、私は た。これからも社会のしくみについて 大人になっていきます。とても楽しみ 一枚の写真と父との語らいが、これ

安心して暮らせる 社会のために

静岡市立清水第八中学校

今年の夏休みに学校の昇降口が改築 納

されることになった。今までの昇降口

てみると私たちの学校生活に関わる費 税金でまかなわれている。普段はほと ド、この昇降口等、学校の施設は全て ため、上靴の盗難やいたずらがなくな 壁がガラス張りになり周囲を囲われる ため、学校に関係ない人でも自由に入 は出入り口が開放された状態であった んど感じることはないが、改めて考え ることが出来るようになる。 ってこられたが、今回の改築によって 私たちの中学校の校舎やグラウン 安心して上靴を置いたまま下校す

金でまかなわれていることに気が付

運営する全ての費用が税金でまかなわ 防署の消防車や救急車等にも税金が使 税金によって守られていると言っても れている。私たちの暮らしの安全は、 さんの人件費を含めた警察や消防署を われているし、警察官や消防署員の皆 道橋等の建設費、警察のパトカーや消 身の回りにある道路や橋、 もっと広く考えてみると、 信号機、歩 私たちの

とであると思うが、もう一方で税金の 民的な議論が活発になることは良いこ 多い。確かに税金の収入面について国 収面の切り口から話されていることが 税の税収が減ったり、消費税率の引き 語る税金の問題は、税収面についての 論を深めていく必要があると思う。 たち国民にとって分かりやすい形で議 こと、支出の配分を改めること等、私 算を見直してもっと支出額を抑制する 方が重要な問題であって、国の支出予 は税金の集め方よりも税金の使い道の いように感じられて仕方がない。本来 支出面についての議論の広まりが少な ら多くの税金を集められるかという税 上げ問題であったり、一体どうやった 内容が多く、景気の停滞によって法人 上げられている税金の話題や政治家が 新聞やテレビなどのマスコミで取り

の在り方についてもっと真剣に考える するためには、私たち国民自身が税金 今よりも日本での暮らし向きを良く

たちが使っている教科書代等全てが税 校の水道光熱費、先生方の人件費、私 の建築費や机・椅子などの設備費、学 用、例えば学校を運営するための施設

> も税金についてもっと勉強していきた とがない社会を作るために、これから して遠い将来に向けて不安を感じるこ 上の高齢者の人たちが安心して暮らせ 時、若い世代の子供たちや六十五歳以 切であると思う。中学生の私たちが大 も多くの人に参加してもらうことが大 議論の場をもっと広めていって一人で こと、議論することが重要だと思うし、 る社会を築くことが出来るように、そ 人になって税金を納める立場になった

子供手当てについて

京都市立上京中学校 唯

希

ので、私には「税を納めている」とい す。しかし、価格に上乗せされている 必ず五パーセントの消費税がかかりま るのは「消費税」です。買い物をする時、 う感覚がありませんでした。 私が「税」と聞いて一番思い浮かべ

話題になりました。 も支給されるとあって、友達の中でも が支給されました。中学三年の私達に ところが、今年六月に「子供手当て_

まで税に無関心だった私ですが、月 てうれしくなりました。 に使うのか、親が管理するのか。今 万三千円のお小遣いが増えるとあっ 現金で入るのか。いつ入るのか、何

> 持ちで一杯でした。 入ったのです。「ラッキー」という気 からね、と言われていた自転車が手に を買うことにしました。高校に入って の子供手当てで、私は変速付き自転車 と、言う訳で、六月に入った二ヶ月分 使ったらええと思う。」と言いました。 希に入ったお金やし、唯希のために 早速、母に聞いてみました。母は「

ものでした。 を作るために使ってほしい。」という が、安心して子供を預けて働ける環境 支給されるより、幼い子供を持つ母親 りました。その意見の大半は「現金で は「ラッキー」とは少し違うものがあ インタビューを受けていた親達の反応 ところが、テレビのニュース番組で、

思えました。 と思っていた自分が、少し恥ずかしく 現金がもらえるのだから「ラッキー」

う。」と。橋下知事には七人の子供が れば、所得制限をかけるべきだと思 いて、支給額は十八万二千円になりま ていました。「僕らぐらいの収入があ また、橋下知事がこんなことを言

は使えないと思います。 うしかなく、とても子供個人のために 金がないと、子供手当ては生活費に使 い家庭では、その価値が違います。お 言っても、収入の多い家庭とそうでな 同じ子供一人、月額一万三千円と

を必要とする家庭の子供達に支給され だから、子供手当ては、本当にお金

のも一案でしょう。るべきで、それには所得制限を設ける

みんなの税金だから、本当に必要なの仕方には、まだまだ工夫が必要です。めて「税」について考えました。めて「税」について考えました。

われるべきだと思いました。くらせる世の中になるよう、税金は使そして、子供やお年寄りが安心して

と思います。

時に、必要な人のために使ってほしい

祝金に ついて

長浜市立高月中学校

三年大橋。まり子

私の通学路にある道路、橋、信号、私の通学路にある道路、橋、信号、根下道。学校にある教科書、教室、黒地下道。学校にある教科書、教室、黒地下道。学校にある教科書、教室、黒地下道。学校にある教科書、教室、黒地下道。学校にある教科書、教室、黒地下道。学校にある道路、橋、信号、私の通学路にある道路、橋、信号、私の通学路にある道路、橋、信号、

税金は私たちの生活の中でたくさんのいイメージがあったからです。しかし、ら、自分の収入が減らされるという悪いい印象をもちませんでした。なぜないい印象をもちませんでした。なぜなりまでの私は、税金と聞いてあまり

ことに使われていると知ってから、税金に対する見方が少し変わってきました。そんな中、ひとつひっかかることも知りました。それは納税の義務が定められているのに、税金を払わない人でも道路を通ることができ、税金を払わない人でも道路を通ることができ、税金を払わない人でも道路を通ることができが、税金を払わない人でも道路を通ることがでもが、税金を払わない人の子供でも教科書が無償でもらえるということです。私はおかしいなと思いました。一部の私はおかしいなと思いました。一部の私はおかしいなと思いました。一部の私はおかしいなと思いました。一部の私はおかしいなと思いました。一部の私はおかしいなと思いました。

ひとつめは最近話題になっている 対費税を十パーセントに上げることに、必ずくっついてくる税金を払わない人 でも、必ず払うことになるので、みん でも、必ず払うことになるので、みん でも、必ず払うことになるので、みん す。これはどんなに税金を払わない人 でも、必ず払うことになるので、みん ながみんなのためにという実現につな ながみんなのためにという実現につな ながみんなのためにという実現につな でも、必ず払うことになるので、みん す。これはどんなに税金を払わない人 でも、必ず払うことになるので、 ながみんなのためにという実現につな でも、必ず払うことになるので、 ながみんなのためにという実現につな でも、必ず払うことになるのです。 るたつめは最近話題になっている あたつめは一人一人が税金を払わな

本を支えているという誇りをもったらく、税金を払うことによって自分が日れるという損した考えをもつのではなです。私のお母さんは、給料を減らさければいけないという意識をもつこと

現代の日本は消費税と給料にかかる現代の日本は消費税と給料にかかるこそ、それらを払うことを誇りにからこそ、それらを払うことを誇りにからこそ、それらを払うことを誇りにからこそ、それらを払うことが多いです。だるが支えているんだ!」とあなたもを私が支えているんだ!」とあなたもながする。

税への意識

高槻市立川西中学校

希

「税金」に対して私達は一般的には

てきるだけ払いたくない、と思っている人が多いように思う。最近で特にそる人が多いように思う。最近で特にそる人が多いように思う。最近で特にそのことを感じたのは、菅総理大臣が消でった。テレビの取材に答える有権者だった。テレビの取材に答える有権者だった。テレビの取材に答える有権者だった。テレビの取材に答える有権者だった。テレビの取材に答える有権者だった。テレビの取材に答える有権者だった。テレビの取材に答える有権者だった。テレビの取材に答える自動を表表して、

るとも思う。消極的な発言が多くあるのは当然であ消極的な発言が多くあるのは当然であ員の中でも増税に対しての反対意見・いるからこそ国民の代表である国会議

しかしここで疑問に思うのは増税への世間の反対理由に、「生活が苦しくなる」という意見が比較的多いということ。はたして本当にそうなのだろうか。現在私達の国は多額の借金をかかれ上がっている。その上さらに毎年借金は膨ばならない、ということは誰が考えてはならない、ということは誰が考えてはならない、ということは誰が考えてはならない、ということは難が考えている。

らさないことにつながるので、「最低 償で受けられるサービスの質・数を減 す、つまり税を上げるということは無 そのことを考えると、国の歳入を増や 以上に私達の生活に影響すると思う。 を受けられなくなり経済的な格差は今 それを支払えない人は十分なサービス の出費は増えることとなる。必然的に サービスが有料になるなど、結果私達 なってくる。つまり無償で受けられた 本来当たり前に国から出ているお金に 削られるのは、医療費や教育費などの とで問題を解決しようとすれば、次に るのは止められない。歳出を減らすこ 集めたがそれでもまだまだ借金は増え 無駄な出費を削る事業仕分けも注目を には必要である。歳出を減らすため を増やすことが借金地獄を脱するため 単純に考えると歳出を減らし、歳入 」のレベルが落ちすぎない。

は無いと思う。は無いと思う。問題とされている格差を抑えることにもつながると思う。問題は、いかに低所得者への税の負担を軽くすいかに低所得者への税の負担を軽くすいかに低所得者への税の負担を軽くすいかに低所得者

日本では、私達は自分の国が財政難日本では、私達は自分の国が財政難日本では、私達は自分の国が財政難日本では、私達は自分の国が財政難日本では、私達は自分の国が財政難日本では、私達は自分の国が財政難日本では、私達は自分の国が財政難日本では、私達は自分の国が財政難日本では、私達は自分の国が財政難日本では、私達は自分の国が財政難日本では、私達は自分の国が財政難日本では、私達は自分の国が財政難日本では、私達は自分の国が財政難日本では、私達は自分の国が財政難日本では、私達は自分の国が財政難日本である。

日本は多くの人が増税に反対だと唱日本は多くの人が増税に反対だと唱音の事をふまえ、もっと日本といい国の借金と、自分達の受けているるべきだと思う。借金は膨らむほど返るべきだと思う。借金は膨らむほど返国からの事をふまえ、もっと日本という国は税を払うことに対する意識を変えるべきだ。

私たちの生活と税金

三年中田愛子

また電気つけっぱなし・・・と感じ

まったち子供に勉強や手伝いすることを口たち子供に勉強や手伝いすることを口たち子供に勉強や手伝いすりこれでもかというくらい、食後の食器洗いで水を電気をつけたままでいたりこれでもかというくらい、食後の食器洗いで水を出っては平気でいるようです。私が家庭のては平気でいるようです。私が家庭のすったち子供に勉強や手伝いすることに対したち子供に勉強や手伝いするととがよくあります。私の母は、私ることがよくあります。私の母は、私ることがよくあります。私の母は、私ることがよくあります。私の母は、私ることがよくあります。私の母は、私ることがよくあります。

といってもたくさんの種類があり、国 来超高齢化社会となり、 ではないので、特定の使い道で使われ 払う5%の消費税です。この消費税と お小遣いで商品を買うときに、必ず支 税・地方税に分かれて、直接税・間接 てはいないそうです。日本では近い将 調べてみました。消費税は現在目的税 いうのがどのように使われているのか ですが、たぶん身近なものであれば、 税金を納めているという実感はないの 税の違いもあります。私たち中学生は ているのが「税金」です。一言に税金 その費用をみんなで出し合い、負担し す。そのためには多くの費用が必要で、 たり、公共のサービスを提供していま 人では出来ない様々な公共の仕事をし ために国や都道府県、市区町村では個 私たちが健康で文化的な生活を送る ひとりのお年

> ています。 ればならない時代がもうすでに始まっ寄りを何人もの若い人たちで支えなけ

ならないことだと思います。
は、「健康で豊かな生活」を実現するが、「健康で豊かな生活」を実現するがった消費税が使われるのであれる。

私が住む三木市で、今年中学生以下の子供の医療費が無料になるという通の子供の医療費が無料になるという通い方に病院へ出向くことが多く、医療費無に病院へ出向くことが多く、医療費無に病院へ出向くことが多く、医療費無に税金が広く公平に生活に密着したとに税金が広く公平に生活に密着したとに税金が広く公平に生活に密着したとに税金が広く公平に生活に密着したとに税金が広く公平に生活に密着したとに税金が広く公平に生活に密着したとに税金が広く公平に生活に密着したという通います。

大豊かな暮らしを目指したいです。
大島山をもって自らの問題としてとらら関心をもって自らの問題としてとらら関心をもって自らの問題としてとらら関心をもって自らの問題としてとらら関心をもって自らの問題としてとらら関心をもって自らの問題としてとらら関心をもって自らの問題としてとらら関心をもって自らの問題としてとらら関心をもって自らの問題としてといる。

負担する税金」「みんなで

三年久 保 直 尼崎市立武庫東中学校

三年久保直樹

その父が、「最近は、大人も周りのら言われた言葉です。い。」僕が中学校に入学した時に父かことを考えて責任を持って行動しなさことを考えて責任を持って行動しなさ

記事を見てのことです。あります。それは、新聞やニュースになあ。」とよく夕飯の時に話すことがな惑。」とよく「動するようになった迷惑を考えずに行動するようになった

いていることです。
との内容は、救急車を大した怪我ではないのに呼んで、重症の人達を救えるないのに限ざっていたスプレー缶が爆発がまに混ざっていたスプレー缶が爆発が、生をかったことやゴミの分別をせず、生なかったことです。

と僕は思います。と僕は思います。

の被害を受けました。震災では自宅が成七年一月に発生した阪神淡路大震災候の祖父は、神戸に住んでいて、平

風呂を沸かしてくれたそうです。震災 たと振り返って話してくれました。 もに癒すことができ、元気を取り戻し いたので、久しぶりのお風呂で心身と お風呂に入って一日の疲れを落として 風呂が大好きで仕事が終わると毎日、 後、初めてのお風呂、元々、祖父はお 達が学校に来て、屋外用のテントでお も疲れきっていたときに、自衛隊の人 ずっと眠れない日々が続いて、体も心 クとこれからどうしようという不安で ていました。避難所では、震災のショッ 時、近くの小学校で避難所生活を送っ のときのことは多く語りませんが、当 く亡くなったと聞きました。祖父はそ 全壊し、震災と火災の影響で友人が多

たないと改めて感じました。 税金がなければ、僕達の生活は成り立 用はすべて税金で補われているので、 社会福祉関係、公共サービスなどの費 公園の整備、学校の建設・運営や医療・ 受けているサービス、例えば、道路・ 達が普段気付かず、当たり前のように 金が使われているなと思いました。僕 知っていたので、色々な所で僕達の税 の税金で成りたっていることを僕は れたのは自衛隊の人達でこの人達は国 このときに祖父の心と体を助けてく

てくださいという気持ち、それを受け て稼いだお金だからみんなの役に立て 思います。納税をするときは、苦労し るようにという気持ちが入っていると 僕は、税金には心がこもっていると 使う方もみんなが安心して暮らせ

> 行動していきましょう。 てはじめてみんなで負担する税金が役 は、僕達も心を通わせ、責任を持って 立つのです。なので心の通った税金に 思います。お互いの気持ちが通じ合っ

子供手当てと税金

生駒市立生駒中学校 城 晴 菜

しく調べてみることにした。 の税金が使われていることを知り、詳 が支給された。私はこの制度に、多く 育している世帯に、初めて子供手当て 今年の六月、中学卒業前の子供を養

くなっているため、その数を増やし、 目的に始まったものである。 社会全体で子育てを支えていくことを 国の宝とも言われる子供達が年々少な 子供手当てとは、日本の将来を担う、

当て創設に伴い扶養控除が廃止された をもらっている家族だけが支払ってい がいかず、税金の無駄だと考えた人も た。だからきっと、政府の政策に納得 なり、より負担が大きくなってしまっ ため、この対象に外れた家庭は増税と 大切な税金である。そのうえ、子供手 るのではない。国民全員が納めている その財源である税金は、子供手当て

で発言をしているだけではないだろう しかしその人達は、ただ個人の損得

> たのかもしれない。 家庭だったら、同じような感情を持っ か。確かに、もし私が条件から外れた

ていくのは、仕方ないことなのかもし ぞれの立場によって、感じ方が変わっ だろうか。 ることは、とても難しいことではない れない。税金を無駄に使うなといって はなく、そうでなければ無駄、とそれ も、どれが本当の無駄なのかを判断す える形で自分に役立っていれば無駄で このように、払った税金が、目に見

はないかと思う。 によって、国民の納得を得られるので 償化など、目に見える政策をすること 支援の内容を見直すべきだと思う。私 く、国民全員が国の将来について考え、 個人の損得だけで判断するのではな だと思う。私達はこの問題について、 きっとこの政策自体に問題があるから 供手当てに不満を持つ人が多いのは、 は、保育所の増設や、学校給食費の無 現在の、現金で支給されるという子

率を低く定めるなど、工夫もされてい が少ない。それは、政府が社会保障を は高くても、生活必需品に対しての税 いるからであろう。他にも、基本税率 充実させ、税金をより国民へ役立てて い。しかし、日本と違って人々の反発 ヨーロッパ諸国は、比較的税金が高

をしている。これは一人あたり、 か。現在の日本は、約九百兆円の借金 それに対して、日本はどうであろう 約

> 私はそう思う。 ることができる社会であってほしい 立って、税金のありがたさを直接感じ にあるものではない。私達の生活に役 では、国民の支持は得られないと思う。 税金がただ借金の返済に使われるだけ るを得ないだろう。その時に、大切な る。この状況では、いずれ増税をせざ 七百八万円の借金をしていることにな 税金は本来私達の生活を苦しめる為

あっていきたい。 税金に対してもっと関心を持ち、向き る「希望」となるよう、私達中学生も そして、税金が国の未来を明るくす

子どもをとりまく税金

奈良市立京西中学校

三年

文

きないよね?」と思いました。 ないから産まない夫婦を、国は区別で しくてもできない夫婦、子どもが要ら …」とも言います。私は「子どもが欲 もが無い家より税金を安くして欲しい の子どもを育てているのだから、子ど 貢献しているね」と話します。「三人 ど、我が家は子どもが三人いて、国に は少子高齢化問題と言われているけ 兄妹です。父は、「日本の一番の不安 私には大学生の兄が二人おり、三人

度ができ、中学生以下の子ども一人に そんな中、今年「子ども手当」の制

注意されました。 注意されました。私は中学三年生なのとになりました。私は中学三年生なので、「私も一年だけ、もらえるから良とになりました。私は中学三年生なのとになりました。私は中学三年生なのとになりました。

ました。
ました。
ました。

国の予算は、税金です。つまり、将上の予算が必要となるそうです。 当は国民や企業から、国庫債が、今、国は国民や企業から、国庫債が、今、国は国民や企業から、国庫債が、今、国は国民や企業から、国庫債が、さらに国は借金をしないと、支給ら、さらに国は借金をしないと、支給ら、さらに国は借金をしないと、大会に国は借金をしないと、年に五兆円以子ども手当のために、年に五兆円以子ども手当のために、年に五兆円以子ども手当のために、年に五兆円以子ども手当のために、年に五兆円以

毎日の食料品と宝石が同じ税率という毎日の食料品と宝石が同じ税率ということになります。何か変です。 このような多くの借金をかかえ、少子高齢化が進む今、国の財布を預かっている人たちが、消費税を上げることでおる人たちが、消費税を上げることである人たちが、消費税を上げることがし、私は「全ての商品に一律の消しかし、私は「全ての商品に一律の消しかし、私は「全ての商品に一律の消費税率では…」と思います。例えば、少子の食料品と宝石が同じ税率という

で良いとは思えません。

商品によって税率を分けることは、商品によって税率を分けることが、必要を、みんなで議論することが税金のとを、みんなで議論することが税金のとを、みんなで議論することが税金のとを、みんなで議論することが形金のとを、みんなで議論することが形金のとを、みんなで議論することが税金のとを、みんなで議論することが形金のとを、みんなで議論することが形金のとを、みんなで議論することがあるとであるはずです。

「在宅介護で知った税」

三年 木 下 弘かつらぎ町立妙寺中学校

也

に供えた。精霊棚を用意することも手日に仏壇の前に準備してあった精霊棚に寄りご先祖の塔婆をいただき、前のてお墓掃除をした。高野槙の花を供えてお墓掃除をした。高野槙の花を供えないた。大汗をかいて心をこめ基にありご先祖の霊をお迎えするために家族とお墓にまた。

写真だった。 る。一年七ヶ月前に亡くなった祖父のる。一年七ヶ月前に亡くなった祖父のくれた。小さな笑顔がこちらを見てい伝ったが難しいことは祖母や母がして

私が生まれた時には祖父は足が不自由で杖をついていた。大きくなるにつれてわかったことがある。祖母や父母は祖父の手足となり在宅介護をしていた。祖父は在宅介護を望み家族はそのとをしていた。しかし祖父の体はそれとをしていた。しかし祖父の体はそれとをしていた。しかし祖父の体はそれは毎日毎日祖父の介護をした。月日はあるごとに弱っていった。それでも家族は毎日毎日祖父の介護をした。月日はあれば中学生になった。十五年後、流れ私は中学生になった。十五年後、流れ私は中学生になった。

ロープ、電動ベッドになった。もうそ ある。亡くなった後にそれらの介護用 は祖父の生きた証や、家族の思い出が は残っていないが、全ての介護用品に では介護用品は手すりくらいしか家に まり家から出られなくなっていた。今 手離せなくなっていた。祖父はもうあ の時には酸素ボンベや酸素濃縮装置が かった。やがて介護用品が車椅子、ス の話をしてくれ話題がたえることはな の車で出かけ、家族全員で行けてとて 呂椅子、電動三輪車など。外出も普通 土地にまつわる歴史や、自分の若い頃 も楽しかった。行く先々で祖父はその たころは、杖、手すり、介護用のお風 な介護用品が有った。杖をつきはじめ 祖父の介護生活のまわりには、様々

> だと知った。 品は介護保険でリースされていたもの

あるかも知れない」と。 的な税制を変えることを考える必要が 手くバランスをとるかだ。しかし根本 今度は老人や病気の人が困る。どう上 る。ひとりひとりの負担が増え、若い れる若い人が少なくなり少子化してい がかかり、またその費用を負担してく りより医療、福祉、年金、介護に費用 説明をしてくれた。「高齢化社会にな た。とても身近に感じた。父はこんな らますます重要になってくる。」と。 なわれているから税金のことはこれ 来なかった。これも多くは税金でまか なんだ。この制度がなければとても出 介護保険などの社会福祉が進んだから できたのは、介護用品が進化したのと 人が困る。社会福祉の予算を減らせば 私にとっては初めて知ったことだっ 父は言った「十五年間の在宅介護

ながるように。 に、そしてその税金が素敵な未来につだと思う。国民が少しづつ誰かのためだと思う。国民が少しづつ誰かのために、そしてその税金が素敵な未来についる。

「身近に感じた税」

防府市立牟礼中学校

三年 徳本 有一華

私の祖父は年金生活をしています。

なわれていることを知りました。
国が負担してくれ、それは税金でまかました。ある一定額を超えた治療費はました。ある一定額を超えた治療費はがあって本当に良かった」と言ってい

私は今まで税について考えたこともない時代になっているそうです。
私は今まで税について、税金がどれだけ大助けられたことで、税金がどれだけ大知りたいと思い調べてみました。そました。そして、もっと税についてました。そして、国の収入である歳入の約ちすると、国の収入である歳入の約ちすると、国の収入である歳入の約は、私達が納めた税金によるといいて、いくらあっても足りに使われていて、いくらあっても足りない時代になっているそうです。

その背景には、少子高齢化が大きな 問題になっています。将来の働き手と なる子どもの出生率は年々低下してい 大を働き手が三·六人で支えている状 人を働き手が三·六人で支えている状 態です。二〇四〇年には、一·四人で きえることになり、働き手の負担は二 支えることになり、働き手の負担は二 としてこの問題を考えていかなければ としてこの問題を考えていかなければ

です。です。とれもお金に困っているのあります。それもお金に困っているのあります。それもお金に困っているのりする人がいるとテレビで観たことがなのに、税金を滞納したり脱税した

私達は、当たり前と思って生活して、私達は、当たり前と思って生活しなったり前の義務です。私が学いることがたくさんあります。私が学で通い、教科書をもらい、イスに座った。通い、教科書をもらい、イスに座ったり前の義務です。

す。 私もきちんと納めていこうと思いまめる税金によって守られているので、 かな生活や安全は、国民一人一人が納 かな生活や安全は、国民一人のので、 なとれいる立場になります。私達の豊 をして、いつか私も社会人となり税

「税金について考えた」

三年加藤里菜 成島市立中広中学校

ていなかった。
き上げるのか今までの私には納得できけないのか、どうして今後消費税を引けないのか、どうして今後消費税を引

ずつ変わっていった。 る言葉で、私の中での税の存在が少し そんな時、社会の授業での先生のあ

ある日の社会の授業で、先生に教科ある日の社会の授業で、先生に教科を見るように指示されたから見てみると、教科書が無償で支給さら見てみると、教科書が無償で支給さいた。それから家に帰ってパソコンで詳しく税について調べてみた。すると、私達が医療費を3割しか負担しなくていいのも、救急車を無料で呼ぶことがいいのも、救急車を無料で呼ぶことができるのも、すべて私達国民が税を納めているからなのだと知った。

とばかり考えていた。側しか知らないのに自分が損しているたら物がもっと安く買えるのにだとかたれなのに以前の私は、税がなかっ

となると私の生活も苦しくなるし、国整備代などを税をなくすかわりに払うを全額負担することになり、公共物のを全額負担することになり、公共物のながのがら五十円ほどで済むけど医療費払が普段買い物をするときに納めて

できるのも税のおかげなのだ。も信号機、ガードレール、道路などのも信号機、ガードレール、道路などの国民の税金が使われてる便利なものがたくさんある。ゴミの処理にだって税たくさんある。当段何気なく行く街の中にくだろう。普段何気なく行く街の中に民全体としての生活も苦しくなってい

る大人になりたい。

は、将来進んで税を納めることのできる。でいくという事をしっかりと理解なっていくという事をしっかりと理解なっていくとによって国民全員の生活を納めることによって国民全員の生活を対した。

にも、なくてはならないものだ。は、今後明るい未来を築いていくためいく姿勢を示す事が必要だろう。税める事を、不満に思わせない、納得のめる事を、不満に思わせない、納得の

に人事だと思わずに私もできるだけ税だからまずは、未来を輝かせるため

と思う。 族や身近な近所の人へと伝えていこう について理解し、税の良いところを家

税金とくらし

三年 梶谷 奈央

夏休みのある日、お盆休みで帰って夏休みのある日、お盆休みで帰っていいよね。」と言いました。私は以前の道場がどんな感じだった。私は以前の道場がどんな感じだった。私は以前の道場がどんな感じだった。

とには驚きました。続けて伯父は、知っていましたが、道場がなかったこ昔の校舎が木造だったということは一時の校舎が木造だったああ。」の上で練習していたんだよ。それがの上で練習していたときいうことは、柔道場はなくて、体育館のステーは、柔道場はなくて、体育館のステーは、柔道場はなくて、体育館のステーは、柔道場はなくで、体育館のステーは、柔道場はないでは、

納める税金によって支えている、なん知っていましたが、道場がなかったから、総体も警察署の道場でやってたら、総体も警察署の道場でやってたんだ。君らの部活動も、義務教育のできるんだ。知ってた?」私は学校に道場があることや、体育組は学校に道場があることや、体育組は学校に道場があることや、体育がましたが、部活動もたくさんの人がある税金によって支えている、なん物める税金によって支えている、なん物める税金によって支えている、なん物める税金によって支えている、なん物める税金によって支えている、なん

と思います。 と思います。 と思いません。こ 国総体の宿泊費も払っていません。こ 上競技場などの使用料や、県総体・四 上競技場などの使用料や、県総体・四 たび、総体のときの体育館や球場・陸 て思いもしませんでした。言われてみ

立っている」このことはとても誇らし 生懸命働いて稼いだお金が社会の役に い大人もいるような気がします。「一 ちゃんと役に立っているな。」と納得 ました。私たちが頑張っている姿を と思います。感謝の気持ちを忘れずに 金を納めてくれた人たちに申し訳ない えてほしくないです。 いことだと思うので、いいかげんに考 われ、何の役に立っているのか知らな し、自分の納めた税金がどのように使 してもらわなければなりません。しか みた大人の人たちが、「納めた税金が が私たち中学生の義務の一つだと考え 何事にも一生懸命取り組むこと、それ たずに当たり前のように使っては、税 義務です。しかし、感謝の気持ちを持 の大切さを感じました。納税は国民の 租税教室と伯父の話を聞いて、税金

から少しずつ税金について考え、将来の暮らしに役立つ施設を作ったり、いのれるなサービスを提供したりするのが税金ということはなんとなく分かっないました。しかし、毎日の生活で税が税金ということはなんとなく分かっなの使われ方への意識は低いと思います。今回の課題をきっかけに、税金について考えることができました。これから少しずつ税金について考え、将来の暮らしに役立つ施設を作ったり、いの暮らしに役立つ施設を作ったり、いの暮らしに役立つ施設を作ったり、

う、きちんと納税しようと思いました。は私たちが社会のために役に立てるよ

税について

三年酒 見悠 平久留米市立三潴中学校

朝起きて家族と交わす「おはよう」朝起きて家族と交わす「おはよう」の言葉いつもの毎日の始まりです。蛇われば下水へと消えていきます。家をわれば下水へと消えていきます。家をわれば下水へと消えていきます。家をおっていたゴミ箱のゴミも、いつも安全に整備され、町中で何気ないっも安全に整備され、町中で何気ないった営み。最近国内外で地震や大高などの天災が発生しています。誰が幸にも被災された方々を救助したり、幸にも被災された方々を救助したり、またその後の復興や生活を支援するのまたその後の復興や生活を支援するのまたその後の復興や生活を支援するのまたその後の復興や生活を支援するのまたその後の復興や生活を支援するのまた。

最近、税金についてテレビや新聞で最近、やしまじくなりました。感じるのは、マスコうになりました。感じるのは、マスコうになりました。感じるのは、マスコーでとです。恐らく税金に大部分は皆のことです。ひかし、ほんの一部分なのかもしために大切に使われていると思いまために大切に使われていると思います。しかし、ほんの一部分なのかもしために大切に使われていると思います。しかし、ほんの一部分なのは無駄使いや不正が絶えないことに、少し悲しくなりが、働いてお金をくはまだ中学生ですが、働いてお金をくはまだ中学生ですが、働いてお金をくはまだ中学生ですが、働いてお金をくはまだ中学生ですが、働いてお金をくはまだ中学生ですが、働いてお金をくはまだ中学生ですが、働いてお金をくはまだ中学生ですが、働いてお金をくはまだ中学生ですが、

なべことの大変さは、父や母の姿を見てわかります。いわばそのお金は人間で見金の血と汗の結晶と言っても過言ではありません。こうしたお金ですから、もし税金として納められたのなら、すべて生きた使い方をしてほしいと考えるのは当然です。だからこうした不正にがして、皆が厳しい目で見るのも当然がして、皆が厳しい目で見るのも当然というという。

ただし、気をつければならないのは、ただし、気をつければならないのは、こうした報道だけを見て、すべて税金が無駄に使われていると錯覚し、税金を納税を逃がれていると、テレビで報と納税を逃がれていると、テレビで報と納税を逃がれていると、テレビで報と納税を逃がれていると、テレビで報されているのを見ました。不正を見されているのが成り立たなくなっては社会そのものが成り立たなくなってしまうと感じました。

をしていきたいと強く思いました。も納める側も子孫たちに恥じない行いも納める側も子孫たちに恥じない行いをがえのない未来のために、使う側がけがえのない未来のために、使う側がはいるという。

当たり前の大切さ

大川市立大川中学校

三年 廣松 雄樹

い子供たちを取材したドキュメンタ先日、僕は学校で世界中の恵まれな

現在、深刻な不況に落ち入っている民障の充実がままなっておらず、家会保障の充実がままなっておらず、ビニー度にも及ぶ気温の中をマンホールの中でじっと耐えている、という内容でした。三日間何も食べておらず、ビニーた。三日間何も食べておらず、ビニーた。三日間何も食べておらず、ビニーた。三日間何も食べておらず、どニーをで、マンホールの中にいるために耳や子。マンホールの中にいるために耳やをするでは、都会のモスクワですら社のでは、なりました。

4 このような映像を見ていく中で、僕

「日本はなんて幸せな国なんだろう。」「日本はなんて幸せな国なんだろう。」「日本はなんて幸せな国なんだろう。」「日本はなんて幸せな国なんだろう。」

す。がことあるごとに払っている税金でがことあるごとに払っているのは僕たち度がしっかりと働いているからです。度がしっかりと働いているからです。

税金を聞くと、

そんなイメージが頭をよぎりますが、「お金を払うときに中途半端。」

あら。」 なんて、なんと素晴らしい制度なんだ がて、それを世の中全体の幸福に使う なんなからほんの少しずつお金を集 僕はロシアの話を聞いて、

不思議です。「内税」の部分が誇らしく見えるからことに使われると思うと、レシートのことに使われると思うと、レシートのとお金の一部が誰かの不幸を取り除くと思うようになりました。自分の払っ

、大に続くことを、僕は願っています。
 とは、世界では当たり前ではないかもとは、世界では当たり前ではないかもの当たり前が僕たちが普段わずらわしいとたり前が僕たちが普段わずらわしいとたり前が僕たちが普段わずらわしいとたり前が僕たちが普段わずらわしいとたり前が僕たちが普段わずらわしいとことも。僕たちが当たり前だと思っていることも。僕たちが当たり前だと思っていることも。僕たちが当たり前だと思っていることは、世界では強力が表した。

私が考えたこと

三年岩水、弥島原市立第三中学校

莉

国民に課せられた「税」とは一体何

うと思います。

単位の金額が、給料から税金として引 働いた尊いお金を、湯水のように使わ るのがバカらしくなってくるような報 やダム建設、真面目に税金を納めてい ディアでは、脱税、横領、無駄な道路 国民の情報源はメディアです。そのメ 多くは税金が何に使われているのか詳 える、ということなのであたりまえと なぜでしょうか。自分からの出費が増 と聞くと不満を言い出す人が多いのは 他の国に比べると税率が低いことが分 私が今まで高いと思っていた税金は、 デンマークやスウェーデンの25%に対 めた「税金」という名の膨大な金額は、 なのか。日本中の約一億人からかき集 も驚きました。税金というものは、こ ます。しかし、父に聞くと年間数十万 になるための投資、だと私は思ってい れたと知り、 うな許し難い税金の無駄遣いが起きて 道が数多くあります。確かに、このよ しく理解していないのだと思います。 言えばそれまでですが、日本の国民の かります。それなのに、税金が上がる し、日本は5%とかなり少ないのです。 かります。税率が高いことで知られる 日本は最も税率が低いということが分 てみました。すると、近隣の国の中で、 は、そう疑問に思い税金について調べ んなにも支払わなければいけないもの かれていることを知り、これにはとて なのでしょうか。みんなが平等に幸せ いるのも事実です。国民が汗水流して 一体何に使われているのだろう。私 それで不満が出ないほう

うに、国民の安心感、自分も社会に貢 となれるよう、 に幸せでいられる日本であるための礎 れからも、この国に住まう国民が永遠 私は日本というこの国が好きです。こ こそが理解していく必要があります。 た。これからの日本を担っていく私達 いかに甘えた考えだったか知りまし だと思っていました。しかしそれは、 め称えた文章を書かせて何がしたいん 納税とはいかに素晴らしいものかと褒 課題として、税についての考えを求め、 についてよく理解できないない子供に ることが、まず第一歩だと思います。 ることがどんなに大切なことかを伝え の努力をし続けるべきです。税を納め る存在であり続けるため、常に最大限 る報道。国は、日本国民の信頼に値す 人の国民にしっかりと分かってもらえ 献しているんだという充実感を一人一 制度が充実しているスウェーデンのよ をまねいているんだと考えます。福祉 した結果が国民の税金に対する不信感 きです。税金の、負の部分ばかり報道 と国民にメディアを通してつたえるべ に人々の暮らしを豊かにするものだ、 金でできているもので、税とは、本当 は国民の汗と涙と努力の結晶である税 け込み、なくてはならないもの。これ 福祉施設など私達の生活にすっかり溶 の周りの公共物、例えば公園、信号機 がおかしいとも思います。しかし、身 私は、この作文を書く以前は、税金 私も知識を深めていこ

学校法人 佐賀学園成穎中学校

ひかる

合ってくれとるんやけんね。」 子どものためにみんながお金を出し 教科書は大事にせんといかんよ。

学校へ対する思いが強い。「勉強した とができなかった。だから、人一倍、 せよ。こがんよか本ももろうて。」 かったけどできんかったとよ。今は幸 どの影響もあり、十分に学校に通うこ を思い出す。祖母は小さい頃、戦争な 小さいころ、祖母が言っていた言葉

うとぞっとする。 毎日が送れなくなるとしたら、そう思 幸せだなあと思う。もし、このような 友だちとのたわいないおしゃべりは楽 れでも、新しい事を知るのは嬉しいし、 と勉強は苦手で、優等生ではない。そ 好きだ。と言っても、どちらかという しくてたまらない。祖母が言う通り、 祖母の言葉が胸に響く。私は学校が

て支えられていると知ったのはついこ 私たちの毎日は、多くの税金によっ

になった。祖父は、脳卒中で倒れ、毎 転がり落ちたりしてよく病院のお世話 中耳炎になったり、ある時は椅子から だったが、それでも風邪をひいたり、 私は、小さいころから体だけは丈夫 のリハビリと病院通い、 生きがい

> ゆとりや生きがいのないさびしい生活 になってしまう。 健康的な生活を送れなくなるし、心の 大きな負担で到底できないであろう。 分で行わなければならないとしたら、 りのための施設通いを欠かせない。 しかし、このようなことを、全部自

と言えると思う。 だ。別の言葉で言うならば、「支えあい なものに使われたり、生活をより豊か んなで負担を分け合い、助け合うもの に送れるようにしたりするために、み 税金はこのような生活に必要不可欠

みんなの心から消えない。 の」「払わされるもの」という気持ちが、 しれないが、どうしても「とられるも 代の年貢などのイメージがあるのかも いる人は少ないのではないか。江戸時 もたれないのか。税金を喜んで払って しかし、税金はなぜいいイメージを

は心が消えている。 いう形で手を離れたとたん、そこから で成り立っているはずなのに、税金と 本来ならば、「支え合う」という心

りするのが、払う側の役目、そして、 みんなに必要か、今と未来を考えなが その大切なお金を、心を持って、何が もったり、できるだけ無駄を省いて大 らばきっとみんなの納得のいく税金に の役目だと思う。そこに、心があるな ら使い道を考えるのが、政治家や行政 切なお金を有効に使われるようにした いう風に使われたのかもっと関心を 大切な「支えあい」のお金が、どう

なると思う。

の教科書が並んでいる。私を作ってき 押入れを開けてみた。小学校六年間

と考え、元気に過ごすことが「支えあ い」の第一歩なのではないだろうか。

支える税金

東市立安岐中学校 二年 桐 賢

翔

国

今年、春から夏にかけて心に残る出

しい声は、子供の僕にでも、農家の人 だけは殺さないでほしい」と訴える悲 家の人々の苦しい表情や、「この種牛 来事が二つあった。 にとって死活問題であることはすぐに されるニュースに映し出された畜産農 疫」である。連日テレビや新聞で報道 一つは、隣県宮崎で発生した「口

書館も中学校からさほど遠くない所に 小遣いを入れることだけだった。 しく生まれ変わったことだ。以前の図 二つ目は、僕の住む町の図書館が新

あり、僕も何度か通ったことはあった

私たちが税金のことについてきちん

いう施設を使えることは本当にありが が、自分の都合にあわせて自由にこう が、僕の日課になったほどだ。誰も てクーラーの効いた図書館に通うの ものだった。暑い夏休み、宿題を抱え それまでのものよりはるかに魅力的な 大きさも蔵書の多さも、明るい空間も が、今回新しくできたものは、建物

を考えるとなくてはならないものなの たりするための基盤となっていること 安全で豊かな生活を維持したり確保し の公共施設や公共サービスは、僕達が サービスの充実もそうである。これら や社会保障、警察や消防などの公共 が整備されているのもそうだし、教育 している。道路や公園など、公共施設 受けることによって毎日安心して暮ら の活動に基づくいろいろなサービスを 団体の活動と深く結びついていて、こ 今日、僕達の生活は、国や地方公共

旧のためにもたくさんの税金が使わ とたくさんの種類の税金を納めること りしているのだそうだ。災害救助や復 で、自らの生活をよりよいものにした しか参加できていないが、大人になる だ。僕自身はまだ消費税というもので 国民は税金という形で負担しているの 支えるものが必要となる。その経費を 体の活動には、やはりそれを経済的に しかし、このような国や地方公共団 いざという時のための保障にした

僕にできることは、高校生がデパート

かできないか」考えた。しかし、今の 消毒液の上を通るたびに、「自分に何

の前で抱えている募金箱に、わずかな

疫の被害。高速道路の出口にまかれた 感じとれた。次々に広がっていく口蹄

ると聞いた。

果たすことは大切なことだと思う。な生活、そして未来の安心もそうなのな生活、そして未来の安心もそうなのだ。だからこそ、日本という同じ社会だ。だからこそ、日本という同じ社会に生きる人間として共同社会を維持するかに自分の義務を自覚し、責任を表している。

子供の僕にはわずかな募金しかでき言いたい。

見えない姿目に見える税の姿と

二年 麦田悠八代市立第一中学校

八代に緑の回廊線が出来る二年前、八代に緑の回廊線が出来る二年前、八代に緑の回廊線が出来る二年前、 は、その場所を通学路として小学校 で進んで歩くことも出来ず、すれた。当時の歩道はとても狭く、友達と た。当時の歩道はとても狭く、友達と た。当時の歩道はとても狭く、友達と は、その場所を通学路として小学校 は、その場所を通学路として小学校

そんな不便だった歩道が、驚く程き

れいで、よく整備された緑の回廊線になり、僕が中一になった時、僕の通学なり、僕が中一になった時、僕の通学や花などの植え込み、水路、ベンチ、や花などの植えられ、通学や通勤、そし外灯まで備えられ、通学や通勤、そしな数歩やジョギングも楽しめるとても安全で便利な道で、市内中心部を回廊線にれいで、よく整備された緑の回廊線に

僕もこの回廊線を通学や友達との が交わせる明るい町になり、目や足の が交わせる明るい町になり、目や足の が交わせる明るい町になり、目や足の 不自由な人も通行できる様になった。 毎日、当然の様にこの道を通り、あ 毎日、当然の様にこの道を通り、あ の道を作るのにどれ位の費用がかかる のが?と、疑問に思った。

こんなにたくさんの種類の税がある

の健康で豊かな暮らしの源となっている ことを初めて知ったと同時に、一生懸 命働いて税を支払っている人達への感 部の気持ちと、それを大切に工夫して 活用しようという努力の心を将来を担 う僕達が引き継いでいかなければなら ないと痛感した。また税は、この道の 様に、一人では到底出来ない事も、一 人一人の協力でどんな大きな事でも出 来てしまう国の原動力であり、町を明 るくし、人の心にまで潤いをもたらす。 そう考えると、税は僕が使う教科書、 そう考えると、税は僕が使う教科書、 でが、図書館も僕の夢を実現するため の教育を保障し、応援もしてくれる。 道路や公園、ごみ処理施設なども僕達 道路や公園、ごみ処理施設なども僕達

居に見えない姿がある。 を受ける社会を支える助け合いの輪悪を受ける社会を支える助け合いの輪で、納税者のお陰で社会の機能が働いで、納税者のお陰で社会の機能が働いている。税には、道路や公共施設等の目に見える姿と税が人の心に潤いを与れている。

大人に僕はなりたい。感謝の心と責任感を持って納税できる税金だ。納税の意味を次世代に伝え、互いの幸せのために出し合うお金が

私達の生涯を支える税

三年宫 里春

「消費税を十パーセントに上げよう」「消費税を十パーセントに上げよう」というニュースを最近よく耳にします。私達中学生が支払う最も身近な税は消費税です。商品の価値に十パーセント上乗せした額を支払うことは、私と思っていました。しかし、税金がどと思っていました。しかし、税金がどめように私達の生活を支えているのかのように私達の生活を支えているのかのように私達の生活を支えているのから、私の考えは大きく関すした。

り立っているからだと考えました。 て支える」という互助の精神で国が成 ないのは「国民の生活は国民が協力し 高い税金を納めていることがわかりま 充実した社会生活を送るために非常に も大学生まで無償です。このように、 す。また、生涯医療費が無料で、学費 れ、お年寄りにとって住み良い環境で じ高齢社会ですが、社会保障が完備さ 祉先進国といわれています。日本と同 るのでしょうか。スウェーデンは、福 このような高い税金を納める必要があ 税を納めている国もあります。何故、 パ諸国では、二十五パーセントの消費 たことに、スウェーデンなどヨーロッ 国の税について調べてみました。驚い した。国民が、税に対して不満を抱か まず、私は本やインターネットで外 のか、税のありがたさが身に染みまし おかげで、私達は、どれだけ助かった から感謝しました。この制度があった 私の祖父の命を救ってくれた税に、心 となったのです。その知らせを聞いて、 疾患だと認められ、治療費が全額無償 した。そのような時、祖父の病が特定 経済的な余裕が無く非常に困っていま れば、命が危ぶまれる状態でしたが、 また、私の祖父は重い病気を患い、莫 けているからなのだと実感しました。 送ることができるのは、税の恩恵を受 学校備品など、私が円滑に学校生活を は私達の学校生活です。教科書や机、 に気がつき始めました。最も身近なの 生活も税に大きく支えられていること 大な費用のかかる先端治療を受けなけ スウェーデンの例を受けて、私達の

だという考えに変わりました。 なく、私達の未来につながる投資なの 金を納めることは、負担になるのでは す。税について関心を持ってから、税 の方々のおかげであると感じていま に生きているのは、税金を納める国民 生活を支える制度など、私が現在幸せ 達の教育や年金、医療などの社会福祉、 お世話になっています。将来を担う私 私達は、生まれてから生涯、税金に

国民が協力し合ってお年寄りをサポー 増え、少子化が進むと予想されていま トするという「ゆいまーる」の心で、 す。これから増える社会保障の費用を、 今後、日本の社会は、更に高齢者が

> ることができると思います。国民の幸 ています。 な、立派な大人になりたいと私は考え せを願い、国のために貢献できるよう 一人一人が支え合えば問題を乗り越え

会長賞 受賞作文財団法人日本税務協会

『ありがとうの 気持ちを持って』

札幌市立簾舞中学校 田 菜々花

ウ詰め込む。 定袋の中に、 捨てるには、お金がかかるのよ!」と ミ有料化が始まった。母は、「ゴミを 拾って分別し、ゴミステーションに出 に捨てられているゴミを見つけては、 怒りながら、我が家のゴミが入った指 しているが、昨年七月、札幌市ではゴ 私の母は、 拾ったゴミをギュウギュ 家の前や公園に無造作

だろうか?有料化は、いい気付け薬に かがタダで片付けてくれる、と思って て、結局は市民の税金で賄っていたの なった。無料だった時の処理費用だっ いた今までが少し変だったのではない しても、自分たちが出したゴミを、誰 しかし、ゴミのポイ捨ては論外だと

がるのだ。 として、市民の大きな税金節約につな 約三百七十億円と、年間の維持費約 よる収入は、二十九億円。ゴミの減量 十三億円が不要になると知った。結果 止することができれば、工場の建設費 により、老巧化した篠路清掃工場を廃 百二十四億円。ゴミの指定袋の販売に 札幌のゴミ処理費用は、 昨年度

チョーク一個からピアノ一台~に致る 科書、学校で使っている教材・備品~ 義務」も果たせなくなる。私たちの教 ある「子どもに普通教育を受けさせる の義務である」と。国民がきちんと税 理大臣も「増税」の一言で痛い目に遭っ た。しかし私は習った。「納税は国民 ンタビューも「反対」の大合唱。菅総 金を納めないと、同じく国民の義務で く、ましてや増税ともなると、街頭イ い。「とられるもの」という意識が強 税金というと拒否反応を示す人が多

ちは満足な教育を受けることはでき 流れも滞ってしまう。他にも例えば除 ず、ゴミの収集→処分→リサイクルの の義務を果たしてくれないと、私た ……。働く世代の全ての国民が納税 い。けれど、所得税・住民税・消費税 てしまうのは仕方ないのかもしれな 値があるそうだ。だから感覚的に「税 得た給料には、血の一滴ともいえる価 =とられるもの」という意識になっ まで全て税金で賄われている。 確かに、大人が汗だくで仕事をして

ゴミ処理以上の税金が使われている。 の除雪費用は、約百五十億円。年間の が整っているからだ。札幌市の一年間 生活が出来ているのも、除排雪の設備 は、世界でも類を見ない。この札幌で 百九十万人もの人口を抱えている都 雪。これだけの降雪量がありながら、

たとき、何かが変わるはずだ。 よう。その気持ちがあれば、大人になっ の「ありがとう」の気持ちを持ち続け 方の私だが、今回学んで芽生えた税へ ることだ。今は税金の恩恵を受ける一 態にあるというのは、実は恵まれてい の収入に見合った税金を納められる状 ない。父や母が働いて給料を頂き、そ だ。そのことへの感謝を忘れてはいけ を護るのが、今のゴミ収集のシステム 美箱」と書いたそうだ。正に美しい街 母が子供の頃、ゴミ箱は当て字で「護

町の美しさ 税と並木が生んだ

羽後町立三輪中学校 年 橋

いるのでしょうか。 の並木は誰がどのようにして整備して で注目されている並木道路ですが、そ 緑を増やすのが難しい都市

を調べてみました。この市は海に近く 潮風が強いということで、 僕は東京近郊の、 ある市の並木道 バイパスと

市街地を結ぶ連絡道路に数百メートルに強く、倒木の危険性が少ないというに強く、倒木の危険性が少ないというに強く、倒木の危険性が少ないというに強く、倒木の危険性が少ないというでメリットがあったからです。けれども要なのが松の手入れです。役所から依要なのが松の手入れです。役所から依要なのが松の手入れです。役所から依頼された業者が定期的に手入れをするのですが、そのお金は役所から支払われます。それは市長が払うものでもなく、この市の住民員が払うものでもなく、この市の住民員が払うものでもなく、この市の住民

と結びついています。およびついています。おぶネットワーク」が地域の活性化へめに松の手入れをするという「税金が頼して賃金を支払い、業者が市民のた頼して賃金を対い、業者が市民のだ

並木道路の脇でカフェを開いているを性は、「松が植樹されてからというもの、昼下がりに散歩する人や、夕方もの、昼下がりに散歩する人や、夕方に夕涼みをしに来る人が多く立ち寄るようまた、観光客などが多く立ち寄るように伸びた。税金が公正に使われていることを目の前で見ることができ、安心している。この先も松を手入れしてほしている。この先も松を手入れしてほしている。この先も松を手入れしている

も早く今の状況を抜け出したいという削りに削ってもう限界のようで、一刻急増です。松の木を手入れする予算もとがあるそうです。それは、滞納者のとかし最近、この市で困っていること、喜びの声をあげていました。

気持ちでいっぱいだと声を漏らしてい 気持ちでいっぱいだと声を漏らしてい るにもかかわらず、納めないで豪遊し るにもかかわらず、納めないで豪遊し るにもかかわらず、納めないで豪遊し るにもかかわらず、納めないで豪遊し るにもかかわらず、納めないで豪遊し るにもかかわらず、納めないで豪遊し るにもかかわらず、納めないで豪遊し るにもかかわらず、納めないで るにもかかわらず、納めないで るにもかかわらず、納めないで るにもかかわらず、納めないで るにもかかわらず、納めないで るにもかかわらず、納めないで るにもかかわらず、納めないで るにもかがある があるがあるがしているにも使 しいし、税金は自分たちのためにも使 しいし、税金は自分たちのためにもしてい もれているのだということを、この人

等の住んでいる羽後町は自然が豊かです。並木道路などという立派なものです。並木道路などという立派なものです。並木道路などという立派なものです。並木道路などという立場から考え方に行き着きました。それは「税なことだと思います。今回税金についてあるではないですが、町民が納めた税金にはないですが、町民が納めた税金にはないですが、町民が納めた税金にはないですが、僕は税金についてあるをによって養われる」という立場からをによって養われる」という立場からをによって養われる」という立場からです。ある市では税金で並木を整備していかなければならないと思います。

えます。
さ、そして心の美しさも生み出すと考さ、そして心の美しさも生み出すと考この税金は並木の美しさや町の美し、僕たちのために使われている税金。

と答えた。

税金と私の将来

三年 践 部 晴越谷市立光陽中学校

香

得意ではない。 は、小学生。百分率の計算があまりいくら?三○○円で足りるかな?」

消費税の引き上げが大きな話題となっと少し面倒くさそうに妹は言った。に出来るのにな。」に出来るのにな。」

ら、円ショップは一一○円になっちゃうか円ショップは一一○円になったら、一○○

「引き上げはなし!節約でお願と言う妹の言葉に母は、お小遣いも引き上げてね。」

いしま

にすることなく作る煮物は時に大量にすることなく作る煮物は時に大量がの晩に栄養たっぷりの美味しいおかずに大変身させてしまう。栄養士の資格を毎日の食卓で生かす母を尊敬していおかずの一の食事で大きないができます。 安価で入手した材料を何一つ無駄を毎日の食卓で生かす母を尊敬している。 安価で入手した材料を何一つ無駄を毎日の食卓で生かす母を尊敬している。 資味期限間私の母は節約料理上手だ。 賞味期限間

針についてもメモをとった。 対についてもメモをとった。 対についてもメモをとった。

「子供だと思っていたのに、本当に 類りになるお姉さんになったわね。」 に内での移動にかなり疲れた様子だっ にっまうやく会計の窓口からアナウン た。ようやく会計の窓口からアナウン が手渡された。係の方の、「本日のお が手渡された。係の方の、「本日のお

高齢化社会となり、介護や高齢者の知った。 知った。 原生省からの特定疾患に指定されては厚生省からの特定疾患に指定されて

という言葉に自分の耳を疑い、祖母に

高齢化社会となり、介護や高齢者の高齢化社会となり、介護や高齢者の高齢化社会となり、介護や高齢者のたと実感した。国のとても大切なものだと実感した。国のとても大切なものだと実感した。国のとても大切なものだと実感した。国のとても大切なものだと実感した。国のとても大切なものだと実感した。国のとても大切なものだと実感した。

出来る大人になりたいと思う。と税金が正しく使われているのかとてとが時、自信を持って一票を投じることが治や経済を学び理解し、選挙権を得た治や経済を学び理解し、選挙権を得たと税金が正しく使われているのかとて

教育と税金」

三年 中 寸 以世田谷区立砧中学校

三年中村梨乃

学校で、税金についてのパンフレッ学校で、税金についてのパンフレッキをもらった。興味がわいたのは、一たっている、「教育に使われる税金」についてである。義務教育期間九年間についてである。義務教育期間九年間の公費負担額が、七百八十九万九千円、の公費負担額が、七百八十九万九千円、というのには目を見張った。自分に、一とは今まで考えたこともなく、とてもとは今まで考えたこともなく、とてもとは今まで考えたこともなく、とてもというのパンフレッ学校で、税金についてのパンフレッ学校で、税金についてのパンフレットをもらいた。

思った。 税金で賄われている物が沢山あるとかし、よく考えてみると、身近な所でかん、よく考えてみると、身近な所です給されていることは知っている。し例えば教科書は、税金によって無償で

晴らしいことかということを、改めてへ行き勉強できる。それがどれだけ素対し、私たちは何の心配もなく、学校ず、働かざるをえないそうだ。これに貧しい国では、幼い子供も学校に行け

と思う。税金は色々なことに使われてことだと言っていた。私もその通りだ援してくれるのは、すごくありがたい

思った。さらに、私は来年高校生にな ういったことを思われるように、しっ 実感した。このことが成っているのは、 じめとする色々な事を学び続けたいと してからも、初志を忘れずに勉強をは 税者のおかげである、と。高校に進学 ているということであり、つまり、納 高校無償化は、税金によって成り立っ ような思いしかなかったが、今は違う。 したい、と思った。そのときは、その 思ったからだ。絶対に都立高校に入学 た。なぜなら、お小遣いが多くなると とても驚いた。正直に言うと、嬉しかっ 始めた。このニュースを聞いたときは る。今年度から高校無償化が実施され かりと税金を納めることが重要だと して、自分が大人になったときに、こ し、色々な事を学ぶことが大切だ。そ しとして、私たちは学校へ行き、勉強 べきだと思う。また、その感謝のしる 税金を納めてくれている大人に感謝す 大人のおかげだ。今、苦労して働き

母が、未来の納税者を育てる世帯を応せが、未来の納税者を育てる世帯を応は急げだ。義務教育期間はあと四年もは急げだ。義務教育期間はあと四年もあるので、今、教育に使われる税金の大切さを伝えたいと思う。

た。で、どれも重要だと思うが、教育にいる。どれも重要だと思うが、教育にいる。として、大切なのは使だともいえる。そして、大切なのは使だともいえる。そして、大切なのは使だともいえる。とれも重要だと思うが、教育にいる。どれも重要だと思うが、教育にいる。どれも重要だと思うが、教育にいる。どれも重要だと思うが、教育にいる。

縁の下の力持ちと共に

二年 **谷 山 ゆり香** 津市立西部中学校

魚

調べてみました。 分の身の回りにどんな税があるのかを 税の作文を書くにあたって、私は自

らの税に興味をもちました。 民税というものを払っていることが分 民税というものを払っていることが分 民税というものを払っている品 の母は公務員です。その母の給料

という。 は私の考えている以上の税を払って のです。母が払っているこれらの がは、一体、何に使われているこれらの がは、一体、何に使われている。 のでしょ

うことが、調べて分かりました。他にています。このように校舎を建て直しせん。今、私の学校は校舎を建て直しせん。今、私の学校は校舎を建て直しまがなければこの校舎は存在していままずは私達が利用している校舎。税

に も、学校で使われている水や電気のおいます。科金で支払われています。学生の の本分である勉学。それに必要な教科の できるのも税があるからなのです。

料になるのにな。」
「小学校三年生までなら、治療費が無ると、日が、のでででは、他に税は身の回りでどんな働

とよく私に笑いながら言っていた事をとよく私に笑いながら言っていた事をりました。税金によって、小学校三年りました。税金によって、小学校三年が、調べてみてこの事についても分かが、調べてみてこの事についても分かりました。税金はこのように私達に対してこういった面でも役に立っている人だなぁと税金の働きの大切さがよう

れました。

が私に話して、日本の社会や私達のとが、日本の社会となり、日本を作る力に生活の土台となり、日本を作る力にがある。のようにして、日本の社会や私達ののようにして、日本の社会や私達の

「税金というものは、自覚はされていないけれど、自分達の生活の至る所にないけれど、自分達の生活の至る所に関わり、生活を支えてくれているんだま。いわば「縁の下の力持ち。私はこの言葉に深く共感しました。このような作文を書く機会がなかったら。私はこれていてを書く機会がなかったら。私はこれでいるが、自覚はされているが、自覚はされているが、自覚はされているが、自覚はされているが、自覚はされているが、自覚はされているが、自覚はされているが、自覚はされているが、自覚はされているが、自覚はされているが、自覚はされているが、自覚はない。

払える税はまだ消費税だけですが、こ 少ない力でも私達のこの国を支えてい とよく考え、私も将来この税と共に、 れからも「縁の下の力持ち」の税をもっ 思うと、私はとてもうれしいです。こ の税がどこかで役に立っているのだと 私達の生活を支えているのです。私に によって国を支え、国も税金によって 私はこれからもっと回りに目を向けて てくれる「税金」。この税に感謝して いきたいと思います。私達国民が税金 こんなにも私達の生活や社会を支え

成り立っている」 税金で社会は

宮市立西成中学校

穣

生懸命授業を受けている子供達の様子 の笑顔を見ると、学校ができて本当に ける様子ですが、カンボジアの子供達 ていました。日本の学校でもよく見か が建設されており、きれいな校舎で一 のだそうです。すでにいくつかの学校 け、その売上金を学校の建設費にする 絵を描いて、それをオークションにか やっていました。有名人の方々が各自 校をつくってあげよう」という企画を いる様子など、楽しそうな映像が流れ あるテレビ番組で「カンボジアに学 友達で肩を組みあってはしゃいで

> を与えたい」と言っていました。 性を摘むことがないように教育の機会 勉強をしていなかったことでその可能 る。大人になったとき、子供のころに 意義を「子供達には無限の可能性があ よかったなと思いました。 また、その番組では、学校をつくる

教育を受ける権利があり、ついついぼ 子供達がいることを知りました。 では、学校に通うこともままならない 持ちを忘れがちになりますが、他の国 くたちは学校があることへの感謝の気 で建てられています。また、子供には 義務教育として定められ、学校は税金 日本では子供が学校へ通うことは、

園などです。また、私たちの命を守っ のは、上げたらきりがありません。 も税金が使われています。こうしたも てくれる病院、消防署、警察署などに す。例えば、道路、信号機、水道、公 つくられているものはたくさんありま 日本では、学校のほかにも、税金で

さが身にしみてきます。 について考えてみると、そのありがた みはわかっていましたが、改めて税金 に役立つものに使うという社会の仕組 大勢の方から税金を集め、皆の生活

督の先生に指導していただけます。 ます。夏休みもほぼ毎日学校に行って、 生懸命練習しています。学校には、 ックネットや野球道具があって、監 野球がやりたくても、そこにグラン ぼくは、いま、野球部に所属してい

> がやれる環境をつくっていただいてい 多くの税金によって、ぼくたちは野球

戦では優勝を目指して頑張りたいと思 のでは、納税していただいた方々に申 います。 命練習をして、間もなく行われる新人 し訳ありません。今まで以上に一生懸 いい加減な気持ちで練習をしていた

と胸を張って言えるようにしたいと思 た税金で社会は成り立っているのだ_ ていきたいと思います。そして、いつ して、一生懸命勉強して、身体も鍛え ません。毎日学校に通えることに感謝 きただけでもあんなにいきいきとして います。 か大人になったとき「ぼくたちが納め いました。ぼくたちも、負けていられ カンボジアの子供たちは、学校がで

送るための会費」税は「安心した生活を

神戸市立白川台中学校 郎

たくさんいる。一方、スウェーデンで ことがある。 前のこと」という意識があると聞いた いう考え方が強く、払いたくない人が は、納税は「責任を果たす」「当たり 日本では、税は「とられるもの」と

日本では大昔から、米を税として納

ドや野球道具がなければできません。

取られたという日本の歴史から「とら 金に対するイメージを一層悪くしてい ニュースばかりが報道されることも税 テレビでは「税金の無駄使い」という まったのかもしれない。また、新聞や れるもの」というイメージがついてし その時代の権力者の利益のために奪 に田を耕し、稲を育ててつくった米を めていた。立場の弱い農民が一生懸命

からだと思う。 に使われていることが目に見えている していて、自分達の活動に必要なもの 払っている。それは使い道がはっきり はいないし、僕も何の抵抗もなく支 が、誰もそれに対して文句を言うもの 員は年間二千円の部費を払っている 僕は学校で陸上部に入っている。

おかげでおばあちゃんの生活は、少し たんや。」と教えてくれました。税の ずかな負担で、取り付けることができ が聞くと、「市から補助があるからわ は、結構お金かかったんやろ?」と僕 てきている。「これだけの工事するに 年々、家の中での移動すら困難になっ 農家の家で、ひとりで暮らしていて、 じいちゃんが亡くなってからは、広い 悪く、つえをついて生活している。お た。おばあちゃんは、若い時から足が の段差もなくなっていて、びっくりし まであちこちに手すりが付き、トイレ 家の通路、階段からトイレの中に至る の家に行った時のことだ。家に入ると、 最近久しぶりに母方のおばあちゃん

は楽になったようだ。

僕たちの日常生活に目を向けてみれているのだ。

をおくるための部費や会費のようなもをおくるための部費や会費のようなもりに目がいってしまっていたが、税金のた切さ、心強さが理解できれば、取の大切さ、心強さが理解できれば、取のたるという気持ちになれるのではないという気持ちになれるのではないとないのではないという気持ちになれるのではないという気持ちになれるのではないだという気持ちになれるのではないだというない。

になれるように努力していきたいと思を納め、お互いに支え合う社会の一員をとらず、税のしくみ、使われ方など、税についてもっと積極的に知ろうど、税についてもっと積極的に知ろうとしなければならないと思う。そして、

地球税

三年森口夏帆 広島市立伴中学校

消費税の増税、公立高校の授業料無 消費税の増税、公立高校の授業料無 がない。地球温暖化対策などにも、税 かない。地球温暖化対策などにも、税 かない。地球温暖化対策などにも、税 かない。地球温暖化対策などがあるものが 金を使っていないのだろうか。また、 世界の国でも取り組みはないのだろう か。

様々な疑問を持ち、インターネットで環境保護について調べてみると「環の税金は地球温暖化の原因となる二酸の税金は地球温暖化の原因となる二酸の対るそうだ。私はこの税金を初めて化炭素を出す電気やガソリンなどに課のり、電気などをあまり使わないように意識するとても良いきっかけになるのではないかと興味を持った。

まずこの「環境税」を導入している まずこの「環境税」を導入していると知ったからだ。これらの国は環境問題に熱心に取り組んで いるとは知っていたが、税金にもそんいるとは知っていたが、税金にもそんいるとは知っていたが、税金にもでいる まずこの「環境税」を導入している まずこの「環境税」を導入している まずこの「環境税」を導入している

色々な地域の環境関係の税を調べる。

らないような問題も起こってくるだろ ことにもなるかもしれない。私が分か のせいで多くの生物を絶滅へ追いやる やすくなるかもしれない。さらに人間 洪水や土砂くずれなどの災害が起こり 暑さで新しい病気ができるかもしれな の生活もおびやかされているからだ。 地球温暖化が深刻になってきて、私達 きだと思うようになった。なぜなら、 配っているが、「環境税」を導入して 分別やエアコンの設定温度などに気を い。地球温暖化以外では、森が減ると いし、作物が育たなくなるかもしれな てさらに環境問題に取り組んでいくべ いる地域はたくさんある。私もゴミの に、国内外でも環境問題の対策をして いる国々の事を知って日本も国を挙げ 鳥取県や沖縄県の取り組みのよう

> には「地球税」はどうだろう。 り組んでいけば良い。その新しい税金 のために日本国民全員が、少しずつ取 のために日本国民全員が、少しずつ取 本でも必要になってくると思う。地球 本でも必要になってくると思う。地球 本でも必要になってくると思う。地球

柷について

二年 戦 日いの町立伊野南中学校

三年 織田 紫 前市

いて考えてみたいと思います。の時に話題になった、「消費税」につの時に話題になった、「消費税」について書きている「税金の使い道」について書きている「税金のでので、」に、私私は昨年、この「税の作文」に、私

消費税は、私たち中学生にとっても と、デパートで洋服を買うときも、スー と、デパートで消費税を払わなければなら 子どもでも消費税を払わなければなら ないからです。先日コンビニで買った ないからです。先日コンビニで買った ないからです。先日コンビニで買った ないからです。先日コンビニで買った ないからです。 た日コンビニで買った があり ではいけません。 消費税は一九八八 年に税率三パーセントに引き上げ られたそうです。 私の父は一九六八年 ちれたそうです。 私の父は一九六八年 もれたそうです。 もの父は一九六八年 をまれで、最初消費税が導入されたと 生まれで、最初消費税が導入されたと をは、定価に一・○三掛けてお金を払

分になることもあったそうです。ければならないので、何か損をした気す。また、定価より多くお金を払わなうことが慣れなくて大変だったそうで

を引き上げようという案が出ているそ 問題になっています。そのため消費税 増大し、これの安定した財源の確保が 齢化の社会となり、特に社会保障費が 絶対に必要です。現在の日本は少子高 使うことのできる税金を増やすことが 活していくことを考えると、それらに じます。けれど、私たちが安心して生 て、百二十円払うのはすごく負担に感 嫌だなあと思います。百円の物を買っ 考えれば、今より税率が上がることは なっています。自分の今のことだけで かということが政界で大きな議論と して今、この税率を引き上げるかどう うことが当たり前になっています。そ 今私たちは物を買ったら消費税を払

二○○九年夏の衆議院選挙で、民主 二○○九年夏の衆議院選挙で、民主 完は「消費税増税論を四年間封印する」 というマニフェストで勝利しました。 というマニフェストで勝利しました。 をが上がることを望んでいないことが かります。けれども、しっかりとし た議論をして、私たち中学生にもわか りやすく「なぜ消費税率を引き上げな ければならないのか、引き上げること によってどれだけの税収が確保され、 それらが何に使われるのか」というこ とを示してもらえれば、頭から反対す とを示してもらえれば、頭から反対す

になれないと思います。本当に大切な議論を後回しにするようか。選挙に勝つことだけを大切にして、か。

たいと思います。れからも税金のことに関心を持っていたに無くてはならない物です。私はこしに無くてはならない物です。私はこ

支えである税金私の暮らしの

宮若市立宮田光陵中学校

三年竹田 萌香

和れているか知っていますか。の生活は税金によって支えられているの生活は税金によって支えられているの生活は税金によって支えられているが私達のまわりのどのようなことだと思います。なぜなら、私達なしとだと思います。なぜなら、私達ない、税を納めることはとても大事

例えば、私達が毎日通っている中学 を受けることにも、税金によって私達が勉強をするのにとても必要な もとへ普及されています。私達が教育 もとへ普及されています。私達が教育 もとへ普及されています。私達が教育 を受けることにも、税金は使われてい るのです。また、私達の生活の安全を るのです。また、私達の生活の安全を るのです。また、私達の生活の安全を るのです。また、私達の生活の安全を るのです。また、私達の生活の安全を るのです。また、私達の生活の安全を るのです。また、私達の生活の安全を るのです。また、私達の生活の安全を るのです。また、私達が毎日通っている中学

いうことを考えさせられました。教し税金がなかったらどうなるのかとこれらのことを知って、私は、も

改めて分かります。ふつうに暮らして もいなくなってしまいます。そうなる るからです。日常生活に欠かせないこ 立っている、警察署、消防署、医療や とだけに注意がいってしまいますが 考えると、税金は、国にとっても、私 ころか、国に、人が住める環境ではな と、安心できる生活ができなくなるど の災害から、人命や財産などを守る人 がいなくなり、また、地震や火事など の防止や、交通安全の確保に当たる人 れらの機関や施設がなくなると、犯罪 福祉の充実、交通機関の整備などがあ らせているのは、税金によって成り ります。また、私達が今、安心して暮 がなければ、この費用は自己負担とな 莫大な費用がかかります。もし、税金 だけでも、七百八十九万九千円という では、九十五万七千円、高校生では、 様々なことに使われているのです。 実はその税金は、私達の身のまわりの いると、消費税などで、税金を払うこ 達国民にとっても大切なお金なんだと くなってしまいます。これらのことを 九十四万六千円です。義務教育の費用 人当たり、八十三万八千円、中学生 育に使われる税金では、小学生は一 「税金を納める」ということは、「社

めにできることなんか何もない」と思す。「たった5%の消費税で社会のた納めていかなければならないと思いま国民の一人として、税金に誇りをもち、います。なので、大人も、子どもも、会に貢献する」ということだと私は思

う人もいると思います。しかし、たっ た5%でも、「塵も積もれば山となる」 て見れば大きなものになるのです。 年間で十兆円ほどにもなるといいます。そのお金が、私達の今ある豊かな 生活をつくり上げているのです。テレ ビなどのニュースを見ていると、「税 ビなどのニュースを見ていると、「税 が、税金はとられているわけではあり が、税金はとられているわけではあり が、税金はとられているわけではあり が、税金はとられているわけではあり が、税金はとられているわけではあり が、税金はとられているわけではあり が、税金はとられているわけではからが、税金はとられる」のではなく、「一 回集められて、私達に返ってくるもの」 だからです。

宮崎市立宮崎北中学校

三年和泉理紗

だった。

でもこの夏休みで体験したことは、
た。でもこの夏休みで体験したことは、
た。でもこの夏休みで体験したことは、
験勉強一色で過ごすだろうと思ってい

まどった。
私は、夏休み前に、先生から
がいた。

だった。また日頃行くことのない税務かになったものを探し、紹介する企画話を聞くと、税のおかげで地域が豊

べる学習でもあった。署や県庁、市役所に行き税について調

となった。私の中で、税に対する考え ものだから大切に使わなければならな んなのお金でみんなのために作られた ことがわかって、一つ一つの建物はみ この体験学習から、それだけではない ば学校ぐらいしか知らなかった。でも、 今まで税に対して、私の生活に直結す が変わったのもこのときだった。私は 税についてもっと興味を持つきっかけ 建てられたものを使っていたと知り、 知らず知らずのうちに、国や県の税で 私が知っているところばかりだった。 館、改善センター、大淀川学習館など、 写真を撮りに行った。これでは、公民 いと思った。 まず最初の活動は、地域の建て物の 税で建てられたものといえ

思った。
思った。
思った。

い。

ない、中学校生活最後の夏休み、自

なは、中学校生活最後の夏休み、自

思った。

思った。

現の使い道や、税金について深く知

のではないかと考えた。このプロジェ

のではないかと考えた。このプロジェ

のではないかと考えた。このプロジェ

のではないかと考えた。このプロジェ

税金はお年玉

三年 外間 花豊見城中学校

現金で、国に納税しています。産物、現在では消費税や所得税などの前からありました。初めは米や布、特前からありました。初めは米や布、特

給付されるお金です。 総付されるお金です。 を端に低い人達の生活を支援する為、 では、税の資料を読んで社会保障 をいうものを知ったのです。収入が でいうものを知ったのです。収入が では会保障

課税制と言うのだそうです。税金も多く徴収されます。これを累進税金も多く徴収されます。これを累進

だけどきちんと見返りがあるのだと思 ことではなくて、税率が高ければ大変 です。やはり税を納めることは無駄な とんどお金がかからない所もあるそう 中をつくる第一歩になると思います。 ことになりました。税は、平等な世の の授業料が免除され、税金で払われる いました。 安が良く医療制度も充実し、診察にほ の二十五パーセントである代わり、治 てはならないという理由で、公立高校 の所得の違いで子供の将来が決定され る役割を持っています。最近では、 このように、納税は経済格差を縮め 国によっては、税率が日本の約五倍 親

各国の税金について調べていてわたったのですが、他の国では大学までかったのですが、他の国では大学までになって良かったと思っていた私は、になって良かったと思っていた私は、とても驚きました。もちろんそれだけとても驚きました。もちろんそれだけとても驚きました。もちろんそれだけとする多く払わなければならないと思いますが、学費を気にせず自由に高校・大学を選べることは、私達にとっておた学を選べることです。

怜

供達やお年寄りの年金の為に払わなけえたら責任と義務を持って、日本の子を場面で助けてもらった分、成人を迎ま質無償化など、子供の頃はいろいろま質無償化など、子供の頃はいろいろとがよれば、お年玉に似ていると思います。

れるという所でしょうか。は、働き始めたらもらう側からあげるは、働き始めたらもらう側からあげるは、働きないものだからです。お年玉ればならないものだからです。お年玉

表務としてではなく、「自分がして もらったことを次の世代にも、そして 自分がしてもらうであろうことを今の 世代の人にも」という気持ちで納税し ていければ、きっと税を払う意味がよ くわかるのではと思います。私も税金 を払う年齢に達したら、小・中学生の を払う年齢に達したら、小・自分がして を払う年齢に達したら、の世代にも、そして を払う年齢に達したら、の世代にも、そして を払う年齢に達したら、の世代にも、そして を払う年齢に達したら、の世代にも、そして を払う年齢に達したら、の世代にも、そして

理事長賞 受賞作文財団法人大蔵財務協会

税と向き合う

遠別町立遠別中学校

三年中一村 茉祐利

「税金って難しそう。めんどくさそ 「税金って難しそう。めんどくさそ がました。別に知りたいとも思わない。 が おは今まで、税金に対してこんな気 おは今まで、税金に対してこんな気 おっ学生は少なくはないでしょう。 めんどくさそ こんな私を変える小さなでき事が ありました。

ある日私がなにげなく見ていたテレある日私がなにげなく見ていたテレですが、「宗教法人は他の法人よりもですが、「宗教法人は他の法人よりもですが、「宗教法人は他の法人よりもですが、「宗教法人は他の法人よりもにしたとき、他人事とは思えなくなったのです。それは私の家がお寺で、父たのです。それは私の家がお寺で、父は僧侶をしているからです。それは私の家がお寺で、父に世番組では、「宗教法人だけがこんと、祖ととき、他人事とは思えなくなった。それからだんだんと、税金についてもっと知りたいと思うようになってもっと知りたいと思うようになってもっと知りたいと思うようになっていったのです。

その数日後、租税教室が学校で行われ、税務署の方から普段聞けない税金れ、税務署の方から普段聞けない税金れ、税金には私たちが知らなかったたくさんの種類があること、国が背負っている国債が増え続けていることなどです。そしてなぜであるであった、ということに気づかされ、が多かった、ということに気づかされ、が多かった、ということに気づかされ、けなくなったこともっと利金のことを知った、ということに気づかされ、けなくなったことも覚えています。そして「もっともっと税金のことを知った、自分の考えを深めていこう」と決意に、自分の考えを深めていこう」と決意に、自分の考えを深めていこう」と決して、自分の考えを深めていこう」と決して、自分の考えを深めていこう」と決して、自分の考えを深めていこう」と決して、自分の考えを深めていこう」と決して、自分の考えを深めていこう」と決して、自分の考えを深めていることを表して、自分の考えを深めていることを知った。

る」というお話もうかがい、驚きましか納めてくれない人がいて困ってい税務署の方からは、「税金をなかな

た。「ひどい時には直接家に行って取た。「ひどい時には直接家に行って取むないためには、一体何をすれば良いでないと思うし、同年代の子供達にもくないと思うし、同年代の子供達にもくないと思うし、同年代の子供達にもないためには、一体何をすれば良いでないためには、一体何をすれば良いでないためには、一体何をすれば良いでした。

もつことが大切だと思います。 り、考えてみることが大切だと思いま うなんだ」と学び、そこから「私はこ が、例えば今話題になっている、消費 り、考えてみることが大切だと思いま り、考えてみることが大切だと思いま

少子高齢化が進んでいる現代。これから先も子供は減ってしまうと言われなしていくのは私たちなのです。国民を、うらんでしまう人もいるでしょう。の税金で国債をつくってしまった国でも一人ずつが税金について興味をもを、うらんでしまうが税金についるでしょう。の税金で国債をつくってしまうと言われるい未来が待っているはずです。国民ない未来が待っているはずでもった。これからそう信じて、毎日生活してい少子高齢化が進んでいる現代。これからそう信じて、毎日生活している、

当たり前」と税

三年 柴田 知里 秋田市立御野場中学校

当たり前のように使っている教科書。当たり前のように行っている学前になっていることがたくさんあり前になっていることがたくさんありがで、その他にも、私達の生活には当ためで、そのな「当たり前」は、税金によって支えられていることを忘れては

考えてみると、勉強に励み、これから す。しかし、先程の文章のことをよく 勉強があまり好きではないと思いま るのです。私を含め、ほとんどの人は えられて、私達は勉強することができ ち帰らなければいけない日の、あのラ ず、当たり前のように見過ごしていま されているのに、私は深く考えもせ す。その文章はすべての教科書に記載 切に使いましょう。」と書かれていま によって無償で支給されています。大 う皆さんへの期待をこめ、国民の税金 でしょう。そして必ず教科書の裏には、 らっていた教科書は、一体何冊あるの 教育を終えます。九年間、毎年春にも の日本を支えられるように努めること だったのではないでしょうか。税に支 ンドセルやかばんの重さは、税の重み 「この教科書は、これからの日本を担 した。今思えば、全教科の教科書を持 私はあと少しで、九年間の長い義務

「ない」と「これ」の直接引き、こげない」と思います。義務教育を終えようとしている今、自分ができることでうとしている今、自分ができることでないかと思います。義務教育を終えよないかと思います。義務教育を終えよないかと思います。義務教育を終えよで、教科書に使われた税を納めてくれで、教科書に使われた税を納めてくれ

費の面では大変助かりますが、国の支 られています。九年間も義務教育を受 てほしいと思います。 みを感じることができる機会をつくっ 務教育を受ける子供が税金のありがた 支えていることを忘れないように、義 て、これからも「当たり前」を税金で 税金を使ってほしいと思います。そし ず、国民の生活をより良くするために 国を信頼し納税している国民を裏切ら あまり意味が無いような気がします。 消費税の引き上げに踏み切るのでは、 の額の税金だけではまかないきれず、 出はどうなるのでしょう。今まで通り とで複雑になります。無償化により学 られるとなると、嬉しいのと不安なの ていますが、さらにまた三年税に支え け、その間ほとんど税に支えられてき わってくることがニュースで取り上げ 引き上げなど中学生の私にも直接関

支える立場となり、誇りをもって支えす。そして今度はその「当たり前」をいたことを忘れずにいたいと思いまに思い、かって自分は税に支えられてなった時、納税することを「当たり前」なった時、納税することを「当たり前」

していきたいと思います。がこれからも続いていくように、納税税を通じて支え合い、助け合える社会になっていることの背景をよく考え、られるようにしたいです。「当たり前」

共生するための税金

三年相 馬春香香川口市立戸塚中学校

りで返済が追いついてないということ が、私の最初の考えです。 ら税金を増やせばいいのにというの もニュースでやっていました。それな ん。今の日本では、借金が増えるばか の中から返していかなければなりませ 日本の六百三十七兆円という額を税金 の借金は国民の借金なわけで、今ある さすぎると私は思いました。でも、国 まうかもしれないそうです。少し大げ ことが影きょうして国が破たんしてし このまま長く円高が続くといろいろな が、どうやら日本は輸出も多いので、 にはとても難しい説明だったのです ル安のニュースをやっていました。私 朝起きてテレビをつけると、円高ド

税金を払うこともある、と言っていたパでは人によっては他の人の十倍ものラエティー番組かなにかで、ヨーロッいてありました。私は前にテレビのバい国と比べても消費税の少ない国と書の国と比べても消費税の少ない国と書

リットではなく、社会全体を見すえた

た。自分にとってのメリットとデメ共生しているという意識だと思いまし私は思います。日本人に足りないのは

上のメリットとデメリットを、

しっか

のを思い出しました。国民の負担するのを思い出しました。国民の負担するのときのテレビ番組でのヨーロッパののときのテレビ番組でのヨーロッパののときのテレビ番組でのヨーロッパのときのテレビ番組でのヨーロッパのときのテレビ番組でのヨーロッパのときのテレビ番組でのヨーロッパのときのテレビ番組でのました。それともうとした。それは、国民の負担するのとまいますか」という質問に対し、そのくよ、

あるはずなのに、それを、「税金を上 答えました。このインタビューで、私 ちにするために必要なお金なら、私は、 思いません。それに、私がこれまで受 していけるようにするためのお金だと した。私も、払って当然だと思います。 パの人に比べて、自分勝手だと思いま げるな」と反対する日本人はヨーロッ かげで成り立っていることがたくさん から、自分たちの身の回りで税金のお は、税金は国民のために使われている 払うのが当たり前だと思います。」と けてきたサービスをこれからの若者た いサービスをしてくれるので高いとは 「いいえ。政府は私たちに、とても 税金は国民がある程度平等に、共生

切だと思いました。して、税金への理解を深めることが大り国民全員が考え、人のためのお金と

福祉目的税化について消費税の

大磯町立大磯中学校

涼

香

制度で福祉目的税化するのには反対でいな消費税でした。お年寄りが年々増が思いついたのが日常生活に一番身がとして改めるべきだという声が出め税として改めるべきだという声が出るす。そのため最近では消費税を福祉目が出る今、このままの税の使い方では福祉に手が回らなくなるはずでは、一番りがとして改めるべきだという声が出る場所に、税金」という言葉を聞いて最初に「税金」という言葉を聞いて最初に

ません。現在でも消費税だけでは不足 電社というのは生活が困難な人には大 でなるため負担は大きくなります。社 くなるため負担は大きくなります。社 くなるため負担が大きく、全 行っている人々 の りません。現在でも消費税だけでは不足

意味が全くありません。と逆進性により社会福祉目的税化するいきます。これでは福祉目的税化する費税率を上げる必要があります。する費税率を上げる必要があります。する費税率を上げる必要があります。する

よっきりとさせてからにしてほしいではっきりとさせてからにしてほしいでるのであれば、私は以下の二つの点をもし消費税を福祉目的税として改め

まず一つ目は全額目的どおりに使うのか信用し難いです。

二つ目は福祉という理由で消費税を上げるのであれば、生活必需品の食料だけはそのままの税率にすることです。寧ろ生活必需品については三%くらいにまで下げてほしいです。先ほど述べたように全ての商品の税率を上げてしまうと福祉を必要としている層の生活がきつくなりメリットがありません。もし税率を上げるのであればたばこやお酒、自動車、宝石などの贅沢品とされるものの税を十五%や二十%くらいまで上げてほしいです。

ば消費税を福祉目的税にしてもいいと私は以上の二点をはっきりとさせれ

思います。もし実現するのであれば老いです。全国には一人暮らしの高齢者いです。全国には一人暮らしの高齢者いです。全国には一人暮らしの高齢者いです。全国には一人暮らしの高齢者ない人がいるはずです。福祉の充実化を達成させるためにも老人ホームをより使いやすく、身近なものにしていっり使いやすく、身近なものにしていっちしいです。裕福な人だけが十分なる社手当てを受けることができるのであれば老出手当てを受けることができるのであれば老います。

なっている税金私達の力に

大野市立陽明中学校

木克

美

私は、現在、吹奏楽部に所属しているは、現在、吹奏楽部は、部員が七三名という大所帯で活動しています。一本ごとの楽器がとても高価で七三名分かかることです。にもかかわらず、私かがることです。にもかかわらず、私かがることができるのは、税金の練習に励むことができるのは、税金のおかげだということを顧問の先生からお聞きしました。

たり前だと思っていました。それどこ私は、今まで部活動ができるのが当

毎日、当たり前のように使っている施 という気持ちにもなりました。せっか 受けました。それと同時に私の部活動 参加していた時期すらありました。で だと思います。 立っています。本当にありがたいこと 設や楽器は、父は母、その他の多くの なに残念な気持ちになったでしょう。 嫌々練習をしている姿を見たら、どん く税金を使わせてもらっているのに、 に対する姿勢を省みた時、申し訳ない る、ということを改めて知り、衝撃を 音楽室や教室なども税金で造られてい も、楽器やその他の備品だけでなく、 ろか、毎日の練習に疲れ、嫌々練習に 人達が出し合ってくれた税金で成り

謝の気持ちでいっぱいです。

謝の気持ちでいっぱいです。

謝の気持ちでいっぱいです。

か気が生かされていたこと、決して無なのがと思っていました。今回、税の私には関係のないところで使われているのだと思っていました。今回、税のがと思っていました。今回、税金が生かされていたことだと思ってから今まで、そのほとんどの場面でためらずまで、そのほとんどの場面では金が生かされていたこと、決して無税金が生かされていたこと、決して無利の気持ちでいっぱいです。

るように、心を込めて納税をしたいとツなどの部活動に打ちこむことができ供達が、今の私のように音楽やスポーでしょう。その時には、次の世代の子働くようになり、納税をする日が来るあと十年もすれば、私も社会に出て

思います。

いきたいと思います。こと、思ったことを他の人にも伝えてこと、の回私が気付かされ、感じた

私達、吹奏楽部は、福井県の代表として、中部日本吹奏楽コンクール本大も、納税をしてくださっているたくさも、納税をしてくださっているたくさも、納税をしてくださっているたくさら、納税をしてがでもあります。感謝の気持ちを込めて、いい演奏をして、中部日本吹奏楽コンクール本大人でも、納税をしてくださっているため、福井県の代表として、中部日本吹奏楽部は、福井県の代表として、中部日本吹奏楽部は、福井県の代表として、

必要な税金快適に暮らすために

三年中川 茉優、江南市立宮田中学校

「明日から耐震補強工事が始まるの「明日から耐震補強工事が始まるので西門が使えません。」と先生が言った。次の日から学校に多くのトラックた。次の日から学校に多くのトラックた。次の日から学校に多くのトラックがやってきて、いつも使っている門ががやってきて、いつも使っている門ががやった。歩きながら友人と、「こ舎に入った。歩きながら対しなければいから毎日こんな遠回りしなけないの?めんどうだよね。」と先生が言っていた。授業中も工事の音が教を言っていた。授業中も工事の台とだった。近時では、大学を表しているいろなことが不便で、工事なんであり、

別の中学校でも耐震補強工事を行っていると聞いた。隣の小学校はすでに終わっているわけではない。先生たちろうと思った。その費用は私たち生徒が払っているわけではない。私の住む町の学が払っているわけでもなさそうだ。

ある日、新聞に「地震から生徒を守るために全国の小中学校の耐震補強工るために全国の小中学校の耐震補強工る。費用負担は国が三分の二、自治体る。費用負担は国が三分の二、自治体のにしても税金が使われるんだと思った。そういえば税金は工事だけでなく、学校のさまざまなところに使われている。例えば教科書を買ったことがらお金を出して教科書を買ったことがらお金を出して教科書を買ったことがらお金を出して教科書を買ったことがらお金を出して教科書を買ったことがらお金を出して教科書を買ったことがらお金を出して教科書を買ったことがであるのは、学校に多くの税金が使われているからなんだと思った。

謝の気持ちを忘れずに生活していこう を負担してくれている大人たちへの感

思っていたことがはずかしくなった。 支えてあげたいと思う。 の老後や、未来の子どもたちの生活を 今税金を負担してくれている大人たち になった時にはしっかり税金を納め、 税を払おうと思う。そして、私が大人 だから、これからは私もしっかり消費 返ってくることがわかり、そんな風に ていたが、結局は自分たちのために で消費税なんてあるのだろう。」と思っ できるためにとても大切なものだ。「何 税金はみんなが快適に暮らすことが

校舎を大切に使おうと思った。 なった。そして、工事が終わった後も り、ありがたいことだと思うように 税金を負担してくれていることを知 私たち生徒のために多くの大人たちが 最初はいやだった耐震補強工事も、

東大阪市立長瀬中学校

す。初めて日本の小学校に通い全く中 育てられ3年前に日本に来たばかりで ら日本にきて日本で働きながら生活を していましたが私と妹は中国で祖母に 私の両親は十数年前に中国の大連か 侇

> んでした。 惑うばかりで仲々なじむ事ができませ

き買い物にいく事になったときの事で ました。やがて中学生になり友達もで 分からず泣いて家に帰ったこともあり たくさんあり、最初の頃は良く言葉が 言葉の壁は勿論の事、文化の違いも

ました。私達は、様々な税とかかわっ 塾の先生に質問をしながら勉強を続け 色々な資料を一つずつ読んでは両親や 勉強できるチャンスだと思いました。 く宿題が出されました。私はあの時の 入り、中学校から税の作文について書 て生活している事が分かりました。 会に日本と中国の税のゆくえについて ことをすぐに思い出しました。この機 いた経験があります。やがて夏休みに プラスして支払わなければない事に驚 うとき消費税5%がかかり百四十円を 円のTシャツを選びました。お金を払 に私服を買うことになり私は二千八百 中学三年になって修学旅行に行く為

階では増値税のみが課せられます。 の時点で課税され、それ以降の流通段 は、基本的には工場出荷または、輸入 産に課される税金のことです。消費税 ゆる嗜好品と呼ばれる特定の物品の生 流通税といいます。消費税とは、いわ 中国の税金の中には、増値税、営業 消費税があり、これらをまとめて

だったのです。 消費税5%と違いに驚きの消費税 なので私にとっては直接かかる日本

国の学校とは違う規則や校則に毎日戸

知った。イギリスで約18%、 たのに今では5%にかわったことがわ 日本の税については、以前3%だっ

出し、たとえば、最近では四川省の河 られた制度がさらに進化し充実してい 要だから存在するのです。他にも学校 す。警察や消防署も、国民にとって必 ど、まだまだ社会保険制度が充実して が氾濫して、多勢の人が亡くなるな 経済成長をなしとげ、色々な課題が噴 う国ではなく日本にきて本当によかっ ではなんと約2%もの消費税が取られ デンやデンマークで約25%、イタリア 世界の中でも安い方だということを 私は不満をもっていた。だけど日本は かりました。5%の消費税に対して、 ることを願っています。 いはあるものの人々の幸福を願って作 た。私は税のゆくえも探っていくうち なわれているということが分かりまし などの公共施設や救急車等、私達の生 必要をみたすために、皆で払うお金で て、税は様々に形を変え国民の利益や いないように思えるのです。国によっ たんだと思いました。中国は今急激な てしまうらしい。それを知った私は違 に、それぞれの国によって、大きな違 活に欠かせないものは、皆税金でまか スウェー

周南市立富田中学校 三年

月から兄は大学生になり、 良い制度がある事に感心しました。 というものを僕は初めて知りました。 したら、働いて返していく「奨学金」 た。勉強する為にお金を借りて、卒業 南市奨学生の申請の手続きをしまし は大変なものです。そのため、母は周 うのに驚きました。当然、家計の負担 は、義務教育である中学校とは桁が違 設費と生活費で、一年間にかかる費用 かかります。大学に納める授業料や施 り暮らしを始めました。大学はお金が 僕の家庭は五人家族です。 他県でひと

願いして連帯保証人になってもらいま ました。その為、急遽大阪の叔父にお をして条件にあてはまらなくなってい ある父です。もう一人は、申請する前 なっていました。ひとりは、保護者で 年度、市県民税を完納している者」と 保証人」が二人必要で、その条件が「前 に伯父に頼んでいましたが、定年退職 兄が奨学生に決定した時に、「連帯

などで大変そうでしたが、 母は奨学金の申請と決定後の手続き

ていたから借りる事も出来たし、 と今回初めて思った。ちゃんと納付し 「市県民税を納付していて有り難 連帯

幸せのために

61

た。一 保証人にもなってもらえた。ほっとし

ことはありませんでした。生活の中で「税金」について意識した税金なんだろうと思いました。普段の難いのだろう「市県民税」ってどんな難いのだろう「市県民税」ってどんな

「市県民税」について調べてみました。「市県民税」とは、前年の一年間の日から十二月三十一日までの一年間の村と県に納められていることが分かり村と県に納められていることが分かりました。周南市の奨学金制度も「市県民税」でまかなわれていると思います。身のまわりでも小・中学校で使用する教科書も税金によって無償で支給されています。生活を守ってくれている警察や消防、救急までも税金が使われています。今まで当たの大の前すぎて何も感察や消防、救急までも税金が使われています。今まで当たり前すぎて何も感察や消防、救急までも税金が使われています。今まで当たした。母が「有した。」と言った意味が分かったようり難い」と言った意味が分かったようり難い」と言った意味が分かったようり難い」と言った意味が分かったようり難い」と言った意味が分かったようりな気がします。

も大きな存在だと思いました。色々なところで還元されていて、とてみんなが納めた税金は形を変え、

い。」「人の役に立つ人間になって欲し「人の役に言われることがあります。

は、という気持ちを添えれば良いと思時に感謝の気持ちと、人の幸せのためが就職をして、収入を得て、納税するが就職をして、収入を得て、納税するが、の事がありました。でも将来、僕感じる事がありました。でも将来、僕

私たちの健康と税

三年 中 電

愛

れていることを教えてくれました。 この夏、姉が麻しん風しん混合ワク を書かれていました。するとその紙に は、料金の欄に「無料」と書かれてい て驚きました。横には「任意接種となっ た場合は、九千二百三十円の自己負担」 と書かれているのに、どうして無料で と書かれているのに、どうして無料で と書かれているのに、どうして無料で と書かれているのに、どうして無料で と書かれているのに、どうして無料で と書かれているのに、どうして無料で と書かれているのに、どうして無料で と書かれているのに、どうして無料で

麻しんは、ウイルスが空気などを通麻しんは、ウイルスが空気などを通りて感染します。そのため、該当者全人に一人程の割合で死亡したりするそ人に一人程の割合で死亡したりするそろです。もし、約九千円を自分たちが負担になるから予防接種をしないとがう人もいるかもしれません。また、料金が負担になるから予防接種をしないとがう人もいるかもしれません。また、料金が負担になるから予防接種をしないとがう人もいると思います。税金はそんかう人もいると思います。税金はそんが負担になるから予防接種をしないとがう人もいるかもしれません。また、料金の大力を行るかると思います。税金はそんが負担になるから予防接種を促したがでするような役目をもっていることを初めて知りました。

みました。そこにはワクチンにどれく防できるという子宮頸がんの記事を読同じ頃、新聞でワクチンがあれば予

らない誰かを支える分」と考え、納め

た上で有効に使われるんだなぁと思いました。私は、税はしっかり話し合ったことを国が決めていると書かれていらいの助成金を税から出すか、といっ

とも話したこともないような人たちが とき、消費税だけではなく、様々な税 ていなかった私は恥ずかしくなりまし であることを知り、税の必要性を感じ を通して人は互いに支え合って生きて 納めた税金であると気付きました。税 や祖父母だけではなく、私が会ったこ こからきたのか、と考えると、私の親 が使われています。それらのお金はど 生である私が納めてきた消費税とは比 ています。しかもそれらは、まだ中学 様々なところで税金は私を助けてくれ 境整備であったり、教育であったり、 す。改めて考えると医療だけでなく環 私たちのところへ還ってきていたので 金はワクチンといった姿に形を変えて その要らないのでは、と思っていた税 必要なものだろうかと思っていまし から私を支えてくれる分」あるいは「知 それを自分の「負担」としてではなく、 を納めるべき立場になります。しかし、 た。私が社会に出て働くようになった いること、私自身は支えられてばかり べものにならないくらいの多額のお金 を払ってはいませんでした。しかし、 た。物を買ったときにも、快く消費税 「これまで私を助けてくれた分」「これ 今まで、私は税金に対して、本当に

と思っています。と思っています。と思っています。だからもうしばらく多くが、税金、そして税金を納めてくれたが、税金、そして税金を納めてくれたの人たちの納めた税に助けられますの人たちに感謝しながらもうしばらく多く

今年の夏休み

一年 **京**私立純心中学校

一年 **原**札

今年の夏休み、高校生の姉はアメリク年の夏休み、高校生の姉はアメリカのセントポール市へホームステイにかいま金がかかったので私は、あまり遊びに連れて行ってもらえませんでした。でも、父と母が夏休み最後の思いた。でも、父と母が夏休み最後の思いは、あまり遊れました。

ハウステンボスに着くとまず入場料と「とくとくチケット」の料金を払いました。このチケットを見せるだけでほとんどの遊具や設備を利用することができます。買うときは高いなぁと思いましたが、家に帰って私が乗った遊具のお金を計算していたら「とくとくチケット」を見せるほうが、毎回料金を払うよりも断然お得だったということが分かりました。

ると言っていました。と税金を払うということは少し似ていある日父が、「とくとくチケット」

ことに初めて気付きました。 国や地方が負担している中学生や 国や地方が負担しているという ことに初めて気付きました。 ことに初めて気付きました。 国や地方が負担している中学生や 国や地方が負担している中学生や

私の家では教育費だけ考えてみても私の家では教育費だけ考えてみてもおいし、いやだと思う人も多いと思いまなあと思いました。税金を払うということは少し似ているなあと思いました。税金を払うのは高なあと思いました。税金を払うのは高いし、いやだと思う人も多いと思いるのも大人の人たちが助け合いるからです。

今の日本には「教育」「勤労」「納税」今の日本には「教育」「勤労」「納税」からませいう国民の三大義務があるので、中という国民の三大義務が一つでも欠け、この世に税金が無くなったら、誰もが働かなに税金が無くなったらどうでしょう。学校に行くなったらどうでしょう。学校に行けなくなったらどうでしょう。学校に行けなくなったらどうでしょう。学校に行けなくなったらどうでしょう。学校に行けない人は学校に行けなくなったらどうでしょう。

て無償で支給されています。大切に使んへの期待をこめ、国民の税金によっ教科書は、これからの日本を担う皆さ教科書は、全ての教科書の最後に「このまた、全ての教科書の最後に「この

になりました。中学生になり少しは意味が分かるよう小学生の時は分かりませんでしたが、いましょう。」と書かれてあります。

ができるような大人になりたいです。は、納税者の一員として社会に恩返しは、納税者の一員として社会に恩返しがあるお陰です。これからも今のようがあるお陰です。これからも今のようはない生活を送ることができるのも、由ない生活を送ることができるのも不自

「未来を担う者として」

三年 小 濱 源 人学校法人池田学園池田中学校

た。その言葉を聞いた時、感動で体が震

い。一国のために何ができるのかを問いなさることを頼んではいけない。君が君のることを頼んではいけない。君が君の「君の国が君のために何かしてくれ

この夏、新聞こ財務省の発表が載っれて、僕は考え込んでしまった。え、リスニングをしていたことさえ忘だった。全身総毛立つような感覚を覚だった。全身総毛立つような感覚を覚だった。全身総毛立つような感覚を覚え、リスニングをしていたことを表話のリスニングの勉強中のこと英語のリスニングの勉強中のこと

二十三年分にあたる国の借金である。いう。GDPの二年分、昨年の税収のた。債務残高が九○○兆円を超えるとこの夏、新聞に財務省の発表が載っ

間約十二万円分、授業料の援助をして一人あたりに直すと九○○万円弱となる。これなら分かる。すごい借金だ。での子ども一人当たり一万三千円が支での子ども一人当たり一万三千円が支給される。僕も対象者だ。僕は、来年給される。僕も対象者だ。僕は、来年給される。僕も対象者だ。僕は、来年おされる。僕を対象者だ。僕は、来年は高校生になるが、高校無償化法で年間約十二万円分、授業料の援助をして

両親も助かることだろう。なったりすることは、とてもうれしい。お金がもらえたり、授業料が安く

もらえるらしい。

でも、財務省の発表を見てからは、下でも、財務省の発表を見てからは、三兆円が、高校の授業料援助には○・三兆円が、高校の授業料援助には○・三兆円が、高校の授業料援助には○・三兆円が、高校の授業料援助には○・三兆円が、高校の授業料援助には○・三兆円が、高校の投業料援助には○・三兆円が、国の税金の収入は少なく、その財源がないというのを読んだ。財源がないというのを読んだ。財源がないというのを表を見てからは、三、

させることになるのか。
僕たちが、僕たちの国の借金を増や

なってくるのだ。 知るほど、何とも居心地の悪い気分にだ。しかし、今の財政の状況を知ればだ。しかし、今の財政の状況を知ればだ。と叱られそう

に格好のいいものではないと気づかさちたいと思っていた。現実は、そんなはなく、自分が何かをして人の役に立人に何かをしてものないで

だった。偶然、あの就任演説の言葉を聞いたのれ、もやもやとした気持ちになった時、

もう、自信を持って言うことができる。僕たちの国の借金がどんどん増えているのだ。僕は、まだ中学生で何もとして対処しなければいけない時にきとして対処しなければいけない時にきとして対処しなければ、お来の日本を担う者できないけれど、将来の日本を担う者として、今はみんなの税金で勉強させるらおう。

よと気がつくと、イヤホンからは何 を新たに、僕はもう一度あの言葉を聞 できるようになりたい。その決意 と頼むのではなく、自分が何かをして らしい。自分のために何かしてほしい が見が何かをして と頼むのではなく、自分が何かをして と頼むのではなく、イヤホンからは何

税金は「ゆいまーる」

那覇市立小禄中学校

年稲 嶺 隆 紘

私には五歳年下の弟がいます。弟はおには五歳年下の弟がいます。弟ははは五歳年下の弟がいます。弟はは、本は、まは、まは、まは、まは、まは、まは、まは、まは、まは、まははは

しかし、弟の病気は白血病と診断さ

た。 れ過酷な闘病をすることになりまし

弟が入院していた病院は県立病院 で、多くの人の税金によって建てられ で、多くの人の税金によって建てられ で、多くの人の税金によって建てられ がかかる場合、少しでも自己負担が軽 がかかる場合、少しでも自己自担が軽 のです。私の弟にかかった治療費を支払 うことができ、十分な治療が受けられ うことができ、十分な治療が受けられ うことができ、十分な治療が受けられ うことができ、十分な治療が受けられ うことができ、十分な治療が受けられ うことができ、十分な治療ができました。そのおかげで、弟は無事に健 ました。そのおかげで、弟は無事に健 は、現在弟は多くの人の支えにより助 けられ、元気に家族と幸せに暮らして います。

ました。

ことを調べ考えてみました。 心だったことを反省し、真剣に税金の 私は今まで税金について無知で無関

です。それでも、その国の税率は日本へ行くことが出来なかったりするそう水されたり、けがや病気をしても病院状されたり、はがや病気をしても病院がが病気をすると高額な治療費が請けがや病気をすると高額な治療費が満

化するのではないでしょうか。分かりました。それでは国の財政が悪低いのに生活保障は高い水準であるとより高く、世界的に見て日本は税率は

最近では「増税」が話題になり世間から批判されたりしましたが、私はから批判されたりしましたが、私はいき、高齢化社会に備え税金の中からいき、高齢化社会に備え税金の中からいき、高齢化社会に備え税金の中からのき、高齢化社会に備え税金の中からとがされからのようにして使われているのか具体的にわかりやすく説明するとがこれからの大切な課題だと思います。

合い成り立つ社会であると言えます。合い成り立つ社会であると言えます。の役に立ち、いずれは巡り巡って自分れています。税金を納めることで誰かがあり、助け合いという意味が込めらがあり、助け合いという意味が込めら

その心を大事にしていきたいです。その心を大事にしていきたいです。私は税金という様々な恩恵を受け、弟の命が救いきたいと思います。そして社会に貢いきたいと思います。私は税金といきたいと思います。私は税金により様々な恩恵を受け、弟の命が救いさんとに感謝しながら、国民一人一人がきちんといきたいです。

会長賞 受賞作文 日本税理士会連合会

もう嫌だ!税の浪費は

三年 佐々木 厚沢部町立鶉中学校

澪

税金の歴史は古い。日本ではおよそれ、それから現在に至るまで、国民はたな形であれ、税を納めてきた。などんな形であれ、税を納めてきた。ない、とれから現在に至るまで、国民はれ、それから現在に至るまで、国民はおよそ

私は、生きていくためだと思う。今私は、生きていくためだと思う。今私は、生きていくために必要なものになる。生きていくために必要なものになる。生きていくために必要なものになる。生きていくために必要なものは、税金に支えてもらっているのだ。でと母も税金を納めている。それは、父と母も税金を納めている。それは、父と母も税金を納めている。それは、一部だ。一生懸命働いて納税している一部だ。一生懸命働いて納税しているのは、税金に支えてもらっているのは、税金に支えてもらっているのになる。

ようだ。 税をむやみに使ってしまうことがある しかし、社会にはその税金、——血

以前、米の生産を上げるために水田よくある例が、公共事業の乱発だ。

当に悲しくなってしまう。それは、家 らぬ結果なのかもしれないけれど、本 扱われ方をきくと、とても辛い。 の労力をあだにしてしまうような税 日見ているせいなのかもしれない。そ に帰ってきた父と母の疲れた背中を毎 事などを進めた方々だって、思いもよ 嫌な気持ちになる。危険だらけの大工 は何かに裏切られてしまったような、 いない、という話も聞いたことがある。 たが、車はめったに通らず利用されて た、高速道路を造り、町の活性化を図っ ていないダムが数多くあるそうだ。ま なければならず、今はほとんど機能 の後、減反政策により田は逆に減らさ せてダムを造ったことがある。だがそ を増やそうと、集落ごと住民を移動さ このようなニュースを聞く度に、私

日本の自衛隊にも巨額の税が使われている。隊が保有する甲装車や戦闘機ている。隊が保有する甲装車や戦闘機でいる。一本のミサイルも、ケタ外れに高金額だ。それらの装備や実弾演習は、私達にとって、本当に生きるのに最優先されるべきなのだろうか、とに最優先されるべきなのだろうか、とにはないる課題は大きい。

ていと思う。 全ての国民に義務づけられて払う税 全ての人に役立つことがけれど、事業 考えるのは難しいことだけれど、事業 全での人に役立つことのできる歳出を 全での人に役立つことのできる歳出を 全での国民に義務づけられて払う税

いと思う。
大切に使われている時代にしていきただ。その時に税が今よりも無駄なく、がら税を納めるのもそう遠くない話から税を納めるのもそう遠くない話

みんなが一人の為に。一人がみんなの為に。

三年 高野 瑞穂 福島市立飯野中学校

進んでる?」などと言った会話が家の 生活が快適に送れるのは、 るとは、夢にも思わなかった。私達の さかそういった所に税金が使われてい と言われてしまった。私は驚いた。ま るから今の生活が送れるんだから。_ ゴミだらけになるよ。みんな税金があ 来てもらえなくなって、そこらじゅう ダじゃなくなるよ。ゴミの収集だって も良いの?学校だって教科書だってタ すると、母に「病院に行けなくなって なんてもったいない。」と言ってみた。 金の話をしていたので、「税金を払う ていた。そして、今年も同じような税 何か買ってくれたらいいのに。」と思っ くちゃいけないんだろう。その分私に きながら、「なんで税金なんて払わな 中で聞こえてくる。私はそんな話を聞 して年が明けると、「確定申告の準備 六月には「住民税払わなくちゃ。」そ 五月になると、「あっ、 自動車 大人達が一

扶助」というそうだ。助け合うこういった仕組みを、「相互あからなのだ。みんなの為にみんなが生懸命働いて、税金を納めてくれてい

どうしたら良いのであろうか。 も無くなってしまうであろう。では、 守られている、「人権」といったもの ない。こんな状態になれば、今私達が といった人もでてきてしまうかもしれ に字の読み書きさえもあまりできない ず、生活できなくなってしまうだろう。 はどうなってしまうのだろうか。年を 収める人が減っているのもその一つで その原因の一つは、景気が悪化し、税 消費税を上げようという動きがある。 お金がなくて行けなくなり、昔のよう うかもしれない。学校に行きたくても、 なくてはいけなくて、がまんしてしま 病院に行きたくても高い医療費を払わ 取り、働けなくなっても年金ももらえ ある。この状態が進むと、私達の未来 子化が進み人口の減少によって税金を 収が減っているからである。また、少 今、日本は借金大国である。そして

してこられたそうだ。人々はお互いにめ、苦労して払われた税金なのであるから、感謝し、大事にしなければならから、感謝し、大事にしなければならから、感謝し、大事にしなければならめ、苦労して払われた税金なが使われているのが金が使われているのかもっと認識を深が使われているのかもっと認識を深が使われているのかもっと認識を深が使われているのかもっと認識を深が使われているのかもっと認識を深が使われているのかもっと認識を深いしてこられたそうだ。人々はお互いに税金してこられたそうだ。人々はお互いに税金してこられたそうだ。人々はお互いに

助け合って生きている。「一人がみんなの為に。みんなが一人の為に。」この言葉を私は三年間頑張ったバスケッの言葉を私は三年間頑張ったバスケットボール部で習った。この言葉は部活に限らず、人間社会全体に通じる言葉に限らず、人間社会全体に通じる言葉に限らず、人間社会全体に通じる言葉はと思ってしまう。消費税だって無ければ良いとしょっ中思う。しかし、それば良いとしょっ中思う。しかし、それば良いとしょっ中思う。しかし、それば良いとしょっ中思う。しかし、それはゆくゆくは自分に返ってくるものであるし、自分自身が支えられている社会に恩返しするようなものなのだ。私会に恩返しするようなものなのだ。私会に恩返しするようなものなのだ。私会に恩返しするようなものなが、それがみんであるし、自分によりでは、一人がみんというない。

幸せのためにお年寄りの

三年 蓮 田 拓阿見町立竹来中学校

歩

数は、はかり知れない。所在不明のま野で生きているはずの百十一歳の男性が、死後三十二年ぶりに見つかったとが、死後三十二年ぶりに見つかったとが、死後三十二年ぶりに見つかったとが、死後三十二年がの百十一歳の男性方の所在不明のお年寄り。その数全国上の所在不明のお年寄り。その数全国上の所在不明のお年寄り。その数全国だ。その後も、次々と出てくる百歳以上の所在不明のお年を引き、死後三十二年のよりに見いる。

いた家族もいた。ま、支払われ続けた年金。受け取って

日本は世界がうらやむ長寿大国では日本は世界がうらやむ長寿大国ではないのか。人間よりも思い出よりも、お金が大事ということない出よりも、お金が大事ということない。長寿国の悲しい現実。

僕の父方の祖母は、神奈川県に住んでいる。八十一歳の祖母は、腰や眼がでいる。八十一歳の祖母は、腰や眼が不緒に住んでいる伯父は、休日にしかった。一緒に住んでいる伯父は、休日にしかな祖母が、一人で病院に活っている。 大田 はい 一人で病院に通っている。 代は自己負担なので、祖母は運賃を気代は自己負担なので、祖母は運賃を気にしている。

一方、母方の祖父はつくば市で独り春らし。運転免許もあり、元気だ。でも、そんな祖父でも、風邪をひいて病に行くこともある。そんな時に祖父は、市からもらったタクシー券を使うらしい。このタクシー券は、七十五歳以上の独り暮らしの高齢者が、申請すればもらえるものらしい。祖父は、高熱で運転できない時、このタクシー券をありがたく使っているそうだ。安心感があるらしい。

と言った。 税金の使われ方が違うためだろう。」 た。父は、「住んでいる所によって、 が違うのはなぜだろう。父に聞いてみ が追うのはなぜだろう。父に聞いてみ

ると社会科で学習した。父や母も働い税金か。国民には、納税の義務があ

めに役立ててもらいたい。この大切な税金を、僕はお年寄りのたを税金として納めている。だったら、を税金をもして納めている。だったら、で税金を納めている。他の家庭だって、

思う。身の回りの世話をする人が、週 に、税金を生かしてほしいと願う。 長生きすることが幸せにつながるよう が、幸せと言えるのではないだろうか。 敬われ、自分らしく生きられること お年寄りや弱い立場の人々が人として のために、大切な税金を使ってほしい。 支払う。「今」を生きているお年寄り う。かかった代金や人件費は、税金で に一回来てくれるだけでも助かると思 をがまんするお年寄りがいなくなると なれば、お金がないために、苦しいの れる医師や看護師がいるといい。そう 利だ。寝たきりの人には、往診してく や送り迎えをしてくれる車があると便 のように、病院まで行けるタクシー券 つながる。そして、病気の時は、祖父 をする。体と心の栄養は生きる希望に 食事を届ける。希望すれば一緒に食事 たとえば、一人暮らしのお年寄りに 人は誰でも年をとる。例外はない。

税金について

二年 板山 幸歩 北杜市立長坂中学校

ある日、父が私にこう話しかけてき

ました。

私の答えを聞いた父は、にやりとしま私の答えを聞いた父は、にやりとしまさあ、いくらかかるでしょうか?」さあ、いくらかかるでしょうか?」さあ、いくらかかるでしょうか?」さあ、いくらかかるでしょうか?」さあ、いくらかかるでしょうか?」されどおもしろそうなので答えてあげれどおもしろそうなので答えてあげった。その事を参考にして、い。その事を参考にして、いっている道は、約二十メートルくらいかるでします。そこの市道から家「幸歩、問題です。そこの市道から家

きました。す。その数字を聞いた兄が口を挟んです。その数字を聞いた兄が口を挟んで嬉しそうな顔をする父が悔しかったで「残念でした。四十八万円です。」

同じ感想を持ちました。父への感情は別として、私も兄と全く「高いなぁ。そんなにするんだ。」

大変便利になっているのですから。大変便利になっているのですから学校までのほとんどの道が舗装されています。のほとんどの道が舗装されています。のほとんどの道が舗装されています。のほとんどの道が舗装されています。 私たちの生活する町を見ると、そ私たちの生活する町を見ると、そ

日夜働いてくださっている警察官の給めとする交通標識。治安を守るために通事故から我々を守る、信号機をはじけではなく、「安全」もそうです。交よって支えられています。「便利」だれたちの「便利」な生活は、税金に私たちの「便利」な生活は、税金に

なわれています。与。それらはすべて税金によってまか

一人ではあまりに負担が大きくなってしまい実現できないことも、多くのだます。このように考えていくと、できます。このように考えていくと、できます。このように考えていくと、できます。このように考えていくと、の生活を豊かにする」と表現した方がよいのではなく「預けてもない。

そのような重要な役割を果たしている税金が今足りないのだそうです。国民のための借金を国民にいのが今の日本。では足りない部分はどうしているのでしょうか。答えは「借いのが今の日本。では足りない部分はでしょうか。奇妙な話ですが、それは国民です。国民のための借金を国民にある。少し分かりにくいですが、それが事実です。

借金を減らす方法は二つしかありません。税金を増やして歳入を多くするか、あるいは歳出を切りつめて、出ていくお金を少なくするか。税金を増やいくお金を少なくするか。税金を増やすと家庭で自由になるお金が少なくすと家庭で自由になるお金が少なくすと家庭で自由になるお金が少なくすと家庭で自由になるお金が少なくすって困ります。私の家の両親は公務員です。炭うすることがよいのか、国民ます。どうすることがよいのか、

税金の大切さ

一年 村上 舞福井大学教育地域科学部附属中学校

昨年の流行語となった「仕分け」(事業仕分け)により、行政の税金の無駄でさえ、「税率あげる前に無駄の削減でさえ、「税率あげる前に無駄の削減でさえ、「税率あげる前に無駄の削減でと感じてしまう。しかし、母に言わせと感じてしまう。しかし、母に言わせと感じてしまう。しかし、母に言わせと感じてしまう。しかし、母に言わせと感じてしまう。しかし、母に無駄の削減でさん。日本の税負担率は世界主要国に比べるとかなり低いらしい。

そう言えば、以前、NHKの番組で、スウェーデン・フィンランドの医療、スウェーデン・フィンランドの医療、る。両国では、医療・教育費は全額無質で、例えば、給食費はもちろん、鉛掌一本、ノート一冊から大学の授業料準、私は非常に驚いた。しかまで無料で、私は非常に驚いた。しかまで無料で、私は非常に驚いた。しかまで無料で、私は非常に驚いた。しかまで無料で、私は非常に驚いた。しかまで無料で、私は非常に驚いたのととがあるかが、とは、多大な税金が投入されているのではないだろうか。

住みやすい国として、自国の制度に満が分かった。しかし、国民の大多数が、に比べ、多額の税金徴収国であること本の五パーセント、二十九パーセントあると、消費税率は二十五パーセント、日が得税率は平均五十パーセントで、日がると、消費税率は二十五パーセント、

足しているという。

税金により支えられているのだ。 何気なく利用しているサービス全てが ミ収集、図書館など、他にも普段私が に話してくれる。整備された道路、ゴ 安いんやさあ、有難い。」と嬉しそう おいしいご飯食べたり、一日遊んでも 折り紙したり、広いお風呂に入ったり、 で毎日介護施設に通っている。「舞ちゃ 歳になる私の曾祖母は、デイサービス 税金のおかげで、公共事業、福祉、教 ん、いい所なんやよ。おばあちゃん、 していると言える。武生に住む九十七 いる。税率から考えると、かなり充実 日本はどうか。両国程ではなくても、 様々な面で国民は恩恵を受けて

と自覚しなければならない。 も含め、それら全てが税金の無駄遣い 滞納したりする人が多いそうだが、私 を呼んだり、収入があっても給食費を るか。最近はタクシー代わりに救急車 か、ゴミの分別に真摯に取り組んでい だろうか。公共物を大切に扱っている サービスを享受する側の私自身はどう 政の無駄遣いばかりに怒っていたが、 使わなければ意味がない。私は、行 しかし、せっかくの税金も、有効に

社会になるだろう。まだ私は納税者で 税金を使えば、信頼が生じ、よりよい 裕はない。両者が互いに良識を持って 政も、国民も、無駄遣いをしている余 られた税金をどう有効活用するか。行 より厳しい財政状況となるだろう。限 今後の日本は、少子・高齢化が進み、

> り続けられるよう頑張りたいと思う。 大切に使い、日本が住みやすい国であはないが、国民の一人として、税金を

信頼で支え合う社会

西尾市立平坂中学校

果

南

入り、うらめしくも思えました。 札の横の税込という文字が何度も目に 小遣い。せっかくくれたお金をいつも 父母からもらった修学旅行の大切なお 以上に大切に使おうと思いました。値 友達が私に声をかけてきました。祖 それ買わないの。」

さらに引き上げる必要があるのでしょ ます。5%でも十分高いと思うのに、 もしれないという記事を新聞で見かけ 最近、消費税を10%に引き上げるか

騒ぎなのに、スウェーデンの人はそん 議に思いました。 なに高くても嫌だと思わないのか不思 です。日本は10%への引き上げでも大 いたのはスウェーデンの消費税率25% か気になり、調べてみました。目をひ 今、外国はどんな方針をとっているの 日本が税のことで悩まされている

ンの人に税についてインタビューして いるのを見かけました。 そんな時、ニュースで、スウェーデ

「高いとは思うが、その分保障もしっ

かりしていて、将来の生活の心配がな いました。 い。だから不満は無い。」そう言って

に高い、低いという問題ではなく、国私は、はっとしました。税金は、単 なくなってしまいます。 けで保障が良くなかったら、 ことに気づいたのです。税金が高いだ 民と国との信頼関係で成り立っている 払う気が

それに応じた保障をしてくれること はいけなくなってしまいます。貧困や だと思います。 しれません。必要な税金を納め、国が 不満から治安が悪くなってしまうかも い人は不安な気持ちを持ち続けなくて 裕福な人は将来も安心だけれど、貧し もあります。しかし、自己責任だと、 ら、税金は少ない方がいいという考え で、全員が安心した暮らしが出来るの 自分の将来は自己責任でもいいか

が大切です。 が理解を深め信頼感を高めていくこと からだと思います。国、そして、国民 ないのではないかという気持ちがある なると何が良くなるのか、何も変わら 声をあげる人がいるのは、税金が高く 日本で消費税引き上げに対し不安の

そのためにどれだけの負担がいるの 大きい負担を負うことになると思いま くためには、みんなが今までより少し 齢者福祉の充実が必要になってくるで す。どのくらいのサービスが必要か、 しょう。高齢者を国民全員で支えてい 今、高齢化が進んできています。高

> 経済への影響は、私たちはこの難しい 問題を考えていかなければなりませ 財政のバランスは、 国民生活は、

ŧ, ずです。あと数年したら私も、消費税 得のいく形で有効に使われ、幸せな暮 ります。気持ちよく納めた税金が、納 会であってほしいと思います。 らしづくりに役立てられる、そんな社 以外にも様々な税金を納めるようにな 私が修学旅行の時支払った消費税 わずかながら社会に貢献できたは

幸せな生活を

私立清風中学校

三年 **井** Ш

優

ても良い。 が出来るし、治安も他国と比べればと 絶対に買えない様々な本に出会うこと べ物があれば図書館に行けば自分では 外を歩けば道路は舗装されていて、調 僕は日本は素晴らしい国だと思う。

ていることが分かった。 たが、それには「税金」が深く関わっ という言葉の意味を深くは知らなかっ ことは知っていた。けれども「公共 てた。それらが公共の物だからという なく生活出来るのか僕は不思議に思っ しかし、何故これ程、私達が不自

知らないので説明すら出来ない、 「税金」と聞いても、あまり詳しく 税金

ういないと思う。 その他の税金の増税に反対する人はそ などである。これらの為なら消費税や 祉の充実、安心して生活出来る街作り や、老人や障害を持った人達の為の福 ととは例えば、医療のより一層の発展 なら賛成する。社会にとって有益なこ 来、社会にとって有益なものになるの げると言っているのだが僕はこれが将 て一番身近な税金だ。最近では民主党 セントとなっている消費税は僕にとっ の税率とは異なり、現在は税率五パー である。一九八九年に導入された当時 本にも税金がかかっている。「消費税」 はそうでもない。今僕がこの文章を書 と僕達はなじみが無い様に見えるが実 や自民党がこの消費税の税率を引き上 いているペンや、机の上に並んでいる

また、世界各国の税金に目を向けてみると日本とはまた違った税金の制度みると日本とはまた違った税金の制度があって驚いた。スウェーデンの税率があって驚いた。スウェーデンの国民たやはり高く、これほど税金をはらわないとならないとなると、国民は文わないとならないとなると、国民は文わないとならないとなると、国民は文力の一つや二つ出るのではないかという疑問があったがスウェーデンの国民はなんなことは言わない。これはスウェーデンでは税金が「社会保障」という明確な使い道があるからだ。この国では医療費などは全くかからないり明確な使い道があるからだ。この国では医療費などは全くかからないと、老後の生活の為の福祉が充実してよるという。

僕は、日本は素晴らしい国だと思っ

者も出てくる。

今後の日本では「税金」というもの今後の日本では「税金」というものでなく預けるものであり、それによいとである。国は税金の使い道を明確がどの様にあるべきかもう一度見直すがとの様にあるべきかものでなく預けるものであり、税金は取られるのでなく預けるものであり、それにより恩恵を受け取るのは国民の権利であることを知る必要がある。そうすればることを知る必要がある。というもののではないかと僕は思う。

私たちの税金から

岩国市立川下中学校

三年 黒柳 すみれ

´!」 「せーのっよいしょ、よいしょ、ふ

も行われる。そのため、講堂内部のもも行われる。それと同時に床の張り替えんでいる。なぜこんなことをしているのかというと、今度私たちが部活でのかというと、今度私たちが部活でんでいる。なぜこんなことをしている

なったのだ。のを全て運びださなくてはいけなく

私は、荷物を運び出しながら、ふとれば、荷物を運び出しながら、ふとなかった。では、この工事代は誰がだなかった。では、この工事代は誰がだなかった。では、この工事代は誰がだなかった。

工事代を出していたのだ。 その答えは、『税金』だった。私たちは、工事代を直接集金などされてたちは、工事代を直接集金などされてたちは、工事代を直接集金などされてかないが、税金という形で、ちゃんといないが、税金という形で、ちゃんと

世の公共施設でも同じだ。私たちは他の公共施設でも同じだ。私たちは をれなのに、最近、公共施設の利用の だ。だが、公共施設はみんなのものだ。 だが、公共施設はみんなのものだ。 なが、公共施設でも同じだ。私たちは

れた、みんなのものだ。それを他の人公共施設は、みんなの税金でつくら

のことを考えずに、乱暴に扱う人が増したって税金から払われるんだからかしたって税金から払われるんだからかとだららい、いいだろう、ちょっと落かと思っていると思う。公共のものなら、これないだろう、あの本なくしちゃったけど誰も読まないし、気づかないよね、と思っている人がいるだろう。だけど、私は、公共のものだからこそ、みんなが大切に扱うべきだと思う。

最近、税金のムダ使いが問題となっている。例えば、道路工事でいうと、 イっていったり、一度完成した道路を 別にいらないところに新しい道路をつ 別にいらないところに新しい道路をつ

なくせるということだ。

ながる気がする。逆に言えば、私たちが図書館の本を勝手に破いたりなくしなければ、その本を再度買わなたりしなければ、その本を再度買わなたりしなければ、その本を再度買わなたりしないことも、税金のムダ使いにつ用しないことも、税金のムダ使いにつ

とを意識して、大事に使っていきたい。んなの税金から作られているというこ私は、公共施設を利用するとき、み

今、税について

阿南市立阿南中学校 実

咲

ろう。それについて家族で話し合いま り大きく反響が起きた。そして民主党 ちかく増税する。」その時の発言によ 義務である。道路を作るのも、 あ国民として果たさなければならない 税の義務」「教育の義務」この三つが こそ私達があるのだ。「勤労の義務」「納 もそう言った。私も思う。国があって れるん。」あまりお金に関係のない弟 みんなで守らなければだれが守ってく たり前だと思うけど。」「どうにかして、 少しぐらい上がるのは、国民としてあ がだめになってしまうと困るのだから が上がる事どう思う。」「そうやな、国 した。「お父さん、お母さんは消費税 なるのであればしかたのない事なのだ 少し消費税を上げることによって楽に かなければと私なりにも思う。だから うした赤字を少しでも少なくさせてい ると今の日本は、借金大国である。そ とその時は思った。でもよく考えてみ やお年よりは一番生活にひびくのにな か。増税することによって、低所得者 は大敗した。何のために増税するの の時、菅首相が「消費税十パーセント ある。今年七月、参議院選挙がありそ 「消費税」最近よく耳にすることが 図書館

> うことがよく分かった。 していくうえで深く関係しているとい 気がする、そんな声もよく聞くが一人 思うと税金は高い、納めるのはいやな 使われているのである。そうした事を を運営するのも、又、医療費も税金が 人納めるその事が、直接私達が生活

考えるべきであると思う。 た人でもそう思っているのだから、若 その言葉を聞いた時、こんな年をとっ う。」そう話しているのを耳にした。 けられている。そう思うと自分も年金 がいるおかげで私のような年寄りが助 げで、こうして元気になれた。ありが い人はもっともっと税について真剣に から少しでも税金を納めなくてはと思 たいものだ。税金を納めてくださる人 誰も見てくれる人がいない。国のおか て家に帰ることができ、「私は近くに 急車で病院に運ばれた。数日か入院し ある時、一人暮らしのお年寄りが救

びっくりするほどの医療費を支払った 安い。十パーセント以下の国は少ない と言っていたことを思いだした。 おばさんが、いとこが歯医者に通って 負担するしかないのだ。ハワイにいる 入することは困難である。だから全額 そうすると保険料がすごく高いため加 度がないため、民間の保険に加入する。 だろう。アメリカなどは、医療保険制 日本は、他国から比べると消費税が

その日本が今は大変な時期にきてい る。子供手当をいただいているのはい 本当に日本はいい国である。でも、

> う。 ほしい。私達も納める立場になったそ るのだからこれから先、どうして払っ の時は胸をはって税金を納めようと思 立ち直っていい日本、我が国になって てもらいたいものだ。むだをなくして、 ていくのか心配である。政治家も考え いけれど、それも税金の中からでてい

未来をつくる税金を

宗像市立河東中学校 坂

菙

働いて納めた税金から頂いているので ているのではありません。家の方々が 新学期。「この教科書は無料でもらっ

イナスイメージをもっていたのでし を浮かべます。税についてよく知らな 渋い顔、少なくとも笑顔ではない表情 その時の私は税についてよく知りませ を手に、必ずこう言います。税金かあ。 先生方は小学校の頃から新しい教科書 られるもの」と、いつしか税に対しマ かった私も、せっかく稼いだお金を「取 なっていたし、税と聞けば多くの人は んでした。報道を見れば増税が問題に

払うのか考えたことがあるでしょう そもそも税は何のために、どうして

私達は今、 何の支障もなく生活がで

に、今更ながら気づかされます。 り立っているものであふれていたこと 達の身の周りは、こんなにも税金で成 きちんと学べる学校。考えてみれば私 いな水、行き届いた医療・公共施設、 きています。蛇口をひねれば出るきれ

こそ、今の私達の生活があるのです。 費の三割の負担で済んだのです。七割 そのため、憲法三十条「納税の義務」 かっているはずです。税金があるから 受ける恩恵は受けている私達が一番分 にするのではないでしょうか。税金で 人が健康で文化的な生活が送れるよう せん。だからこそ税金を払い、全ての はなかなか負担できるものではありま ごいなと改めて思った瞬間でした。 で賄われていることを知りました。こ と、保険に入っていて、その保険は税 はどうなったか疑問に思い母に尋ねる 高額になりました。しかし実際の治療 実感すると同時に、やっぱり税ってす んな所でも税に助けられていることを しました。縫うことになり、治療費が 税金で助けられている多くは個人で 数ヶ月前、私は自転車で転び怪我を

らなくなると予想されています。そん になり負担が増すばかりです。 なければ、一・二人以下で支えること な中一人でも、「私くらい…」と納 お年寄り一人を一・二人で支えねばな 今既に高齢社会で、二〇五〇年には、

ら…と思うとゾッとします。

ものとなります。もし税金がなかった は私達日本国民にとって必要不可欠な

私達の生活の中で税金は、姿・形を私達の生活の中で税金は、姿・形をなっています。まず、税は納められたなっています。まず、税は納められた後どう役立てたいか「考える。」すると税う役立てたいか「考える。」すると税に対しての関心が変わると思います。まず、税は納められたるを調査するべきではないでしょうか。そうすれば、納得して納税ができるだろうと思います。

です。五年後、人々を支えるバトン は私達にも回ってきます。バトンを受 は私達にも回ってきます。バトンを受 は私達にも回ってきます。バトンを受 は私達にも回ってきます。バトンを受 がある。 がかったら必ず納税しようと思いま

税の大切さ

宮崎市立木花中学校

三年山口奈

々

こをする。 電卓を片手に、「確定申告」とにらめっ ある時期になると、私の母はペンと

にも興味を持ったことすらなく過ごしや、どの様にして税を納めているのかでも、私は親のしている仕事の内容言う、自営業だ。

私がお風呂から上がると、机に向かっだけど、去年の三月の半ばあたり、

手に向きになっている。また間違えた。」と母は一人で電卓相た。しばらく様子を見ていると、「あ、て何かを書いている母の姿が目に入っ

この時期の母は、朝から夜までずってはいたが、忙しそうだったので聞くてはいたが、忙しそうだったので聞くてはいたが、忙しそうだったのか気になった時からいつも母がこの時期「ある紙」を見るのは初めてではない。物心ついたのだが、何をしている事には気付いていた。ただ、何をしている事には気けいていた。ただ、何をしている事には気けいていた。ただ、何をしている事には気けいているのは初めてではないのは、朝から夜までずっといたが、忙しそうだったので聞くことはなかった。

横から話しかけた。りたくて、「それって、何なの?」とりたくて、「それって、何なの?」とに真剣に書類と向き合っているのか知でも、その時の私は母が何故そんな

世の話によれば、「ある紙」とは「確定申告」のことで、年に一回税務署にた事告」のことで、年に一回税務署にた事告があるけど、うちみたいに自営業者はこかるけど、うちみたいに自営業者はこかるけど、うちみたいに自営業者はこかるけど、うちみたいに自営業者はこかるけど、うちみたいに自営業者はこかるけど、うちみたいに自営業者はこかるけど、うちみたいにも営業者はこれば、「ある紙」とは「確母の話によれば、「ある紙」とは「確母の話によれば、「ある紙」とは「確母の話によれば、「ある紙」とは「確母の話によれば、「ある紙」とは「確母の話によれば、「ある紙」とは「確母の話によれば、「ある紙」とは「確

しなくてもいいじゃない。」と浅い考気持ちになり、「そんなに大変なら、私はそんな母を見ていると不思議な

らね。」と母は続けた。それに税は自分に巡って返ってくるか物を買ったり作ったりできるんだよ。「税金を払うことでみんなの役に立つしょう。」と言って再び作業を始める。とったりでした。でも母は、「何言ってえを口にした。でも母は、「何言って

して生活を送れないだろう。とこで私は税について色々考えさせるれた。例えばの話だ。税金をみんないる教科書も各自で買わなければならなるなる。金銭的に余裕のない人はどなるなる。金銭的に余裕のない人はどなるなる。金銭的に余裕のない人はどいなるのだろう。また、火事の時、消の事が来なければ困るだろう。

かりと税を納めたいと思った。
来私も自分のために、人のために、しっだなぁと改めて実感した。だから、将がなぁと改めて実感した。だから、将るで助け合う姿勢は重要なことなんり、ちゃんと個人個人が税を納め、み

島を支える税金

竹富町立黒島中学校

三年宮 喜結 丸

僕は、回りを海に囲まれた小さな離

した。しかし、

小さな税である5%の

税の義務を負わない僕も、消費税とい めんどくさい税金だな」と思っていま が、税をしらなかった時は、「なんと う税で少しだけ納税に関わっています ばならないと思っています。また、納 しっかりと納税の義務を果たさなけれ らこそ、島の人々を含めすべての人は、 です。その税にお世話になっているか 考えてみると、本当に感謝でいっぱ 空運賃もばかになりません。その度 るため、父に会いに行くときなど、航 ます。また、父が他県で仕事をしてい の島に出るために多くの出費がかかり 品がなかなか買えない僕たちには、他 にびっくりしました。特に、島で日常 税の恩恵を知らぬまに受けていたこと トが買えることなど、気づいてみると 離島割引制度で、通常より安くチケッ 機の運賃に関しても、税の補助により どがわかってきました。さらに、飛行 り、それにより運賃が安くなることな る事。また、船の燃料も一部減税があ り、その一部が税金でまかなわれてい に住んでいる人を対象とした割引があ えてみました。まず、船の運賃は離島 ることを知り、 手段に、実は税金が大きく関わってい その島の生活を支える最大の力の交通 縄本島へは飛行機でしか行けません。 島への交通手段は船であり、また、沖 に、飛行場や大型スーパーがある石 に、税の力が支えてくれていることを 黒島に住んでいます。離島がゆえ 改めて税金について考

その事が、すべての人々の生活を支え を、あたりまえにコツコツとおこなう。 思います。納税というあたりまえの事 知ったからです。税もきっと同じだと 消費税も、 ると思います。 いや社会全体を支えてくれることにな ていき、やがて大きな力となり、島を、 積み重ねてきたと優勝インタビューで インは、日頃から小さな事をコツコツ た。春夏連続優勝をなし遂げた興南ナ 南高校の甲子園での優勝でも知りまし ねる。」この事を、僕は今年の夏の興 てわかりました。「小さな事を積み重 える大きな力になることも税を勉強し 積み重ねて行くと人々を支

休み時間に、学校の窓から見える青い海に白い波しぶきを残して、今日もい海に白い波しぶきを残して、今日もいがの義務を果たせる大人になろう」納税の義務を果たせる大人になろう」がで暮らせる日々がくることを願いまして。

第44回 中学生の「税についての作文」応募状況(前年対比)

(単位:校、人)

				応募校数				(単位:校、人) 5、募 編 数	
国税局		県 別			1 <u>寿 仪 致</u> 21年度	増減		10 寿 編 致 21年度	増減
 札 幌	北	海	道	216	199	17	10, 058	9, 818	240
仙台	宮		城	89	87	2	3, 041	2, 918	123
	岩		手	85	80	5	2, 822	2, 738	84
	福		島	164	172	-8	6, 789	7, 288	- 499
	秋		田	97	95	2	5, 526	5, 308	218
	青		森	48	46	2	526	649	- 123
	山		形	76	78	-2	4, 271	3, 994	277
		計		559	558	1	22, 975	22, 895	80
関東信越	埼		玉	373	354	19	39, 556	39, 694	-138
	茨		城	212	204	8	16, 705	16, 917	-212
	栃		木	135	143	-8	8, 404	8, 123	281
	群		馬	154	155	-1	10, 713	11, 140	- 427
	長		野	105	97	8	4, 862	4, 360	502
	新		潟	157	156	1	8, 283	7, 495	788
	<u> </u>	計		1, 136	1, 109	27	88, 523	87, 729	794
	東		京	675	657	18	65, 015	63, 901	1, 114
京	神	奈	<u> </u>	382	374	8	28, 682	29, 475	- 793
	干		葉	356	358	-2	37, 495	35, 114	2, 381
	Щ	=1	梨	81	83	-2	4, 306	4, 314	-8
	 	計	[11]	1, 494	1, 472	22	135, 498	132, 804	2, 694
金 沢	石福		<u>川</u> 井	48 57	61 52	- 13 5	2, 247 3, 408	2, 207 2, 955	40 453
	富		出	65	59	6	1, 931	2, 955 1, 746	185
		 計	Щ	170	172	-2			
	愛	ēΙ	知	291	280	11	7, 586 20, 852	6, 908 19, 967	678 885
-	静		岡	205	202	3	13, 080	12, 455	625
名古屋	三		重	55	45	10	1, 880	1, 596	284
屋	 岐		青	92	79	13	2, 995	2, 869	126
		計	<u> </u>	643	606	37	38, 807	36, 887	1, 920
大阪	大	ы	阪	428	428	0	44, 634	46, 030	-1, 396
	京		都	166	156	10	11, 529	11, 350	179
	兵		庫	327	316	11	30, 721	30, 925	- 204
	奈		良	105	106	-1	13, 000	14, 106	-1, 106
	和	歌	山	136	137	-1	12, 700	13, 295	- 595
	滋		賀	95	98	-3	8, 539	8, 850	-311
		計		1, 257	1, 241	16	121, 123	124, 556	-3, 433
<u></u>	広		島	181	177	4	8, 753	8, 937	- 184
	山			110	105	5	3, 766	3, 155	611
広	岡		山	109	114	-5	3, 204	3, 386	-182
島	島		根	31	35	-4	832	940	-108
	鳥		取	27	22	5	547	451	96
	-	計	111	458	453	5	17, 102	16, 869	233
高 松	香		旭	62	65	-3	3, 594	3, 430	164
	愛 徳		媛島	111 86	102 89	-3	7, 601 7, 730	7, 647 7, 704	- 46 26
	高		<u>与</u> 知	60	60	0	1, 730	2, 567	26 - 594
		計	ΛΗ	319	316	3	20, 898	21, 348	-450
	福	μI	岡	335	339	-4	33, 879	35, 283	-1, 404
福	佐		賀	91	91	0	7, 799	8, 117	-318
	長		<u></u> 崎	183	172	11	12, 624	12, 936	-312
		計		609	602	7	54, 302	56, 336	-2, 034
熊	熊		本	116	110	6	7, 154	6, 964	190
	大		分	84	95	-11	3, 503	5, 083	-1,580
	鹿	児	島	99	97	2	3, 111	3, 357	- 246
本	宮		崎	61	61	0	3, 815	2, 382	1, 433
		計		360	363	-3	17, 583	17, 786	- 203
沖縄	沖		縄	124	122	2	9, 281	8, 953	328
				7, 345	7, 213	132	543, 736	542, 889	847
[割合			67.9%	66.4%	+1.5P	15. 3%	15.1%	+0.2P

⁽注)「増減」欄の数値は、前年度から増加又は減少した数を示す。

注 意 事 項

ご注意ください。 る文章を、そのまま引用す この作品集に収録されてい 応募作品を作成される際、 当たり、中学生の皆さんが ることはできませんので、 「税についての作文」募集に 今後実施される中学生の

平成二十二年十二月発行

行 全国納税貯蓄組合連合会

発

電話 〇三—三二五四—一〇四五 東京都千代田区神田須田町一—

十四AKビル

東京都千代田区霞が関三―住所 〒一〇〇―八九七八 国税庁

〇三―三五八一―四一六一

